

令和4年度

学校要覧



沖縄県立名護特別支援学校

〒905-0006

名護市字宇茂佐760番地

電話 (0980) 52-0505

FAX (0980) 54-1486

目 次

目次

◇	校章のねらい・校歌	1
◇	校舎配置図	2
◇	教室配置図	3
◇	本校の校訓	5
I	学校沿革	6
II	学校経営の方針	14
III	本校教育の基本構想	18
IV	各学部の教育課程	
1	幼稚部	22
2	小学部	37
3	中学部	47
4	高等部	41
5	日課表（幼・小・中・高）	65
V	幼児児童生徒数（教育部門等別）	67
VI	市町村別幼児児童生徒数	68
VII	学校保健年間計画	70
VIII	学校安全年間計画	71
IX	校務分掌	
1	校務分掌組織図	72
2	校務分掌内容表	73
X	寄宿舎運営	75
XI	スクールバス運行路線図及び利用者数	77
XII	年間行事予定表	85
XIII	令和3年度卒業生進路先	90



校章のねらい

形 若でいご --- 伸びゆくことの象徴
 外 丸 --- 沖縄県旗と南国の太陽
 松 葉 --- 互いに支え合う円満な姿

色 紫 ---- 紺青の空を表す
 緑 ---- 平和を表す
 白 ---- 清潔を表す
 赤 ---- 情熱を表す

校 歌

作詞 金城 順 亮

作曲 芳 澤 江美子

う み や か り ゆ し な な つ い ー ろ
 た か さ ご お よ く な ご う ら に
 へ い わ の ひ か り さ し こ め て
 な ご な ご み ん な の し え ん が つ こ う
 な か よ く な か よ く わ を つ な ご う

一 海やかりゆし 七つ色

たかさごおよく 名護浦に

平和の光 さしこめて

名護 名護 みんなの支援学校

仲よく 仲よく 輪をつなごう

二 山はけだかく 嘉津宇岳

濃みどりそよく 松なみに

生きぬく力 おどらせて

名護 名護 みんなの支援学校

元気に元気に 輪をつなごう

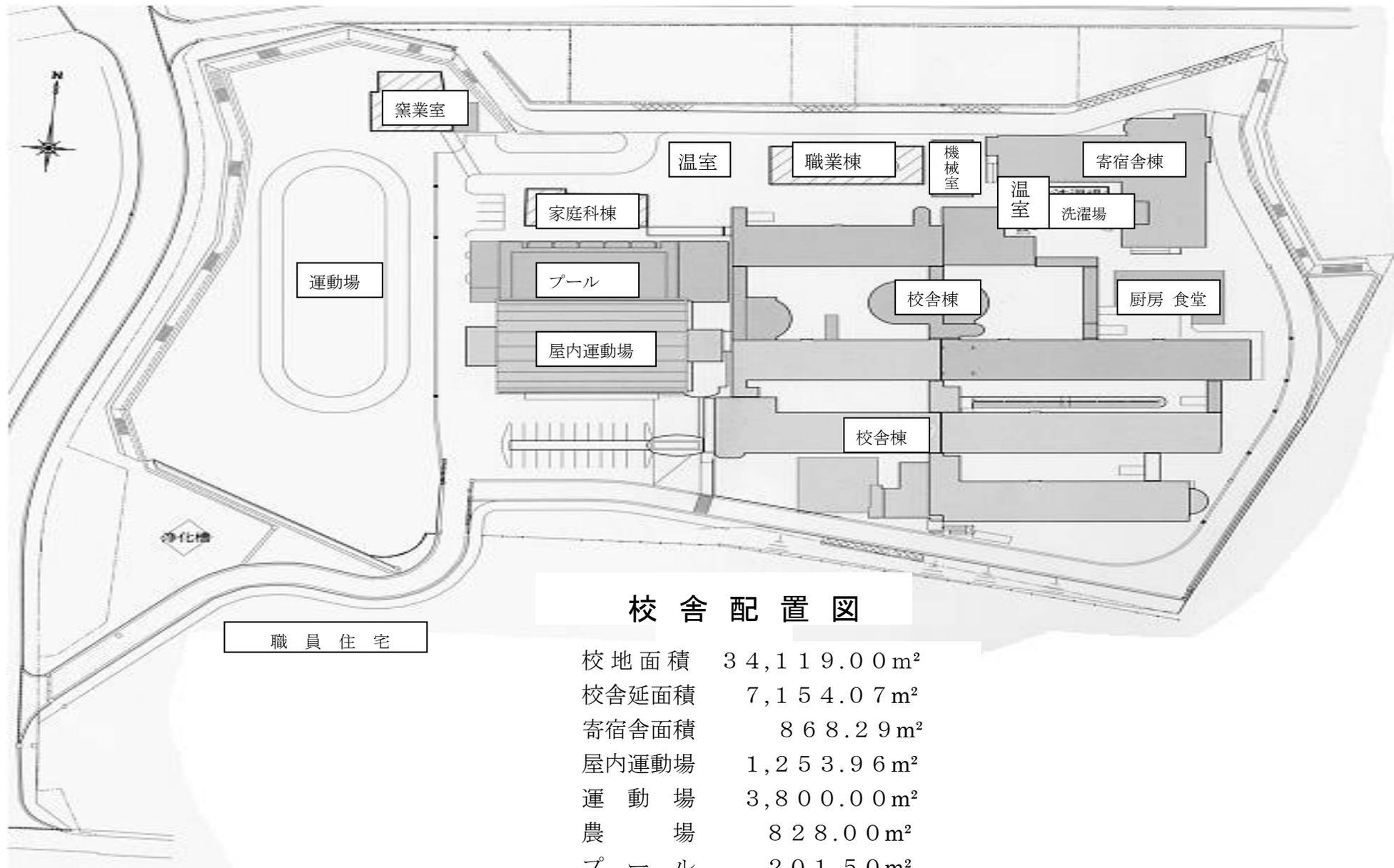
三 空にむれなす あかね雲

でいごの花の ほほえみに

あすある命 夢のせて

名護 名護 みんなの支援学校

ほがらにほがらに 輪をつなごう



校舎配置図

校地面積	34,119.00m ²
校舎延面積	7,154.07m ²
寄宿舍面積	868.29m ²
屋内運動場	1,253.96m ²
運動場	3,800.00m ²
農場	828.00m ²
プール	201.50m ²
厨房 食堂	350.00m ²

名護特別支援学校展開図(1階)



本校の校訓



I 学 校 沿 革

昭和50年	11月 1日	初代校長 玉城武也 教諭 當銘正幸 発令
	11月10日	学校開校事務所を名護市役所屋部支所内に開設
	12月18日	北部12市町村の入学対象児童・生徒の調査開始
	12月25日	学区及び入学選考要項決定
昭和51年	3月11日	事務長 長浜真達 発令
	3月29日	入学者決定
	4月 1日	當銘正幸 教頭昇任、教頭以下教職員33名発令
	4月20日	開校式・第1回 入学式举行 (小学部1年～6年：12学級、64名。中学部1年：3学級、19名) 校章を制定(校長教頭らの合作)校歌を制定(作詞金城順亮作曲芳澤江美子)
	5月 1日	職員10名(寮母 8名, 調理人 2名) 発令
	7月12日	寄宿舎の開始
	10月13日	校旗樹立式
昭和52年	3月19日	小学部第1回卒業式举行
	4月 1日	教諭5名発令
	4月 7日	昭和52年度 入学式举行
	10月 4日	体育館、プール、寄宿舎室2の建築工事着工
昭和53年	3月23日	小学部第2回卒業式举行
	4月 8日	昭和53年度 入学式举行
	11月13日	教育指導員の配置(～ 28日佐藤俊雄先生)
	6月16日	プール開き
	11月 6日	中学部2・3年修学旅行(～12日県外旅行九州地区)
昭和54年	2月18日	体育館、プール落成祝賀会举行
	3月20日	小学部第3回、中学部第1回卒業式举行
	4月 1日	校長玉城武也北部農林高等学校へ転出・校長安座間喜勝以下教職員35名発令・高等部開設(1年：4学級、30名定員) 養護学校義務制施行に伴い訪問教育実施
	4月 9日	昭和54年度 入学式举行
昭和55年	3月14日	学校給食室竣工
	3月21日	体育館附属棟並びに幼稚部棟竣工
	3月24日	小学部第4回、中学部第2回卒業式举行
	4月 1日	幼稚部開設(2学級、10名定員)・金武分校開校 澄井分校那覇養護学校分校より名護養護学校分校に変更
	4月 8日	昭和55年度 入学式举行
昭和56年	3月23日	幼稚部第1回修了式、小学部第5回、中学部第3回卒業式举行
	4月 1日	校長 安座間喜勝 沖縄盲学校へ転出、校長 松川良一 発令 事務長 長浜真達北山高等学校へ転出、事務長 大城藤夫 発令
	4月 8日	昭和56年度 入学式举行
昭和57年	3月13日	高等部第1回卒業式 卒業生26名(男子14名 女子12名)
	3月24日	幼稚部第2回修了式、小学部第6回、中学部第4回卒業式举行
	4月 8日	昭和57年度 入学式举行
	10月17日	第7回運動会
昭和58年	3月12日	高等部第2回卒業式举行 卒業生13名(男子8名 女子5名)
	3月24日	小学部第7回、中学部第5回卒業式举行
	4月 1日	校長 松川良一 大平養護学校へ転出、校長 砂川宏 発令 教頭 當銘正幸 北城ろう学校校長へ栄転、教頭 崎原正繁 発令
	4月 8日	昭和58年度 入学式举行
昭和59年	3月10日	高等部第3回卒業式举行 卒業生16名(男子11名 女子5名)

	3月24日	幼稚部第3回修了式、小学部第8回、中学部第6回卒業式举行
昭和60年	4月9日	昭和59年度 入学式举行
	3月9日	高等部第4回卒業式举行 卒業生11名 (男子8名 女子3名)
	3月22日	陶芸教室、職業教室、育苗室竣工
	3月23日	小学部第9回、中学部第7回卒業式举行
	4月1日	校長 砂川宏 具志川商業高等学校へ転出、校長 真栄城徳仁 発令
	4月9日	昭和60年度 入学式举行
昭和61年	10月20日	第10回記念運動会
	1月31日	農場基盤整備工事竣工
	3月13日	高等部第5回卒業式举行 卒業生21名 (男子13名 女子8名)
	3月23日	幼稚部第4回修了式、小学部第10回、中学部第8回卒業式举行
	3月25日	屋外教育環境整備工事竣工
	4月1日	教頭、崎原正繁泡瀬養護学校へ転勤、教頭石原信一就任
	4月8日	昭和61年度 入学式举行
昭和62年	11月29日	創立10周年記念式典
	3月18日	家庭科教室竣工
	3月13日	高等部第6回卒業式举行 卒業生22名 (男子12名 女子10名)
	3月24日	幼稚部第5回修了式、小学部第11回、中学部第9回卒業式举行
	4月1日	校長 真栄城徳仁 美咲養護学校へ転出、校長 宮城孫尚発令 事務長 大城藤夫 北部農林高等学校へ転出、事務長 比嘉正昇 発令
昭和63年	4月8日	昭和62年度 入学式举行
	3月10日	高等部第7回卒業式举行 卒業生21名 (男子12名 女子9名)
	3月24日	幼稚部第5回修了式、小学部第12回、中学部第10回卒業式举行
	3月30日	寄宿舎浴室棟竣工
	4月8日	昭和63年度 入学式举行
平成元年	3月24日	幼稚部第6回修了式、小学部第13回、中学部第11回卒業式举行 高等部第8回卒業式举行 卒業生25名 (男子17名 女子8名)
	4月1日	校長 宮城孫尚 泡瀬養護学校へ転出、校長 當銘正幸 発令 教頭 石原信一 宮古工業高等学校へ転出、教頭金城重雄発令
平成2年	7月4日	第1回養護学校体育大会 (県総合運動公園)
	3月20日	高等部第9回卒業式举行 卒業生23名 (男子10名 女子13名)
	3月26日	運動場整備工事竣工
平成3年	4月9日	平成2年度 入学式举行
	3月20日	高等部第10回卒業式举行 卒業生22名 (男子9名 女子13名)
	3月23日	幼稚部第8回修了式、小学部第15回、中学部第13回卒業式举行
平成4年	4月1日	教頭 赤嶺保善 発令
	4月9日	平成3年度 入学式举行
	3月19日	高等部第11回卒業式举行 卒業生19名 (男子12名 女子7名)
	3月24日	幼稚部第9回修了式、小学部第16回、中学部第14回卒業式举行
平成5年	4月8日	平成4年度 入学式举行
	3月19日	高等部第12回卒業式举行 卒業生14名 (男子11名 女子3名)
	3月24日	幼稚部第10回修了式、小学部第17回、中学部第15回卒業式举行
	4月1日	校長、中地名吉 発令 教頭、赤嶺保善 宮古養護学校長へ栄転、教頭、砂川恵光 発令
平成6年	4月8日	平成5年度 入学式举行
	3月9日	県教育委員会主催 特殊教育諸学校緑化コンクール努力賞受賞
	3月19日	高等部第13回卒業式举行 卒業生17名 (男子12名 女子5名)
	3月24日	幼稚部第11回修了式、小学部第18回、中学部第16回卒業式举行
	4月8日	平成6年度 入学式举行
	11月26日	県緑化コンクール学校緑化の部で入選

平成 7年	3月20日	高等部第14回卒業式举行 卒業生10名 (男子6名 女子4名)
	3月24日	幼稚部第12回修了式、小学部第19回、中学部第17回卒業式举行
	4月 1日	事務長 田村晃 発令
	4月10日	平成7年度 入学式举行
	12月 6日	文部省指定 平成6・7年度心身障害児適正就学推進に関する調査 研究報告会
平成 8年	3月16日	幼稚部第13回修了式
	3月20日	高等部第15回卒業式举行 卒業生12名 (男子10名 女子2名)
	3月24日	小学部第20回、中学部第18回卒業式举行
	3月28日	県教育委員会主催, 特殊教育諸学校緑化コンクールで優秀賞受賞
	4月 1日	県教育委員会指定平成8・9年度職業自立推進重点校・県教育委員会 指定グループ研究 教頭 砂川恵光 美咲養護学校へ転出、教頭 広川泰 発令
	4月 9日	平成8年度 入学式举行 (幼稚部4名 小学部10名 中学部11名 高等部10名)
平成 9年	3月 4日	県教育委員会指定平成8・9年度職業自立推進重点校校内報告会
	3月18日	高等部第16回卒業式举行 卒業生16名 (男子11名 女子5名)
	3月24日	幼稚部第14回修了式、小学部第21回、中学部第19回卒業式举行
	3月31日	金武分校廃校・校長 中地名吉 定年退職
	4月 1日	校長 友利敏雄 発令
	4月 8日	平成9年度 入学式举行 (幼稚部6名 小学部4名 中学部9名 高等部12名)
	6月13日	県特殊教育諸学校進路指導研究会総会及び研修会 (本校事務局校)
平成10年	2月18日	県教育委員会指定平成8・9年度職業自立推進重点校研究報告会
	3月18日	高等部第17回卒業式举行 卒業生7名 (男子5名 女子2名)
	3月24日	幼稚部第15回修了式、小学部第22回、中学部第20回卒業式举行
	4月 1日	事務長 仲本逸子 発令
	4月 8日	平成10年度 入学式举行 (幼稚部3名 小学部7名 中学部9名 高等部13名)
	12月 8日	県教育委員会指定グループ研究発表
平成11年	3月18日	高等部第18回卒業式举行 卒業生13名 (男子6名 女子7名)
	3月24日	幼稚部第16回修了式、小学部第23回、中学部第21回卒業式举行
	4月 1日	校長 久場兼征 発令 教頭 広川泰 県立教育センターへ転出、教頭 田仲康丈 発令
	4月 8日	平成11年度 入学式举行 (幼稚部2名 小学部5名 中学部9名 高等部13名)
平成12年	2月26日	沖縄県特殊教育研究大会開催 (本校事務局校)
	3月18日	高等部第19回卒業式举行 卒業生13名 (男子7名、女子6名)
	3月24日	幼稚部第17回修了式、小学部第24回、中学部第22回卒業式举行
	4月 1日	事務長 東恩納政子 発令
	4月10日	平成12年度入学式举行 (幼稚部2名 小学部4名 中学部8名 高等部16名)
平成13年	1月17日	県教育委員会指定特殊教育教育課程研究中間報告会
	3月17日	高等部第20回卒業式举行 卒業生13名 (男子9名 女子4名)
	3月23日	幼稚部第18回修了式、小学部第25回、中学部第23回卒業式举行
	4月 1日	教頭 田中康丈 県立学校教育課へ転出、教頭 宮城進 発令
	4月10日	平成13年度 入学式举行 (幼稚部1名 小学部3名 中学部15名 高等部17名)
	12月 5日	県教育委員会指定特殊教育教育課程研究最終報告会
平成14年	3月16日	高等部第21回卒業式举行 卒業生15名 (男8名 女7名)
	3月22日	幼稚部第19回修了式、小学部第26回、中学部第24回卒業式举行
	4月 1日	校長 田仲康丈 発令
	4月 9日	平成14年度入学式举行 (幼稚部2名 小学部3名 中学部12名 高等部16名)

平成15年	2月14日	寄宿舎及び機械室建設安全祈願祭
	3月18日	高等部第22回卒業式挙行 卒業生17名（男11名 女6名）
	3月20日	幼稚部第20回修了式、小学部第27回、中学部第25回卒業式挙行
	4月 1日	教頭 宮城進 沖縄高等養護学校長へ栄転、教頭 真謝孝 発令 事務長 東恩納政子 辺土名高等学校へ転出、事務長 山城宗也 発令
	4月 8日	平成15年度入学式（幼稚部1名 小学部1名 中学部11名 高等部14名）
	9月22日	新校舎A棟、B棟及びC棟の一部完成使用開始
平成16年	3月19日	高等部第23回卒業式挙行 卒業生18名（男13名 女5名）
	3月23日	幼稚部第21回修了式、小学部第28回、中学部第26回卒業式挙行
	3月26日	新校舎完成
	4月 1日	教頭 真謝孝 県立学校教育課へ転出、教頭 玉城惇 発令
	4月 8日	平成16年度 入学式 （幼稚部2名 小学部2名 中学部12名 高等部18名）
平成17年	3月18日	高等部第24回卒業式挙行 卒業生19名（男16名 女3名）
	3月19日	校舎全面改築落成記念式典・祝賀会
	3月23日	小学部第29回、中学部第27回卒業式挙行
	4月 1日	校長 田仲康丈 桜野養護へ転出、校長 森屋耕一 発令 事務長 山城宗也 北部農林高校へ転出、事務長 東章憲 発令
	4月 7日	平成17年度 入学式挙行 （幼稚部2名 小学部2名 中学部7名 高等部22名）
平成18年	3月17日	高等部第25回卒業式挙行 卒業生15名（男子10名 女子5名）
	3月23日	幼稚部第22回修了式、小学部第30回、中学部第28回卒業式挙行
	4月 1日	校長 森屋耕一 森川養護学校へ転出、校長 田仲康丈 発令 教頭 玉城惇 美咲養護学校へ転出、教頭 比嘉守雄 発令
	4月10日	平成18年度入学式 （幼稚部4名 小学部4名 中学部10名 高等部17名）
	6月17日	創立30周年記念式典
平成19年	3月19日	高等部第26回卒業式挙行 卒業生19名（男子11名 女子名）
	3月22日	幼稚部第23回修了式、小学部第31回、中学部第29回卒業式挙行
	4月10日	平成19年度入学式 （幼稚部5名 小学部3名 中学部10名 高等部21名）
平成20年	3月18日	高等部第27回卒業式挙行 卒業生22名（男子13名、女子9名）
	3月21日	幼稚部第24回終了式、小学部第32回、中学部第30回卒業式挙行
	3月31日	校長 田仲康丈 定年退職
	4月 1日	校長玉城茂発令 教頭比嘉守雄泡瀬養護学校へ転出 教頭長浜勝直 発令
	4月 8日	平成20年度入学式（幼稚部1名 小学部4名 中学部10名 高等部24名）
平成21年	3月18日	高等部第28回卒業式挙行 卒業生18名（男子13名、女子5名）
	3月23日	幼稚部第25回修了式、小学部第33回、中学部第31回卒業式挙行 （幼稚部修了生3名、小学部卒業生3名、中学部卒業生11名）
	4月 1日	沖縄県立高等学校等の設置に関する条例の一部を改正する条例により 名護特別支援学校へ校名変更
	4月 8日	平成21年度 入学式 （幼稚部1名、小学部0名、中学部8名、高等部23名）
平成22年	3月18日	高等部第29回卒業式挙行 卒業生23名（男子16名、女子7名）
	3月23日	幼稚部第26回修了式、小学部第34回卒業式、中学部第32回卒業式
	4月 1日	校長 比嘉良高 発令
	4月 8日	平成22年度入学式
	6月 4日	春の遠足（小学部：美ら海水族館）・歯科衛生士講話（中学部）
	9月28日	高等部3年生修学旅行（～10/1）
平成23年	3月18日	第30回高等部卒業式
	3月23日	第27回幼稚部終了式、第35回小学部卒業式、第33回中学部卒業式

- 4月 1日 教頭 長浜勝直 県立学校教育課に転出・教頭 嵩原建二 発令
4月 7日 就任式・1学期始業式・平成23年度入学式
10月 2日 第30回運動会
11月27日 第23回特別支援学校体育大会（中・高等部：具志川総合グラウンド）
- 平成24年
1月17日 高等部2年修学旅行（～20日）・校務分掌部会
3月22日 幼稚部修了式・小学部中学部卒業
4月 1日 事務長 波平誠以下本務職員8名発令
4月10日 平成24年度入学式
11月13日 芸術鑑賞会（名護高吹奏楽部）
- 平成25年
3月15日 第32回高等部卒業式
3月21日 幼稚部第29回修了式・小学部第37回卒業式・中学部第35回卒業式
4月 9日 平成25年度入学式
10月13日 第31回運動会
11月24日 沖縄県特別支援学校体育大会（県総合運動公園）親子レク（幼小）
- 平成26年
3月14日 高等部第33回卒業式
3月20日 修了式（幼）/小中卒業式
4月 1日 校長 仲尾武 発令、教頭安里吉実発令
校長 金城正巳 県立宜野湾高等学校へ転出
教頭 嵩原建二 県立桜野特別支援学校校長昇任
4月10日 入学式（幼稚部2名、小学部5名、中学部11名、高等部19名）
10月16日 小学部宿泊学習（名護青少年自然の家～17日）
- 平成27年
2月 1日 学習発表会・即売会、授業参観日
3月18日 第34回高等部卒業式
3月20日 第31回幼稚部修了式、第39回小学部卒業式、第37回中学部卒業式
3月31日 寄宿舎指導員 崎浜初美 早期退職
事務長 西島小夜子 開邦高等学校へ転出
4月 1日 事務長 神谷隆博 発令
10月 4日 第32回運動会
12月 1日 高等部2年修学旅行（東京都、千葉県～4日）
- 平成28年
3月18日 第35回高等部卒業式
3月23日 第32回幼稚部修了式、第40回小学部・第38回中学部卒業式
3月31日 校長：仲尾武 退職、介助員：岸本文男 早期退職
教頭：安里吉実 沖高等へ転出
4月 1日 校長 町田 裕、教頭 渡久地直哉 以下33名発令
知肢併設特別支援学校から視覚・聴覚・知的・肢体不自由・病弱の5
障害種対応の特別支援学校へ変更
4月11日 入学式（幼稚部3名、小学部6名、中学部4名、高等部20名）
11月10日 創立40周年記念式典
12月14日 校外学習（小・観劇）修学旅行（中2・3）
- 平成29年
1月24日 修学旅行（高2～27日）
2月 9日 特別支援学校技能検定5名参加（高）
2月12日 第33回学習発表会
3月14日 第36回高等部卒業式
3月17日 第33回幼稚部修了・第41回小学部 第39回中学部卒業式
3月31日 教諭：米須俊 早期退職、事務長：神谷隆博 本部高等学校へ転出
4月 3日 事務長 宮城光代 以下25名発令
4月10日 入学式（幼稚部2名、小学部2名、中学部8名、高等部27名）
10月 8日 第33回運動会～テーマ～「えがおで 一致団結 もえろ なごとくだましい」
11月 9日 修学旅行（小6～10日：県立博物館・美術館、那覇空港、ラウンド1等）
- 平成30年
3月14日 第37回高等部卒業式
3月20日 第34回幼稚部修了・第42回小・第40回中卒業式 学校徴収金検討委員会
3月31日 校長 町田 裕（定年退職）介助員 比嘉 洋子（早期退職）
教頭 渡久地直哉 泡瀬特別支援学校へ転出

- 4月 1日 校長 西永浩士、教頭 平良功 以下36名発令
 平成31年 12月 6日 特支キャリア教育就労支援発表会（名護市民会館）
- 2月 1日 特体連駅伝大会 Aチーム：12位 Bチーム：21位
 2月10日 第34回学習発表会（舞台発表・技能検定発表・展示・各作業班販売）
 3月14日 第38回高等部卒業式（18名）
 3月18日 第35回幼稚部修了式（5名）
 3月20日 第43回小学部・第41回中学部卒業式（小10名、中4名）
 3月31日 事務長 宮城光代 中部農林高等学校へ転出
 養護教諭 伊波美代子（定年退職）・介助員 島袋節子（早期退職）
- 令和元年 4月 1日 事務長 前田孝志 以下39名発令
 5月 1日 天皇即位の日
 8月 7日 学校閉庁日（～9日）
 10月 6日 第34回運動会・介護等体験（高）
 11月15日 第20回なごつくまつり
 12月25日 2学期終業式（13:35下校）・授業参観日
- 令和2年 1月 6日 3学期始業式
 1月17日 第41回校内持久走大会・高3保護者会・
 2月 7日 特体連駅伝大会（中高）・消防機器点検・
 第19回県保健安全研究大会（名護特支団体の部表彰）
 3月13日 高等部卒業式
 3月17日 幼稚部修了式
 3月19日 小中学部卒業式（13:35下校）
 3月24日 修了式・離任式・授業参観日
 3月31日 校長 西永浩士 宮古特別支援学校へ転出
 教頭 平良 功 西崎特別支援学校へ転出 他教職員19名転出
- 令和2年度 4月 1日 校長 徳永盛之・教頭 津波佳和 以下25名発令
 4月 7日 新型コロナウイルス感染症対策による臨時休業（～5月20日）
 4月 8日 入学（幼稚部3名、小学部8名、中学部12名、高等部27名）
 高等部普通科産業コース（4名入学）
 5月12日 学年別出校日 ～20日（火）8:45～10:30
 5月21日 1学期始業式 学部別実施 校長あいさつ（一斉放送）11:35下校
 5月22日 入学式（参加者：新入生と保護者） 11:35下校
 5月25日 分散登校 ～29日（金）日課表通りの授業実施 給食開始
 スクールバス分散登校で通常運行。寄宿舍（離島遠隔優先に開舎）
 6月 1日 通常授業スタート。スクールバス3台運行（名護コース：登校のみ）
 寄宿舍（全26名在舎）平和教育週間（～24日）
 7月27日 前期現場実習（高3）～7/31（舎）不審者対策避難訓練
 8月 1日 沖縄県緊急事態発令宣言（新型コロナウイルス感染症対策）
 令和2年8月1日～8月29日 夏季休業期間～8/10
 8月14日 スクールバス名護コース下校時運行スタート（毎週末）
 8月29日 振替出校（8月31日の振替）1学期終業式
 9月 3日 2学期始業式
 10月19日 後期現場実習（高～10/30）校内実習（中～10/23）体験入舎～10/30
 11月12日 宿泊学習（小56年）～13日
 12月 3日 修学旅行（中3県内～4日）
- 令和3年 1月 6日 3学期始業式（幼小中13:20下校 高15:15下校）
 1月15日 第41回校内持久走大会
 2月 8日 第35回学習発表会中止 舞台の部⇒動画編集三者面談等で保護者視聴
 販売の部⇒保護者注文販売及び無人販売
 3月16日 高等部卒業式
 3月19日 幼稚部修了式
 3月23日 小・中卒業式
 3月24日 小中高修了式 離任式
 3月31日 教頭 津波佳和（那覇みらい支援学校準備室）
 前田孝志（中部農林高校）へ転出
 安里幸枝、豊田尚子（定年退職）、他教職員14名転出
- 令和3年度 4月 1日 教頭 呉屋光広 事務長 与儀きよみ 以下27名発令
 新規採用者辞令交付式

- 4月 7日 1 学期始業式 スクールバス運行開始 給食開始
図書館開館：貸出開始
- 4月 8日 令和3年度入学式（幼稚部5名、小学部5名、中学部8名
高等部28名：産業コース3名、一般コース25名 入学）
- 4月15日 新入生歓迎会（中・高）
- 4月21日 げんきつき集会（創立記念日）校内放送
- 4月26日 三者面談～30日
- 4月28日 新しい友達を迎える会（小）
- 5月 7日 春の遠足（中）
- 5月10日 交通安全週間～21日
- 5月11日 耳鼻科健診（全学部）
- 5月12日 マナー講座（高）
- 5月13日 心電図検査（全学部）
- 5月14日 春の遠足（幼小：海洋博）
- 5月18日 プール清掃スタート～25日
- 5月19日 交通安全指導（幼小中） がじゅまる号来校
- 5月20日 歯科検診（幼小中）
- 5月26日 内科検診（幼小中）
- 5月28日 プール安全祈願
- 5月31日 分散登校開始（新型コロナウイルス感染症対策）～20日（A・Bで実施）
高3は通常登校 歯と口の健康週間～6/11
- 6月 1日 平和月間～22日
- 6月 2日 聴力・視力検査（幼小）
- 6月 3日 聴力・視力検査（中）
- 6月 7日 臨時休業（新型コロナウイルス感染症対策）～18日
- 6月21日 登校再開 通常授業
- 7月13日 子ども集会（幼小）
- 7月19日 三者面談～21日
- 7月26日 現場実習～8/5（高）
- 7月30日 1 学期終業式（幼～高2、高3は8/6）
- 8月 1日 夏季休業期間（～8/31）
- 9月 1日 2 学期始業式（Bグループ）
分散登校開始（新型コロナウイルス感染症対策）～24日 高3は通常登校
- 9月 2日 2 学期始業式（Aグループ）
- 9月14日 サイバー犯罪対策講座（高）
- 9月15日 沖縄県特別支援学校中学部文化祭（Web開催）～30日
- 9月27日 通常登校開始 通常授業
- 10月 3日 第35回運動会 中止
- 10月11日 地震津波避難訓練（シェイクアウト訓練）
- 10月13日 読書・給食コラボ取組～15日
- 10月19日 令和3年度 沖縄県立博物館・美術館 第5回アートコンクール
最優秀賞 高等部1年 久高 旺輝（テーマ「沖縄」）
- 10月20日 修学旅行・宿泊学習前検診（小5・6年、中2・3年）
- 10月21日 校外学習（寄合原農場見学）（幼小）
- 11月 1日 宿泊学習（中2年）～2日 1日総合学習（高）
- 11月 4日 修学旅行（小5・6年）～5日
- 11月 5日 PTA主催なごとくまつり 中止
- 11月 8日 いい歯の日週間～12日 後期自力通学指導（中）～19日
- 11月17日 後期現場実習報告会（高） 特体連・修学旅行前健診（高）
- 11月22日 総合避難訓練②（地震・津波）
- 11月24日 三者面談（～30日）
- 11月26日 沖縄県特別支援学校体育連盟体育大会（選抜）
- 12月 1日 1日総合学習（高）
- 12月 2日 修学旅行（中3年）～3日
- 12月 3日 校外学習：かなパークゴルフ（小6年）
- 12月 9日 修学旅行（高3年）～10日
- 12月11日 沖縄県中学校総合文化祭（Web開催）～12日
- 12月 9日 三者面談～17日
- 12月16日 音楽鑑賞会～管楽五重奏団Hana-Emi（花笑み）～
（各学部・学年等で実施）
- 12月17日 音楽鑑賞会：ノーマライゼーション ダンスクルー リバティ

	(各学部等で実施)
12月21日	お楽しみ会(幼小学部)
12月24日	2学期終業式(各学部等で実施)
12月27日	冬季休業日～1/5
令和4年	1月6日 3学期始業式(各学部等で実施)
	1月11日 分散登校開始(新型コロナウイルス感染症対策)～31日
	1月14日 第43回校内持久走大会 中止
	1月18日 花き展示:玄関(花き活用拡大事業)～2/7
	1月24日 校内実習(中)～29日
	1月26日 卒業生講話(録画視聴)(高)
	2月28日 第59回「沖縄教育版画コンクール」
	1月29日 第36回生産物まつり 中止
	1月31日 かみかみ週間～2/4
	2月1日 通常登校開始 通常授業
	総合避難訓練③(火災)～28日(各部・学級等で実施)
	2月10日 特別支援学校駅伝大会 中止
	2月14日 リクエスト給食～18日
	2月17日 1日総合学習(高) 高等部校内駅伝大会
	2月21日 三者面談～25日
	2月26日 全沖縄青少年読書感想文・感想画コンクール
	3月3日 3年生を送る会(中)
	3月8日 おともだちを送る会(幼小)
	県立特別支援学校入学者選抜検査～9日
	3月16日 高等部卒業式(18名:産業コース4名、普通コース14名)
	3月18日 幼稚部修了式(5名)
	3月23日 小学部・中学部卒業式(小学部9名、中学部15名)
	3月24日 修了式、離任式
	3月31日 校長 徳永盛之(那覇等別支援学校)へ転出 他教職員29名転出
令和4年度	
	4月1日 校長 岡越 猛 以下 33名発令 新規採用者辞令交付式
	4月7日 1学期始業式 スクールバス運行開始 給食開始 図書館開館:貸出開始
	4月11日 令和4年度入学式(中学部15名 高等部25名:産業コース5名、 一般コース20名 入学)
	4月15日 令和4年度入学式(幼稚部5名、小学部11名)

第1章 学校経営

学校経営方針

はじめに

現行学習指導要領において「社会に開かれた教育課程の実現」「育成を目指す資質・能力」「主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善」「カリキュラム・マネジメントの確立」等が示された。その方向性を全職員で認識し、専門性に基づいた授業力や困難な課題等にも一丸となって対応できる組織力の向上により本校教育目標の具現化を図ることを目指し、令和4年度の学校経営における重点目標等を以下のとおり設定する。

1 本校の教育目標

幼児児童生徒一人一人の生活年齢を重視する教育及び障害の状態や特性等に応じた教育を行うことにより、心身の調和的発達促し、家庭生活及び社会生活に適応できる能力と態度を培い、可能な限り積極的に自立し、社会参加する人間を育成する。

(1) 目指す人間像

- ① 健康で明るく、元気な人（健康）
（健康で安全な生活を送るために必要な習慣や態度を育てる。）
- ② 自分のことは自分でする人（自立）
（社会生活に必要な学習・生活上の基礎的な事項の確立を図る。）
- ③ 思いやりがあり仲良くする人（協力）
（情操豊かな心を育てる。）5障害種だから
- ④ ねばり強く、喜んで働く人（勤労）
（働く意欲とねばり強く最後までやりぬく態度を育てる。）
- ⑤ 自分で考えて行動する人（自律）
（集団活動を通して社会生活への適応力を育てる。）

(2) 目指す学校像

- ① 子どもが安心して学べる明るく緑豊かな学校
- ② 子ども一人一人の教育的ニーズに応え信頼される学校
- ③ 家庭、地域、関係機関と協力関係を築く開かれた学校

(3) 目指す教職員像

障害のある子の人権を尊重する教職員

- ① 深い教育的愛情で子どもと向き合い、保護者・地域と共に歩む教職員
- ② 特別支援教育の専門家として、自己研鑽に励む情熱のある教職員
- ③ 公務員として自覚と誇りをもち職務に専念し、職責を果たす教職員

合い言葉「なかよく げんきに ほがらかに」

2 本校の教育目標を達成するための基本方針

- (1) 全職員が公務員・特別支援学校教職員としての使命を自覚し、チーム学校として職員相互の信頼と協力に基づき実践的研究を深め、学校教育目標の達成に努める。
- (2) 学習指導要領改訂に即した教育課程を編成し、知的障害を伴う幼児児童生徒の指導においては、各教科の各段階の目標や内容を各学部での履修に努める。
- (3) 幼児児童生徒一人一人の生活年齢や障害の状態や特性等に応じた個別の指導計画を作成し、きめ細かな指導の充実に努めるとともに、幼稚部から高等部までの一貫したキャリア教育を通して、幼児児童生徒の自己肯定感や自己有用感等の涵養を図り、夢や希望を育む教育を推進する。
- (4) 家庭及び障害児入所施設、地域、近隣校、関係機関等との連携を密にして、地域における特別支援教育のセンター的役割を果たす「開かれた学校づくり」を推進する。
- (5) 幼児児童生徒が地域社会に参加・貢献のできる共生社会の実現を目指し、交流及び共同学習や地域における学習活動の充実に努める。

3 本年度の重点目標

- (1) 学校教育目標の達成を目指した学校経営の充実
 - ① 学校教育目標の保護者等への周知と教育目標達成のための指導計画の具体化（教育課程、年間指導計画、個別の教育支援計画、個別の指導計画等を踏まえた具体的授業実践）
 - ② 5障害種に対応する運営の工夫及び施設・設備の整備(学部運営・学習グループ編成の工夫、学校運営組織の工夫、特別教室等の整備充実)
 - ③ 特別支援教育のセンター的機能の充実（教育相談の充実、幼・小・中・高校等への支援、市町村教委や福祉関連部署との連携、地域支援ネットワークの充実、校内の幼児児童生徒支援と校内支援委員会の充実）
 - ④ 教育環境の整備（施設設備の充実、学校緑化、学校周辺通学路の安全）
 - ⑤ 事務室機能の拡充（正確・迅速な文書処理及び整理、学校予算の効率的執行、光熱・水道費の節減、学校の窓口としての適切な接遇）
 - ⑥ 教員が授業改善のための時間や子供に向き合う時間に注力できるようにするための「働き方改革」の推進
- (2) 幼児児童生徒の教育活動の改善・充実
 - ① 特別支援学校学習指導要領の改訂主旨を踏まえた教育課程編成・実践への取り組み（知的障害を有する子の教科別の指導を中心とした授業改善）
 - ② 各教科等の目標や内容を達成するための「各教科等を合わせた指導」の充実（各教科等の指導内容の明確化・系統化及び評価との一体化）
 - ③ 日々の授業におけるR-PDCAサイクルを念頭に置いた「主体的・対話的で深い学び」や観点別評価を意識した授業改善
 - ④ 5障害種に対応した教育課程類型の工夫、日課表・学習指導形態と合同授業の工夫
 - ⑤ 一人一人の教育的ニーズに応じた授業の充実（適切な実態把握、年間指導計画等と関連づけた個別の指導計画の充実、個別の教育支援計画の活用による指導の充実）
 - ⑥ 多様化、重度・重複化に応じた指導内容の精選と指導方法の工夫・改善（自立活動の充実、基礎的・基本的事項の指導の徹底、自作の教材教具・補助具等の工夫と活用、図書室及び移動

図書館利用による読書活動の充実、体育大会や作品募集への積極的な参加、各種検定等の受検奨励)

- ⑦ 学校、寄宿舎、家庭が連携した社会生活や日常生活に活用できる力の育成・確立（勤労観・職業観、挨拶の励行、生活リズム、食習慣等）

(3) 幼児児童生徒の健康・安全の充実

- ① 家庭、障害児入所施設、巡回看護師等と連携した健康管理（連絡帳等による健康管理の充実、与薬管理・てんかん発作及び医療的ケア対応の充実、緊急時シミュレーションの充実）
- ② 保健・安全指導による安全な生活を営む態度等の育成（学校保健・安全計画に基づく指導の充実、火災・地震・不審者避難訓練の充実、交通安全教室の充実、定期的な安全点検の徹底）
- ③ 学校給食と食育の充実（献立の充実、望ましい食習慣の形成、咀嚼指導〔かみかみ習慣〕の充実、委託業者との連携）
- ④ 幼児児童生徒の実態に応じた体力づくりの推進
- ⑤ 安全点検日（毎月1回）における指摘箇所の早期対応

(4) 幼児児童生徒の生活指導の充実

- ① 学校、寄宿舎、家庭が連携した一貫性のある生活指導の充実
- ② 通学指導の推進（段階的・継続的な指導の充実、中・高等部での自力通学指導の充実）
- ③ 児童・生徒会の活動の充実（げんきつき集会、児童生徒会行事での活動の工夫）
- ④ 交流及び共同学習の推進（各学部における計画的な学校間交流・地域交流の居住地校交流の推進・充実）
- ⑤ 放課後活動・地域での学習活動の推進（児童デイ等との連携、部活動の充実、地域での販売学習の充実）

(5) 幼児児童生徒の進路指導の充実・強化

- ① 職業教育の充実（係・当番活動の充実、作業学習の充実、家庭での役割活動の推進）
- ② 進路指導体制の充実強化（進路指導部と学部・学級との連携、進路便りの定期発行による進路情報提供の充実、職場開拓と現場実習の充実、卒業生の追指導）
- ③ 幼児児童生徒の興味・関心、能力・適性、進路希望等の把握（継続的な進路希望調査）
- ④ 高等部入学時からの進路指導の充実・強化（進路相談の充実、卒業時の進路決定100%目標）
- ⑤ 特別活動を要としつつ各教科等の特質に応じたキャリア教育の充実（学ぶことと自己の将来とのつながりを見通すことのできる指導の工夫）

(6) 教職員の研究・研修活動推進等による専門性の充実

- ① 知的障害教育における教科別指導の充実をテーマとした県指定研（校内研）の推進
- ② 特別支援学校におけるキャリア教育のあり方に関する継続研究と実践
- ③ 5障害種に対応する特別支援学校としての課題にそった職員研修（各障害特性の理解と指導法に関する研修、救急救命法研修、不審者対応研修等）
- ④ 特別支援学校教諭免許状の保有率の向上（認定講習・放送大学受講の推進、各障害種別の免許状取得）
- ⑤ 各学部毎の公開授業見学による授業研究会の実施
- ⑥ 服務規律の周知徹底と福利・厚生充実（公文の周知、服務研修の推進、衛生委員会の定期開催、健康講話、職員リフレッシュデーの推進、ノー残業デーの推進と仕事の効率化）

- ⑦ 高等部における軽度知的障害を対象とした「産業コース」の教育課程の実施・改善及び地域への広報（産業コースの存続等について、県教育委員会と検証を行う）
- ⑧ 他機関の専門家との連携及び活用

(7) 家庭及び地域・関係機関との連携の充実

- ① 開かれた学校づくりの推進（授業参観の充実、学校・寄宿舎行事への参加依頼、学校評価結果の公表と活用、学校評議員の活用、学校ホームページの更新、地域資源や人材の活用）
- ② 家庭及び地域・関係機関との連携強化（学校・学部・学級、寄宿舎便りの定期発行、学期末の三者面談の実施、地域・関係機関の人材活用）
- ③ P T A活動の充実（P T A総会・評議員会の充実、専門部活動、なごつくまつり、P T A研修会）

4 教育課程編成の基本方針

教育課程は学校の教育目標を達成するための教育計画であり、学習指導要領及び関係法令等に基づいて、児童生徒に共通して履修させる内容としてある事項について適切に取り扱うとともに、幼児児童生徒の生活年齢や障害の特性等及び地域や学校の実態等を十分考慮し、次のことに留意して編成する。

- (1) 学習指導要領の改訂に関する基本的な考え方（社会に開かれた教育課程の実現、育成を目指す資質・能力、主体的・対話的で深い学びの視点を踏まえた指導改善、カリキュラム・マネジメントの確立）や主な改善事項（学びの連続性を重視した対応、一人一人に応じた指導の充実、自立と社会参加に向けた教育の充実）を踏まえた教育課程の編成を行う。
- (2) 幼児児童生徒の生活年齢や心身の発達に即して、具体的に指導内容を基礎的・基本的内容に精選し、幼児児童生徒の自立と社会参加・貢献をめざして、幼・小・中・高等部の一貫した系統性のある教育課程を編成する。
- (3) 学力の三要素（基礎的な知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体的な学習意欲）を育成するため指導と評価の一体化を図り、幼児児童生徒の「生きる力」を育む教育課程を編成する。
- (4) 幼児児童生徒の根拠ある実態把握を行い、「教科別、領域別の指導」による教育課程を編成する。児童生徒の実態等により特に効果的で必要であると判断される場合は、「各教科等を合わせた指導」や学習指導要領の「重複障害者等に関する教育課程の取り扱い」を指導（授業）の形態として取り扱う。なお、下学部代替の場合には、教科名の変更ができないことに留意する。
- (5) 指導（授業）の形態として「各教科等を合わせた指導」を行う場合は、学習指導要領の知的障害教育に係る各教科等の目標及び内容等を児童生徒個々の段階に合わせて指導・評価できるよう指導計画を作成する。なお、「各教科等を合わせた指導」とは小学部（日生、遊び、生単）、中高等部（生単、作業学習）を指す。
- (6) 幼児児童生徒の実態等や各教科等の特質に応じ効果的と考えられる場合は、1単位時間を分割して編成する等の工夫を図る。
- (7) 常に諸行事や日課を検討し、学校生活の充実が図れる教育課程の編成に努める。
- (8) 訪問教育を必要とする児童生徒に対しては、教育課程を弾力的に編成し、実情に応じた授業時数を適切に定める。

III 本校教育の基本構想

【沖縄県立名護特別支援学校】

自立と社会参加（可能な限り職業自立を図る）

教育課程の理念

- (1) 心豊かな幼児児童生徒の育成
- (2) 基礎基本の重視と個性教育の推進
- (3) 文化と伝統の尊重と国際理解の推進

幼児児童生徒一人一人の生活年齢を重視する教育及び障害の状態や特性等に応じた教育を行うことにより、心身の調和的発達促進、家庭生活及び社会生活に適応できる能力と態度を 培い、可能な限り積極的に自立し、社会参加する人間を育成する。
【具体的目標】
 ①健康で安全な生活を送るために必要な習慣や態度を育てる。②社会生活に必要な学習・生活上の基礎的な事項の確立を図る。③情操豊かな心を育てる。④働く意欲とねばり強く最後までやりぬく態度を育てる。⑤集団活動を通して社会生活への適応力を育てる。

- 県の教育目標
- 児童生徒の実態
- 地域社会の願い
- 父母の願い
- 教師の願い

学校の合い言葉 「なかよく げんきに ほがらかに」

めざす学校像

- 子どもが安心して学べる明るく緑豊かな学校
- 子ども一人一人の教育的ニーズに応え信頼される学校
- 家庭、地域、関係機関と協力関係を築く開かれた学校

めざす子ども像

- 健康で明るく、元気な人（健康）
- 自分のことは自分でする人（自立）
- 思いやりがあり仲良くする人（協力）
- ねばり強く、喜んで働く人（勤労）
- 自分で考えて行動する人（自律）

めざす教職員像

- 障害のある子の人権を尊重する教職員
- 深い教育的愛情で子どもと向き合い、保護者・地域と共に歩む教職員
 - 特別支援教育の専門家として、自己研鑽に励む情熱のある教職員
 - 公務員として自覚と誇りを持ち職務に専念し、職責をはたす教職員

幼小小学部教育目標

- 【幼稚部】**
 ○健康な体と安全に生活する態度を育てる。
 ○情緒の安定を図り、豊かな心を育てる。
 ○身のまわりのことを自分でしようとする態度を育てる。
 ○一人でも友達とも遊べる力を育てる。
【小学部】
 ○健康な体と豊かな心を育てる。
 ○身のまわりのことは自分でできる力を養う。
 ○情緒の安定を図り、集団生活に参加する態度を育てる。
 ○基本的な生活習慣の形成を図る。
 ○自分の役割を知り、最後まで頑張る態度を育てる。

中学部の教育目標

- 健康な身体と豊かな心を育てる。
- 身辺処理の確立と情緒の安定を図り、情操豊かな心を育てる。
- 集団生活への適応を図り、望ましい人間関係を育成する。
- 社会生活に必要な基本的な生活習慣を身につけ、進んで働く意欲と最後までやり通す態度を養う。
- 日常生活に必要な基本的な生活習慣の形成及び定着を図る。

高等部の教育目標

- 職業生活に必要な体力をつけ、健康と衛生を自己管理する習慣や健全な態度を育てる。
- 職業生活・社会生活に必要な基礎的知識と技能、および生活習慣の形成を図る。
- 望ましい人間関係の確立を図り、適切な関わり方と協調性、情操豊かな心を養う。
- 職業生活に必要な能力と態度を養い、勤労の意欲を高める。
- 集団活動に積極的に参加し、社会に適応する能力を育てる。

基本方針

- 全職員が公務員・特別支援学校教職員としての使命を自覚し、チーム学校として職員相互の信頼と協力に基づき実践的研究を深め、学校教育目標の達成に努める。
- 学習指導要領改訂に即した教育課程を編成し、知的障害を伴う幼児児童生徒の指導においては、各教科の各段階の目標や内容を各学部での履修に努める。
- 幼児児童生徒一人一人の生活年齢や障害の状態、特性等に応じた個別の指導計画を作成し、きめ細かな指導の充実に努めるとともに、幼稚部から高等部までの一貫したキャリア教育を通して、幼児児童生徒の自己肯定感や自己有用感等の涵養を図り、夢や希望を育む教育を推進する。
- 家庭及び障害児入所施設、地域、近隣校、関係機関等との連携を密にして、地域における特別支援教育のセンター的役割を果たす「開かれた学校づくり」を推進する。
- 幼児児童生徒が地域社会に参加・貢献のできる共生社会の実現を目指し、交流及び共同学習や地域における学習活動の充実に努める。

主な重点目標

- 学校教育目標の達成を目指した学校経営の充実
 - 学校教育目標の保護者等への周知と教育目標達成のための指導計画の具体化（教育課程、年間指導計画、個別の教育支援計画、個別の指導計画等を踏まえた具体的授業実践）
 - 教員が授業改善のための時間や子供に向き合う時間に注力できるようにするための「働き方改革」の推進
- 幼児児童生徒の教育活動の改善・充実
 - 特別支援学校学習指導要領の改訂主旨を踏まえた教育課程編成・実践への取り組み（知的障害を有する子の教科別の指導を中心とした授業改善）
 - 各教科等の目標や内容を達成するための「各教科等を合わせた指導」の充実（各教科等の指導内容の明確化・系統化及び評価との一体化）
 - 学校、寄宿舎、家庭が連携した社会生活や日常生活に活用できる力の育成・確立（勤労観・職業観、挨拶の励行、生活リズム、食習慣等）
- 幼児児童生徒の健康・安全の充実
 - 家庭、障害児入所施設、巡回看護師等と連携した健康管理（連絡帳等による健康管理の充実、与薬管理・てんかん発作及び医療的ケア対応の充実、緊急時シミュレーションの充実）
 - 安全点検日（毎月1回）における指摘箇所の早期対応
- 幼児児童生徒の生活指導の充実
 - 学校、寄宿舎、家庭が連携した一貫性のある生活指導の充実
- 幼児児童生徒の進路指導の充実・強化
 - 職業教育の充実（係・当番活動の充実、作業学習の充実、家庭での役割活動の推進）
 - 特別活動を要として各教科等の特質に応じたキャリア教育の充実（学ぶことと自己の将来とのつながりを見通すことのできる指導の工夫）
- 教職員の研究・研修活動推進等による専門性の充実
 - 知的障害教育における教科別指導の充実をテーマとした県指定研（校内研）の推進
 - 高等部における軽度知的障害を対象とした「産業コース」の教育課程の実施・改善及び地域への広報（産業コースの存続等について、県教育委員会と検証を行う）
- 家庭及び地域・関係機関との連携の充実
 - 開かれた学校づくりの推進（授業参観の充実、学校・寄宿舎行事への参加依頼、学校評価結果の公表と活用、学校評議員の活用、学校ホームページの更新、地域資源や人材の活用）

幼小小学部の教育活動

教育の内容・方針
 入門教育の徹底 日常生活、社会生活、対人関係の基礎の形成

中学部の教育活動

教育の内容・方針
 日常生活・社会生活の形成・定着 協調性の確立 作業能力、体力の増進

高等部の教育活動

教育の内容・方針
 職業教育の徹底 自立・社会参加のための体力、精神力の育成 進路指導の徹底

IV 各学部の教育課程

1 幼稚部

(1) 幼稚部の教育目標

- ① 明るく元気な子
(健康な体と安全に生活する態度を育てる。)
(情緒の安定を図り、豊かな心を育てる。)
- ② 自分でできることは自分でする子
(身のまわりのことを自分でしようとする態度を育てる。)
- ③ 一人でもみんなとも遊べる子
(一人でも友達とも遊べる力を育てる。)

(2) 教育課程の編成方針

- ① 幼稚部教育要領及び本校教育課程編成の基本方針を踏まえ、学校や幼稚部の教育目標を達成するために幼児期の生活や発達の特性及び、障害の状態や特性、発達段階等を十分に把握し、興味・関心に考慮して、社会に開かれた教育課程を編成する。
- ② 小学部と円滑な接続を図り、連携を密にして、系統性のある教育課程の編成に努める。
- ③ 長期的な視野に立ち、本人や保護者の願いを反映させ、一人一人のニーズに応じた「個別の教育支援計画」及び「個別の指導計画」を作成し、指導の充実を図る。
- ④ 健康、人間関係、環境、言葉、表現及び自立活動の6領域を、相互に関連を持たせながら「遊び」「生活に必要な活動」「自立活動」を通して指導し、6領域のねらいが総合的に達成できるように努める。
- ⑤ 育みたい資質・能力及び「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を踏まえ、教育活動の向上を図り(カリキュラム・マネジメントの充実)、評価と改善につなげる。
- ⑥ キャリア教育の視点を持ち、幼児やその保護者が将来の夢や希望をはぐくめるように人や物との関わりを豊かにできるような教育課程を編成する。
- ⑦ 幼児の興味・関心に応じて、幼児自ら進んで働きかけることのできる環境を工夫し、遊びを通して、主体的・対話的で深い学び(アクティブ・ラーニング)ができるように編成する。
- ⑧ 幼児の実態を踏まえ、「基本的生活習慣の確立・集団参加・健康な生活リズム」の基礎作りであることを重視し、保護者が保育参加をするなど、家庭と連携しながら個に応じた指導の充実を図る。

(3) 各領域の指導の重点

- ① 健康
 - ア 明るくのびのびと活動できるようにする。
 - イ いろいろな遊びの中で、十分に体を動かせるようにする。
 - ウ 健康な生活リズムを身につけ、生活に必要な活動を自分でしようとする態度を身につけていけるようにする。
 - エ 安全な生活に必要な習慣や態度を身につけていけるようにする。

② 人間関係

- ア 幼稚部の生活を楽しみ、身近な人と共に過ごすことの喜びを味わわせ、一緒に遊ぶことができるようにする。
- イ 身近な人との関わりの中で、きまりの大切さに気づくことができるようにする。
- ウ いろいろな遊びを楽しみながら先生や友達と一緒に活動を最後までやり遂げようとする気持ちをもてるようにする。

③ 環境

- ア 校内外の身近な自然に触れることで、環境に対する興味・関心を育てることができるようにする。
- イ 草花を育てる活動を通して、身近な自然に親しむことができるようにする。
- ウ 身近な環境に自分から関わろうとする意欲を育てながら、好ましい関わり方に気付かせることができるようにする。
- エ 生活や遊びの中で、身のまわりのものの色や形、量、数、文字等に興味・関心をもつことができるようにする。

④ 言葉

- ア 絵本などを見たり、読み聞かせ等に親しむことができるようにする。
- イ 先生や友達の話に興味・関心を持ち、日常生活に必要な言葉が理解できるようにする。
- ウ 言葉のやりとりを楽しみ、自分なりの表現で日常生活に必要な簡単なあいさつや簡単な返事ができるようにする。
- エ 表現する楽しさを味わい、思ったことや感じたことを自分なりに伝えることができるようにする。

⑤ 表現

- ア 生活の中での様々な音・色・形・手触り・動きなどに気づいたり、楽しんだりできるようにする。
- イ いろいろな素材に親しみ、描いたり作ったり、思いのままに表現することができるようにする。
- ウ 音楽に親しみ、聞いたり歌ったり、のびのびと体を動かしたり、簡単なリズムなど楽器を使って楽しむことができるようにする。

⑥ 自立活動

- ア 基本的な生活習慣を身につけることができるようにする。(健康の保持)
- イ 情緒の安定を図り、集団活動に慣れることができるようにする。(心理的な安定)
- ウ 身近な人との関わりをもち、周囲の人とのやりとりを広げることができるようにする。(人間関係の形成)
- エ いろいろな体験を通して、周囲の状況に慣れることができるようにする。(環境の把握)
- オ 喜んで身体を動かすとともに、日常生活の基本動作を身につけることができるようにする。(身体の動き)
- カ 言葉に関して興味・関心をもち、表情や身振りなどの様々な方法を用いて、お互いの意思を伝え合うことができるようにする。(コミュニケーション)

(4) 交流及び共同学習の重点

- ① 幼児の居住地区や近隣の幼稚園、保育所等との交流の機会を積極的に設け、交流を深め、遊びを通して社会性や豊かな人間性を育むようにする。

(5) キャリア教育の重点

- ① 家庭や地域社会と連携し、健康な生活リズムを整えることができるようにする。
- ② 身近な人に親しみ、愛情や信頼感をもてるようにする。
- ③ 様々な遊びを通して、自ら活動しようとする意欲をもてるよう環境を工夫する。

(6) 生涯学習への意欲を高める指導の重点

心と体を十分に働かせ、地域の資源などを計画的に活用し、遊びや生活といった直接的・具体的な活動を通して、豊かな生活体験を得られるよう工夫する。

(7) 安全に関する指導の重点

- ① 健康を保ち、より健康な体作りを目指すことができるようにする。
- ② 交通安全指導や避難訓練に参加し、道路の正しい歩き方やその場に応じた行動がとれるようにする。
- ③ 情緒の安定を図り、安全な行動がとれるように自己統制力を育てるようにする。
- ④ 危険な場所を知り、安全な行動をとることができるようにする。
- ⑤ 遊具や用具を正しく使うことができるようにする。

(8) 教育日数、教育時数及び教育週数の配当

年齢	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
4	教育日数	14	19	21	13	0	20	20	18	17	17	19	12	190
	教育時数	48	72	80	51	0	73	80	71	69	62	75	46	727
	教育週数						39	週（年間の教育週数）						39
	備考													

年齢	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
5	教育日数	14	19	21	13	0	20	20	18	17	17	19	12	190
	教育時数	48	72	80	51	0	73	80	71	69	62	75	46	727
	教育週数						39	週（年間の教育週数）						39
	備考													

2 小学部

(1) 小学部の教育目標

- ① 健康で明るく元気な子
(健康な体と豊かな心を育てる。)
- ② 自分のことは自分でできる子
(身のまわりのことは自分でできる力を養う。)
- ③ 友達と仲良くできる子
(情緒の安定を図り、集団生活に参加する態度を育てる。)
- ④ 規則正しい生活ができる子
(基本的な生活習慣の形成を図る。)
- ⑤ 最後まで頑張る子
(自分の役割を知り、最後まで頑張る態度を育てる。)

(2) 教育課程の編成方針

- ① 本校教育課程編成方針に基づき、学校や小学部の教育目標を達成するために、個々の児童の障害の状態や特性及び心身の発達の段階等について十分考慮し、適切な教育課程を編成する。
- ② 長期的な視野に立ち、本人、保護者の願いを反映させ、一人一人の教育的ニーズに応じた「個別の教育支援計画」を作成する。それに基づいて「個別の指導計画」を作成し、指導内容を精選して教科等横断的な視点で組織的に配列し、指導の重点を明確に定める。
- ③ 「個別の指導計画」を実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立し、教育課程の改善につなげていくよう工夫する。
- ④ キャリア教育の視点を持ち、児童が将来の夢や希望を持つように、意識化を伴った基本的生活習慣の確立と人との豊かな関わりの基礎形成ができるような教育課程を編成する。
- ⑤ 豊かな人間性や社会性を育み、自立と社会参加に向けた教育の充実が図れるよう、交流及び共同学習や体験学習を計画的に教育課程に位置づけ、社会に開かれた教育課程の実現に努める。
- ⑥ 育成を目指す資質・能力の三つの柱に基づいて指導内容を明確にし「生きる力」を育む教育課程を編成する。
- ⑦ 主体的・対話的で深い学びの実現へ向けて、学ぶことに興味や関心をもって取り組む「主体的な学び」、他者との対話を手がかりに自己の考えを広げ深める「対話的な学び」、各教科等の見方・考え方を働かせながら知識を相互に関連付けてより深く理解したり、考えを形成したり創造したりする「深い学び」の三つの視点に立った授業改善を行う。

(3) 各教科等の指導の重点 (基本方針等)

※育成すべき資質・能力の3つの柱に関連するものを以下のように表記する。

(知)・・・生きて働く「知識・技能」、

(思)・・・未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」、

(学)・・・学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性の涵養」

① 各教科

ア 国語

- ・日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに，我が国の言語文化に触れ，親しむことができるようにする。(知)
- ・日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を身に付け，思考力や想像力を養う。(思)
- ・いろいろな本に親しみ，思いや考えを伝えたり受け止めようとしたりする能力や態度を養う。(学)

イ 社会（3～6年）

- ・我が国や地域の地理的環境，歴史や伝統文化，現代社会の仕組みや働きを通して，社会生活について理解し，様々な資料や調査活動を通して情報を調べたりまとめたりする技能を育てる。(知)
- ・社会的事象の意味を考えたり，社会に見られる課題を把握したりして，自ら社会への関わり方を選択・判断したりする力や適切に表現する態度を育てる。(思)
- ・よりよい社会を考え主体的に問題解決しようとする態度を養うとともに，我が国の国土と歴史，地域社会に対する愛情を育てる。(学)

ウ 算数

- ・数量や図形についての基礎的・基本的な概念や性質を理解し，日常の事象を数理的に処理する技能を身に付けるようにする。(知)
- ・日常の生活の中から，数量や図形を直感的に捉える力，基礎的・基本的な数量や図形の性質などを見だし考察する力，数学的な表現で表したりする力を養う。(思)
- ・数学的活動の楽しさに気づき，学習したことを結びつけてよりよく問題を解決しようとする態度，算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学習や生活に活用しようとする態度を養う。(学)

エ 理科（3～6年）

- ・自然の仕組みや働きなどについての基本的な事柄について理解し，観察や実験に関する初歩的な技能を身に付けるようにする。(知)
- ・観察や実験を行い，疑問を持ったり，問題の解決に向けて考えたりする力を養う。(思)
- ・自然を大切にする態度や学んだことを生活に生かそうとする態度を養う。(学)

オ 生活（1・2年）

- ・活動や体験を通して，自分自身，身近な人々，社会及び自然との関わりについて考えることができ，それらのよさや自分との関わりに気づき，生活に必要な習慣や技能を身に付けるようにする。(知)
- ・身近な人々，社会及び自然を自分との関わりで捉え，感じたことや考えたことを表現することができるようにする。(思)
- ・身近な人々，社会及び自然に自ら働きかけ，意欲や自信をもって，生活を豊かにしようとする態度を養う。(学)

カ 音楽

- ・曲名や曲想と音楽のつくりについて気付くとともに，表したい音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。(知)

- ・音楽表現を工夫することや、曲や演奏の楽しさを見いだしながら音や音楽の楽しさを味わって聴くことができるようにする。(思)
- ・音楽活動の楽しさを体験することを通して、身の回りの様々な音楽に興味をもつとともに音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。(学)

キ 図画工作

- ・形や色などの造形的な視点について自分の感覚や行為を通して理解するとともに、表したいことに合わせて材料や用具を使い、表し方を工夫してつくるようにする。(知)
- ・造形的なよさや美しさ、表したいことや表し方について考え、身の回りの作品などに対する自分の見方や感じ方を深めることができるようにする。(思)
- ・進んで表現や鑑賞の活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、感性を育み、形や色などに関わることにより楽しく豊かな生活を創り出そうとする態度を養う。(学)

ク 家庭 (5・6年)

- ・家族や衣食住などの家庭生活、日常生活に必要な基礎的な知識や技能を身に付けるようにする。(知)
- ・日常生活の中から問題を見いだし、その解決方法を考え実践し、自分の考えたことを表現することができるようにする。(思)
- ・家庭生活を大切にすることを育み、生活をよりよくしようと工夫し考えようとする実践的な態度を養う。(学)

ケ 体育

- ・基本的な運動の楽しさやその行い方を知り、基本的な動きを身に付けるとともに、健康や身体の変化について知り、健康な生活ができるようにする。(知)
- ・基本的な運動の楽しみ方や健康な生活の仕方について自らの課題を見つけ、考えたことや気付いたことなどを他者に伝える力を養う。(思)
- ・きまりを守り、自分から友達と仲よく楽しく運動をしたり、場や用具の安全に気を付けたりしようとするとともに、進んで健康に必要な事柄をしようとする態度を養う。(学)

コ 外国語 (5・6年)

- ・外国語の音声や文字、表現などについて、日本語と外国語の違いに気付き、聞く、読む、話す、書くことに関する知識について理解するとともに、実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な技能を身に付けるようにする。(知)
- ・身近で簡単な事柄について、外国語で聞いたり話したりするとともに、音声で十分に慣れ親しんだ外国語の語彙や基本的な表現を読んだり書いたりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合う基礎的な力を養う。(思)
- ・外国の文化に理解を深め、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。(学)

② 道徳科

- ・自己と向き合い、自律的に判断し、よく考えて節度のある生活をすることや努力して物事をやり抜く意欲や態度を育てる。(主として自分自身に関すること)
- ・他者に対して思いやりや感謝、信頼する気持ちを持ちながら、相互理解しようとする態度を育てる。(主として人との関わりに関すること)

- ・法やきまりの意義を理解して守り，働くことの意義を理解して進んで役に立つことを行い，集団の中での自分の役割を自覚して集団生活の充実に努める態度を育てる。（主として集団や社会との関わりに関すること）
- ・生命や自然，崇高なものに関わり，生命の尊さを知り，自然愛護の精神を育て，よりよく生きようとする態度を育てる。（主として生命や自然，崇高なものとの関わりに関すること）

③ 特別活動

- ・集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し，行動の仕方を身に付けるようにする。（知）
- ・集団や学校生活をよりよくするための課題を見いだし，解決するために話し合ったり，意志決定したりすることができるようにする。（思）
- ・集団活動を通して身に付けたことを自主的，実践的に取り組むことを通して，人間関係をよりよく形成するとともに自己実現を図ろうとする態度を養う。（学）

④ 自立活動

- ・個々の児童が自立を目指し，障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識，技能，態度及び習慣を養う。（健康の保持，身体の動き）
- ・健康の保持・増進に努め，心理的な安定を図り，対人関係の形成の基礎を培う。（心理的な安定，健康の保持，人間関係の形成）
- ・児童の感覚や認知の特性，身体の動き等を理解し，状況に応じて，適切な補助具や補助手段の活用を図る。（身体の動き，環境の把握）
- ・周りの状況を把握して，自らの意思や感情を伝え合う等，状況に応じた手段の選択，行動できる態度を培う。（環境の把握，コミュニケーション）

⑤ 総合的な学習の時間（3～6年）

- ・探求的な学習を通して，課題の解決に必要な基礎的な知識及び技能を身に付けるようにする。（知）
- ・実際の生活や社会の中から，自ら課題を見付け，情報を集め，考えたことを表現することができるようにする。（思）
- ・探求的な学習に主体的・協働的に取り組み，互いのよさを生かしながら社会とかかわりをもとうとする態度を養う。（学）

⑥ 外国語活動（3・4年）

- ・外国語を用いた体験的な活動を通して，言語や文化に対する理解を深め，身近な生活で見聞きする外国語に興味や関心を持ち，外国語の音声や簡単な表現に慣れ親しむようにする。（知）
- ・身近で簡単な事柄について，外国語で聞いたり話したりして自分の考えや気持ちなどを伝え合う力の素地を養う。（思）

- ・外国語を通して言語や文化に対する理解を深め、外国語を用いて進んでコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。(学)

教育課程Ⅱ【知的障害教育・知的代替】

① 各教科

ア 生活

- ・具体的な活動や体験を通して、自分自身、身近な人々、社会及び自然との関わりについて気づき、生活に必要な習慣や技能を身に付けるようにする。(知)
- ・自分自身や身の回りの生活、身近な人々、社会及び自然と触れ合ったり関わったりすることを通して、それらを楽しむことができ、感じたことを表現することができるようにする。(思)
- ・自分のことに取り組もうとしたり、身近な人々、社会及び自然に働きかけ、意欲や自信をもって学ぼうとする態度を養う。(学)

イ 国語

- ・身近にある日常生活に必要な言葉を身に付けるとともに、いろいろな言葉に触れ、親しむことができるようにする。(知)
- ・日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を養い、自分の思いをもつことができるようにする。(思)
- ・いろいろな本に親しみ、言葉でのやりとりを聞いたり伝えたりしようとする態度を養う。(学)

ウ 算数

- ・具体的な活動を通して、身の回りにある数や量、図形についての基礎的なことがわかり、それらを取り扱う技能を身に付けるようにする。(知)
- ・身の回りにある数や量、図形の性質などに気づき、操作したり比較したりして考えたり表現したりすることができるようにする。(思)
- ・数量や図形について学んだことよさや楽しさを感じながら、日常生活に活用しようとする態度を養う。(学)

エ 音楽

- ・曲名や曲想と簡単な音楽のつくりについて気付くとともに、音楽表現を楽しむために必要な身体表現、器楽、歌唱、音楽づくりにつながる技能を身に付けるようにする。(知)
- ・音楽的な表現を楽しむことや感じたことを表現することを通じて、音や音楽に興味をもって聴くことができるようにする。(思)
- ・音や音楽に関わり友達や教師と一緒に音楽活動をする楽しさに興味をもちながら、音楽経験を生かして生活を明るく楽しいものにしようとする態度を養う。(学)

オ 図画工作

- ・形や色などの違いに気づき、材料や用具を使い、表し方を工夫してつくるようにする。(知)
- ・表したいことを思い付いたり、身の回りの作品などの面白さを感じ取ったりすることができるようにする。(思)
- ・進んで表したり見たりする活動に取り組み、つくりだす喜びを感じるとともに、形や色などに関わることにより楽しく豊かな生活を創り出そうとする態度を養う。(学)

カ 体育

- ・楽しく遊びや基本的な運動ができ、基本的な動きを身に付けるとともに、健康な生活に必要な事柄ができるようにする。(知)
- ・遊びや基本的な運動に慣れ、その楽しさや心地よさを表現できるようにするとともに、健康な生活について考えたことや気付いたことを他者に伝え合う力を養う。(思)
- ・簡単なきまりを守り、教師や友達とともに安全に楽しく遊んだり、運動をしようとしたり、健康に必要な事柄をしようとする態度を養う。(学)

② 道徳科

- ・良いことと悪いことの区別がわかり良いと思うことを行い、規則正しい生活をする中で自分でできることは自分でやり、やるべきことを最後までやり抜こうとする態度を養う。
(主として自分自身に関すること)
- ・気持ちの良い挨拶や言葉遣いなどを心掛け、自分の気持ちを相手に伝え、身近にいる人と仲良く助け合う心を育てる。(主として人との関わりに関すること)
- ・約束やきまりを守り、家庭や学校・地域での生活を楽しみ、与えられた仕事をみんなのためにがんばる態度を養う。(主として集団や社会との関わりに関すること)
- ・身近な自然に親しみ、動植物に優しく接して、生命を大切にする心を育てる。(主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること)

③ 特別活動

- ・体験的な活動を通して、集団活動を行う上で必要となることについて気付き、行動の仕方を身に付けるようにする。(知)
- ・集団や学校生活をよりよくするために役割を分担して協力して実践したり、話し合ったり、意志決定したりすることができるようにする。(思)
- ・集団活動を通して身に付けたことを生かして、人間関係をよりよく形成するとともに自己実現を図ろうとする態度を養う。(学)

④ 自立活動

- ・個々の児童が自立を目指し、障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識、技能、態度及び習慣を養う。(健康の保持、身体の動き)
- ・身近な人との信頼関係を築き、遊びや集団活動などに積極的に参加できるようにする。(心理的な安定、コミュニケーション、身体の動き)
- ・健康の保持・増進に努め、情緒の安定を図り、コミュニケーションや対人関係の形成の基礎を培う。(心理的な安定、健康の保持、人間関係の形成)
- ・保有する感覚を活用して周りの環境を把握し、身体の動きを高めるとともに、作業に必要な動作を獲得する。(環境の把握、身体の動き)
- ・保有する感覚を活用して周りの環境を把握し、コミュニケーションの基礎的能力を培う。(環境の把握、コミュニケーション)

⑤ 外国語活動

- ・外国語を用いた体験的な活動を通して、日本語と外国語の音声の違いなどに気づき、外国語の音声に慣れ親しむようにする。(知)
- ・身近で簡単な事柄について、外国語に触れ、自分の気持ちを伝え合う力の素地を養う。(思)
- ・外国語を通して、言語への関心を高め、進んでコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。(学)

⑥ 各教科等を合わせた指導

ア 日常生活の指導

- ・日常生活や学習の自然な流れに沿い、繰り返しながら取り組むことにより、望ましい基本的生活習慣の形成を図る。
- ・日常生活や社会生活において、挨拶をする、きまりを守るなどの意欲や態度を育てる。

イ 遊びの指導

- ・いろいろな遊びを通して、遊ぶ楽しさを味わうことにより、情緒の安定を図り、豊かな情操を養う。
- ・いろいろな遊びを通して、経験を広げ、さまざまな事象に興味・関心を持ち、望ましい対人関係についての力を養う。

ウ 生活単元学習

- ・個に応じた具体的・実践的活動を通して、生活経験を広げるとともに積極性や主体性を育て、社会生活に必要な力を育む。
- ・生活に即した学習活動を組織的・体系的に経験し、集団で協働して取り組む楽しさを味わう。

教育課程Ⅲ【訪問教育】

① 教育方針

- ア 児童の障害の状態や特性、発達段階及び興味関心を考慮し、家庭との連携を密にしながら児童の教育的ニーズに応じた教育課程を編成する。
- イ 主に日常生活の指導と自立活動、生活単元学習を週3回(1日45分×2コマ)行うことを原則とする。
- ウ 児童の体調を考慮しながら情報通信ネットワークを活用したり、スクーリングを行ったりして、当該学年の授業や学校行事等へ参加する。

(4) 交流及び共同学習の重点

近隣の学校との交流及び共同学習や居住地校交流、異年齢の学習形態による活動や高齢者を含む地域社会との交流活動を通して、豊かな人間性や社会性を育み、好ましい人間関係形成のための素地を養う。

(5) 生徒指導の重点

- ① 日常生活に必要な身近処理能力や基本的生活習慣の形成を図る。
- ② 組織的な児童理解を図り、障害の状態や特性及び心身の発達の段階に応じた指導を行い、充実

感・達成感を味わえるよう指導することで、教師と児童の信頼関係を深める。

- ③ 家庭や地域社会及び関係機関等との連携・協力を密にし、児童一人一人が集団の中で、互いに協力し合う活動を通して共感的な人間関係を育む。

(6) キャリア教育の重点

- ① 将来の日常生活及び社会的・職業的自立に向けて、個々の発達段階に応じた基本的な生活習慣の形成を図る。
- ② 家庭や地域社会と連携し、生活経験の拡充を図り、豊かな人間関係の基礎を育てる。
- ③ 自分の役割がわかり、進んで物事に取り組もうとする意欲や態度及び日常生活に必要な力を身につけるようにする。
- ④ 自己の将来に対する夢や希望を持てるようにする。

(7) 生涯学習への意欲を高める指導の重点

地域社会にある施設の見学や体験、日常生活に根ざした課題解決学習等を通して、身の回りの物事に対する興味関心、身近な人との関わりを楽しむ態度、主体性を育む。

(8) ICT機器利活用の重点

- ① 児童の知的障害の状態や学習状況、経験等に応じて、教材・教具や補助用具などを工夫するとともに、コンピュータや情報通信ネットワーク等のICT機器を有効に活用し、指導の効果を高めるようにする。
- ② 必要に応じて校内情報化推進計画等を策定し、合理的配慮のためのICT機器活用方針を示す。

(9) 安全教育の重点

- ① 日常生活の様々な場面で発生する危険を知り、安全に行動できる態度や技能を育てる。
- ② 災害や事故などの危険を知り、防災や交通安全を意識して自らの安全を確保するための行動ができるようにする。
- ③ 様々な感染症を知り、感染予防のための行動ができるようにする。
- ④ 情緒の安定を図るとともに自己統制力を育てる。
- ⑤ 自分の発育・発達に関心を持ち、身体の清潔や望ましい食習慣について理解し、健康の保持増進に努める態度を育てる。
- ⑥ 性に関する指導は、身体的成熟や心理的な発達を踏まえ、家庭等との密接な連携・協力の下、教育活動全体を通して適切な指導を行う。

(10) 授業日数及び授業時数の配当

様式2 小学部

① 授業日数配当表

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1年	14	19	21	13	0	20	20	20	17	17	19	17	197
2年	16	19	21	13	0	20	20	20	17	17	19	17	199
3年	16	19	21	13	0	20	20	20	17	17	19	17	199
4年	16	19	21	13	0	20	20	20	17	17	19	17	199
5年	16	19	21	13	0	20	20	20	17	17	19	17	199
6年	16	19	21	13	0	20	20	20	17	17	19	15	197
備考													

② 訪問教育授業日数配当表

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1年	9	12	13	8	0	11	12	12	10	10	12	11	120
2年	9	12	13	8	0	11	12	12	10	10	12	11	120
3年	9	12	13	8	0	11	12	12	10	10	12	11	120
4年	9	12	13	8	0	11	12	12	10	10	12	11	120
5年	9	12	13	8	0	11	12	12	10	10	12	11	120
6年	9	12	13	8	0	11	12	12	10	10	12	11	120
備考	授業日数は週3日、週授業時数は6時間を標準とする。												

③ 授業時数配当表 I 課程 (小学校の教育課程に自立活動を加えて編成)
訪問教育 I 課程 (小学校の教育課程に自立活動を加えて弾力的に編成)

教科等	1年	2年	3年	4年	5年	6年	備考
各教科	国語	284	290	249	218	179	139
	社会	/	/	73	73	72	106
	算数	144	184	145	182	144	141
	理科	/	/	73	109	108	108
	生活	109	109	/	/	/	/
	音楽	73	74	73	73	72	72
	図画工作	73	74	73	73	72	72
	家庭	/	/	/	/	72	72
	体育	110	110	110	109	72	72 保健を含む
	外国語	/	/	/	/	72	72
小計	793	841	796	837	863	854	
道徳科	37	37	37	36	36	36	
外国語活動	/	/	37	36	/	/	
総合的な学習の時間	/	/	73	73	72	72	
特別活動	37	37	37	36	36	36	
自立活動	37	37	37	36	36	36	
小計	111	111	221	217	180	180	
合計	904	952	1017	1054	1043	1034	

③ 授業時数配当表 I 課程（小学校の教育課程に自立活動を加えて編成）
 訪問教育 I 課程（小学校の教育課程に自立活動を加えて弾力的に編成）

教科等	1年	2年	3年	4年	5年	6年	備考	
各教科	国語	291	294	254	220	181	144	
	社会			73	73	72	108	
	算数	146	184	146	182	144	143	
	理科			73	109	108	108	
	生活	110	110					
	音楽	73	74	73	73	72	72	
	図画工作	73	74	73	73	72	72	
	家庭					72	72	
	体育	110	110	110	109	72	72	保健を含む
	外国語					72	72	
	小計	803	846	802	839	865	863	
	道徳科	37	37	37	36	36	36	
外国語活動			37	36				
総合的な学習の時間			73	73	72	72		
特別活動	37	37	37	36	36	36		
自立活動	37	37	37	36	36	36		
小計	111	111	221	217	180	180		
合計	914	957	1023	1056	1045	1043		

様式5 小学部〔ⅡA課程〕

Ⅱ課程（知的障害小学部の教育課程） 訪問教育Ⅱ課程（知的障害小学部の教育課程を弾力的に編成）

Ⅲ課程（知的障害小学部の教育課程で自立活動に重点を置いて編成） 訪問教育Ⅲ課程（知的障害小学部の教育課程で自立活動に重点を置いて弾力的に編成）

④ 授業時数配当表【各教科等を合わせた指導を含む】

日：日常生活の指導 生：生活単元学習 遊：遊びの指導

	1年			2年			3年			4年			5年			6年			備考		
	総 時数	教科 別の 指導	合わせた 指導																		
各教科	生活	388	361	27	355	328	27	350	325	25	315	290	25	277	254	23	232	209	23		
	国語	118	109	9	158	147	11	192	183	9	192	183	9	189	180	9	225	216	9		
	算数	116	109	7	155	147	8	154	146	8	154	146	8	188	180	8	188	180	8		
	音楽	43	37	6	43	37	6	43	37	6	79	73	6	78	72	6	78	72	6		
	図画工作	43	37	6	43	37	6	43	37	6	79	73	6	78	72	6	78	72	6		
	体育	47	37	10	47	37	10	82	73	9	82	73	9	81	72	9	81	72	9	保健を含む	
道徳科	35	0	35	35	0	35	35	0	35	35	0	35	0	35	35	35	35	0	35		
外国語活動							4	0	4	4	0	4	4	0	4	4	0	4	4		
特別活動	35	0	35	35	0	35	35	0	35	35	0	35	35	0	35	35	35	0	35		
自立活動	79	73	6	81	74	7	79	73	6	79	73	6	78	72	6	78	72	6			
合計	教科別の指導で行う時数		763	教科別の指導で行う時数		807	教科別の指導で行う時数		874	教科別の指導で行う時数		911	教科別の指導で行う時数		902	教科別の指導で行う時数		893			
	合わせた指導で行う時数		141	合わせた指導で行う時数		145	合わせた指導で行う時数		143	合わせた指導で行う時数		143	合わせた指導で行う時数		141	合わせた指導で行う時数		141			
	総時数			総時数			総時数			総時数			総時数			総時数					
	904			952			1017			1054			1043			1034					
【指導形態】																					
日常生活の指導		0			0			0			0			0			0				
生活単元学習		70			72			71			71			70			70				
遊びの指導		71			73			72			72			71			71				
合計		141			145			143			143			141			141				

様式5 小学部〔ⅡB課程〕

Ⅱ課程（知的障害小学部の教育課程） 訪問教育Ⅱ課程（知的障害小学部の教育課程を弾力的に編成）

Ⅲ課程（知的障害小学部の教育課程で自立活動に重点を置いて編成） 訪問教育Ⅲ課程（知的障害小学部の教育課程で自立活動に重点を置いて弾力的に編成）

④ 授業時数配当表【各教科等を合わせた指導を含む】

日：日常生活の指導 生：生活単元学習 遊：遊びの指導

	1年			2年			3年			4年			5年			6年			備考						
	総 時数	教科 別の 指導	合わせた 指導	総 時数	教科 別の 指導	合わせた 指導	総 時数	教科 別の 指導	合わせた 指導	総 時数	教科 別の 指導	合わせた 指導	総 時数	教科 別の 指導	合わせた 指導	総 時数	教科 別の 指導	合わせた 指導							
各教科	生活	182	0	182	155	168	0	168	141	156	0	156	130	159	0	159	122	146	107	138	0	138	101		
				日 14 生 13 遊 13			日 14 生 14 遊 13			日 130 生 14 遊 12			日 122 生 25 遊 12			日 146 生 27 遊 12			日 138 生 25 遊 12			日 101 生 25 遊 12			
	国語	120	73	47	35	165	108	57	45	170	109	61	50	206	147	59	40	198	144	54	35	220	174	46	17
				日 8 生 4 遊 4			日 8 生 8 遊 4			日 50 生 7 遊 4			日 40 生 15 遊 4			日 59 生 15 遊 4			日 198 生 15 遊 4			日 54 生 15 遊 4			日 220 生 17 遊 4
	算数	111	73	38	29	113	74	39	30	148	109	39	30	147	109	38	25	174	144	30	17	171	144	27	14
				日 5 生 4 遊 4			日 30 生 5 遊 4			日 30 生 5 遊 4			日 25 生 9 遊 4			日 38 生 9 遊 4			日 174 生 17 遊 4			日 30 生 9 遊 4			日 171 生 9 遊 4
音楽	67	37	30	20	72	37	35	25	69	37	32	22	110	73	37	22	104	72	32	10	101	72	29	10	
			日 5 生 5 遊 5			日 5 生 5 遊 5			日 25 生 5 遊 5			日 22 生 5 遊 5			日 37 生 10 遊 5			日 104 生 10 遊 5			日 32 生 10 遊 5			日 101 生 10 遊 5	
図画工作	65	37	28	15	61	37	24	11	64	37	27	15	110	73	37	14	103	72	31	12	98	72	26	9	
			日 9 生 4 遊 4			日 11 生 9 遊 4			日 11 生 11 遊 4			日 15 生 8 遊 4			日 27 生 8 遊 4			日 103 生 19 遊 4			日 31 生 15 遊 4			日 98 生 13 遊 4	
体育	64	37	27	10	65	37	28	11	104	73	31	15	99	73	26	14	96	72	24	12	92	72	20	8	
			日 8 生 9 遊 9			日 8 生 8 遊 9			日 11 生 8 遊 8			日 15 生 8 遊 8			日 26 生 4 遊 8			日 96 生 4 遊 8			日 24 生 4 遊 4			日 92 生 4 遊 8	
道徳科	35	0	35	12	35	0	35	12	35	0	35	12	35	0	35	12	35	0	35	12	35	0	35	12	
			日 10 生 10 遊 13			日 10 生 10 遊 13			日 12 生 10 遊 13			日 12 生 10 遊 13			日 35 生 10 遊 13			日 35 生 10 遊 13			日 35 生 10 遊 13			日 35 生 10 遊 13	
外国語活動									6	0	6	2	6	0	6	2	6	0	6	2	10	0	10	2	
									6	0	6	2	6	0	6	2	6	0	6	2	10	0	10	2	
特別活動	35	0	35	12	35	0	35	12	35	0	35	12	35	0	35	12	35	0	35	12	35	0	35	12	
			日 10 生 13 遊 13			日 10 生 10 遊 13			日 12 生 10 遊 13			日 12 生 10 遊 13			日 35 生 10 遊 13			日 35 生 10 遊 13			日 35 生 10 遊 13			日 35 生 10 遊 13	
自立活動	225	183	42	30	238	184	54	40	230	183	47	35	147	109	38	25	146	109	37	24	134	108	26	15	
			日 4 生 8 遊 8			日 5 生 5 遊 9			日 4 生 4 遊 8			日 35 生 4 遊 8			日 25 生 5 遊 8			日 146 生 6 遊 7			日 134 生 6 遊 7			日 134 生 4 遊 7	
合計		440		477		548		584		613		642		392											
			464		475		469		470		430		392												
		904		952		1017		1054		1043		1034													
【指導形態】																									
日常生活の指導		318		327		323		288		250		212													
生活単元学習		73		74		73		109		108		108													
遊びの指導		73		74		73		73		72		72													
合計		464		475		469		470		430		392													

様式5 小学部〔ⅡC課程〕

Ⅱ課程（知的障害小学部の教育課程） 訪問教育Ⅱ課程（知的障害小学部の教育課程を弾力的に編成）

Ⅲ課程（知的障害小学部の教育課程で自立活動に重点を置いて編成） 訪問教育Ⅲ課程（知的障害小学部の教育課程で自立活動に重点を置いて弾力的に編成）

④ 授業時数配当表【各教科等を合わせた指導を含む】

日：日常生活の指導 生：生活単元学習 遊：遊びの指導

	1年			2年			3年			4年			5年			6年			備考								
	総 時数	教科 別の 指導	合わせた 指導	総 時数	教科 別の 指導	合わせた 指導	総 時数	教科 別の 指導	合わせた 指導	総 時数	教科 別の 指導	合わせた 指導	総 時数	教科 別の 指導	合わせた 指導	総 時数	教科 別の 指導	合わせた 指導									
各教科	生活	138	0	138 日 90 生 35 遊 13	147	0	147 日 99 生 35 遊 13	142	0	142 日 76 生 48 遊 18	175	0	175 日 97 生 60 遊 18	180	0	180 日 102 生 60 遊 18	180	0	180 日 102 生 60 遊 18								
	国語	77	0	77 日 60 生 13 遊 4	77	0	77 日 60 生 13 遊 4	77	0	77 日 53 生 15 遊 9	76	0	76 日 45 生 22 遊 9	68	0	68 日 37 生 22 遊 9	68	0	68 日 37 生 22 遊 9								
	算数	53	0	53 日 45 生 4 遊 4	53	0	53 日 45 生 4 遊 4	57	0	57 日 40 生 8 遊 9	46	0	46 日 28 生 9 遊 9	48	0	48 日 30 生 9 遊 9	48	0	48 日 30 生 9 遊 9								
	音楽	128	73	55 日 37 生 13 遊 5	129	74	55 日 37 生 13 遊 5	131	73	58 日 35 生 15 遊 8	119	73	46 日 20 生 18 遊 8	118	72	46 日 20 生 18 遊 8	118	72	46 日 20 生 18 遊 8								
	図画工作	41	0	41 日 25 生 12 遊 4	41	0	41 日 25 生 12 遊 4	46	0	46 日 25 生 14 遊 7	41	0	41 日 12 生 22 遊 7	39	0	39 日 10 生 22 遊 7	39	0	39 日 10 生 22 遊 7								
	体育	76	37	39 日 25 生 5 遊 9	76	37	39 日 25 生 5 遊 9	120	73	47 日 25 生 8 遊 14	108	73	35 日 12 生 9 遊 14	110	72	38 日 15 生 9 遊 14	110	72	38 日 15 生 9 遊 14	保健を含む							
道徳科	35	0	35 日 12 生 10 遊 13	35	0	35 日 12 生 10 遊 13	35	0	35 日 12 生 10 遊 13	35	0	35 日 12 生 10 遊 13	35	0	35 日 12 生 10 遊 13	35	0	35 日 12 生 10 遊 13									
外国語活動							6	0	6 日 2 生 2 遊 2	6	0	6 日 2 生 2 遊 2	6	0	6 日 2 生 2 遊 2	6	0	6 日 2 生 2 遊 2									
特別活動	35	0	35 日 12 生 10 遊 13	35	0	35 日 12 生 10 遊 13	35	0	35 日 12 生 10 遊 13	35	0	35 日 12 生 10 遊 13	35	0	35 日 12 生 10 遊 13	35	0	35 日 12 生 10 遊 13									
自立活動	321	256	65 日 49 生 8 遊 8	359	292	67 日 50 生 8 遊 9	368	290	78 日 45 生 16 遊 17	413	330	83 日 47 生 20 遊 16	404	326	78 日 45 生 18 遊 15	395	317	78 日 45 生 18 遊 15									
合計	教科別の指導で行う時数		366	403		436		476		470		461		合計		538		549		581		578		573		573	
総時数		904		952		1017		1054		1043		1034															
【指導形態】																											
日常生活の指導		355		365		325		287		285		285															
生活単元学習		110		110		146		182		180		180															
遊びの指導		73		74		110		109		108		108															
合計		538		549		581		578		573		573															

様式5 小学部〔IID課程〕

Ⅱ課程（知的障害小学部の教育課程） 訪問教育Ⅱ課程（知的障害小学部の教育課程を弾力的に編成）

Ⅲ課程（知的障害小学部の教育課程で自立活動に重点を置いて編成） 訪問教育Ⅲ課程（知的障害小学部の教育課程で自立活動に重点を置いて弾力的に編成）

④ 授業時数配当表【各教科等を合わせた指導を含む】

日：日常生活の指導 生：生活単元学習 遊：遊びの指導

	1年			2年			3年			4年			5年			6年			備考			
	総 時数	教科 別の 指導	合わせた 指導	総 時数	教科 別の 指導	合わせた 指導	総 時数	教科 別の 指導	合わせた 指導	総 時数	教科 別の 指導	合わせた 指導	総 時数	教科 別の 指導	合わせた 指導	総 時数	教科 別の 指導	合わせた 指導				
各教科	生活	141	0	141	91 日 25 遊	148	0	148	98 日 25 遊	150	0	150	85 日 38 遊	195	0	195	85 日 38 遊	195	0	195		
	国語	54	0	54	40 日 4 遊	55	0	55	41 日 4 遊	56	0	56	7 日 12 遊	47	0	47	20 日 12 遊	47	0	47		
	算数	41	0	41	30 日 5 遊	43	0	43	31 日 5 遊	45	0	45	15 日 12 遊	36	0	36	15 日 12 遊	36	0	36		
	音楽	101	0	101	56 日 25 遊	101	0	101	56 日 25 遊	110	0	110	48 日 35 遊	108	0	108	48 日 35 遊	108	0	108		
	図画工作	37	0	37	15 日 15 遊	37	0	37	15 日 15 遊	50	0	50	14 日 28 遊	51	0	51	14 日 28 遊	51	0	51		
	体育	52	0	52	15 日 7 遊	52	0	52	15 日 7 遊	55	0	55	14 日 12 遊	61	0	61	14 日 12 遊	61	0	61	保健を含む	
道徳科	35	0	35	12 日 10 遊	35	0	35	12 日 10 遊	35	0	35	12 日 10 遊	35	0	35	12 日 10 遊	35	0	35			
外国語活動							6	0	6	2 日 2 遊	6	0	6	2 日 2 遊	6	0	6	2 日 2 遊	6	0	6	
特別活動	35	0	35	12 日 10 遊	35	0	35	12 日 10 遊	35	0	35	12 日 10 遊	35	0	35	12 日 10 遊	35	0	35	12 日 10 遊		
自立活動	408	292	116	85 日 9 遊	446	329	117	86 日 9 遊	475	363	112	83 日 9 遊	480	367	113	65 日 23 遊	469	362	107	63 日 21 遊		
合計	教科別の指導で行う時数			292			329			363			367			362			353			
	合わせた指導で行う時数			612			623			654			687			681			681			
	総時数			904			952			1017			1054			1043			1034			
【指導形態】																						
日常生活の指導		356			366			362			287			285			285					
生活単元学習		110			110			146			182			180			180					
遊びの指導		146			147			146			218			216			216					
合計		612			623			654			687			681			681					

様式5 小学部〔Ⅲ課程〕

Ⅱ課程（知的障害小学部の教育課程） 訪問教育Ⅱ課程（知的障害小学部の教育課程を弾力的に編成）

Ⅲ課程（知的障害小学部の教育課程で自立活動に重点を置いて編成） 訪問教育Ⅲ課程（知的障害小学部の教育課程で自立活動に重点を置いて弾力的に編成）

④ 授業時数配当表【各教科等を合わせた指導を含む】

日：日常生活の指導 生：生活単元学習 遊：遊びの指導

	1年			2年			3年			4年			5年			6年			備考				
	総 時数	教科 別の 指導	合わせた 指導	総 時数	教科 別の 指導	合わせた 指導	総 時数	教科 別の 指導	合わせた 指導	総 時数	教科 別の 指導	合わせた 指導	総 時数	教科 別の 指導	合わせた 指導	総 時数	教科 別の 指導	合わせた 指導					
各教科	生活	41	0	41	43	0	43	41	0	41	42	0	42	42	0	42	42	0	42				
	国語	26	0	26	26	0	26	30	0	30	30	0	30	30	0	30	30	0	30				
	算数	12	0	12	12	0	12	12	0	12	12	0	12	12	0	12	12	0	12				
	音楽	51	0	51	51	0	51	56	0	56	77	0	77	77	0	77	77	0	77				
	図画工作	19	0	19	19	0	19	20	0	20	23	0	23	23	0	23	23	0	23				
	体育	44	0	44	44	0	44	46	0	46	42	0	42	42	0	42	42	0	42	保健を含む			
道徳科	35	0	35	35	0	35	35	0	35	35	0	35	35	0	35	35	0	35					
外国語活動							6	0	6	6	0	6	6	0	6	6	0	6					
特別活動	35	0	35	35	0	35	35	0	35	35	0	35	35	0	35	35	0	35					
自立活動	641	507	134	687	550	137	736	581	155	752	584	168	741	578	163	732	569	163					
合計	教科別の指導で行う時数		507	550		581		584		578		569		合計		合わせた指導で行う時数		397	402	436	470	465	465
総時数		904			952			1017			1054			1043			1034						
【指導形態】																							
日常生活の指導		178			181			180			179			177			177						
生活単元学習		73			74			73			109			108			108						
遊びの指導		146			147			183			182			180			180						
合計		397			402			436			470			465			465						

3 中学部

(1) 中学部の教育目標

- ① 健康で明るく元気な生徒
(健康な体と豊かな心を養う。)
- ② 自分のことは自分でできる生徒
(身辺処理の確立と情緒の安定を図り、情操豊かな心を育てる。)
- ③ 友達と仲良くできる生徒
(集団生活への適応を図り、望ましい人間関係を育成する。)
- ④ ねばり強く、喜んで働く生徒
(社会生活に必要な基本的生活習慣を身につけ、進んで働く意欲と最後までやり通す態度を養う。)
- ⑤ 規則正しい生活ができる生徒
(日常生活に必要な基本的生活習慣の形成および定着を図る。)

(2) 教育課程の編成方針

- ① 学部の教育目標を達成するために、生徒の実態に即して教育内容を精選し、発展的、系統的に指導できるように編成する。
- ② 生徒の実態に応じて、学習グループを編成し、教科別、領域別の指導及び各教科等を合わせた指導ができるようにし、キャリア教育を通して将来の夢や、自分の役割を意識できるように編成する。
- ③ 長期的な視野に立ち一人一人のニーズに応じた個別的教育支援計画及び個別の指導計画を作成する。
- ④ 生徒個々の発達段階や、障害の状態に応じて教科別の指導を行う。
- ⑤ 生徒個々の実態を把握し、個々の持つ能力や可能性の伸長に努め、自立的態度の育成、社会生活能力の育成に努める。
- ⑥ 日課や諸行事を検討し、ゆとりある教育課程の編成に努める。

(3) 各教科等の指導の重点(基本方針等)

※育成すべき資質・能力の3つの柱に関連するものを以下のように表記する。
(知)・・・生きて働く「知識・技能」、(思)・・・未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」
(学)・・・学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性の涵養」

【視覚障害教育、聴覚障害教育、肢体不自由教育、病弱教育の特別支援学校】

① 各教科

ア 国 語

- ・社会生活に必要な国語について、その特性を理解し適切に使うことができるようにする。(知)
- ・社会生活における人とのかかわりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。(思)
- ・言葉が持つ価値を理解するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。(学)

イ 社 会

- ・地域の地理的事象や歴史、伝統文化、現代の政治や国際関係を理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。(知)
- ・社会的事象を多角的・多面的に考察し、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断する力、それらを基に議論する力を養う。(思)
- ・よりよい社会の実現を目指し、主体的に課題解決しようとする態度を養うとともに、公民として自国のみならず、他国を尊重することの大切さについての自覚を養う。(学)

ウ 数 学

- ・数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身につけるようにする。(知)
- ・数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見だし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。(思)
- ・数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を養う。(学)

エ 理 科

- ・自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。(知)
- ・観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。(思)
- ・自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。(学)

オ 音 楽

- ・表現(歌唱・器楽・身体)及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽を愛好する心情を育てるとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽活動の基礎的な能力を伸ばし音楽文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。(知)(思)(学)

カ 美 術

- ・対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。(知)
- ・造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。(思)
- ・美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。(学)

キ 保健体育

- ・自分の体の発達・発育やけがの防止の仕方がわかり、運動や健康・安全に関する基本的な動きや技能を身につけるようにする。(知)

ク 技術・家庭

- ・生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。(知)
- ・生活や社会の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力を養う。(思)
- ・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。(学)

ケ 外国語

- ・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けるようにする。(知)
- ・コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。(思)
- ・外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。(学)

② 道徳科

- ・学校の教育活動全般を通して、規則正しい生活を心がけ、主体的に考えて判断し、行動しようとする態度を育てる。
- ・学校や学年・学級の活動全般を通して、友達を大切に、協力し合って活動する態度を育てる。
- ・学校の教育活動全般における身近な体験を通して、社会のルールやマナーを学び、自然を大切にする心を育てる。

③ 総合的な学習の時間

- ・探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に係る概念を形成し、探究的な学習の良さを理解するようにする。(知)(学)
- ・実社会や実生活の中から疑問を見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析し、まとめ・表現することができるようにする。(思)(学)
- ・探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。(学)

④ 特別活動

- ・多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。(知)(学)
- ・集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図り、意思決定することができるようにする。(思)(学)
- ・自主的実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、人間としての生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。(学)

⑤ 自立活動

- ・個々の生徒が自立を目指し、障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識、技能、態度及び習慣を養い、もって心身の調和的発達の基盤を養う。
- ・生徒の身体の動きや保有する感覚、意思の表出の状態に応じて、適切な補助具や補助的手段を工夫し、有効な活用を図る。

【知的障害教育の特別支援学校】

① 各教科

ア 国 語

- ・日常生活や社会生活に必要な国語について、その特性を理解し使うことができるようにする。(知)
- ・日常生活や社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を身に付け、思考力や想像力を養う。(思)
- ・言葉で伝え合うよさを感じるとともに、言語感覚を養い、国語を大切にしてその能力の向上を図る態度を養う。(学)

イ 社 会

- ・活動や経験を通して、地域の地理的事象や歴史、伝統文化を調べまとめる力を身に付けるようにする。(知)
- ・自分の生活と関連づけて身近な社会的事象について考え、選択・判断したことを表現する力を養う。(思)
- ・地域社会の一員として生きていくことの大切さについて自覚を養う。(学)

ウ 数 学

- ・日常的に役立つ数や量、図形を理解し、必要な計算を身に付けるようにする。(知)
- ・身の回りの物の有無や数的要素に注目し、数を用いて表現したり、大きさや長さなどの量の違いを区別したりする力を養う。(思)
- ・数や量、図形に進んで関わり、そのことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。(学)

エ 理 科

- ・日常生活における身近な自然に親しみ、それらの事物・現象に関心を持つ態度を養う。(知)
- ・身近な自然の事象・事物について初歩的な観察や実験を通して理解を深め、予測する力を育てる。(思)
- ・自然を大切にする心情、態度を養うとともに、日常生活に活かそうとする態度を養う。(学)

オ 音 楽

- ・音楽の表現(歌唱・器楽・身体)及び鑑賞を通して音楽への興味関心をもち、協働して音楽活動する楽しさと、その美しさや楽しさを感じる心と表現する能力を養う。(知)(思)(学)

カ 美 術

- ・造形的な視点について理解し、材料や用具の扱い方などを身に付けるとともに、多様な表し方を工夫する技能を身に付けるようにする。(知)
- ・造形的なよさや面白さ、美しさ、表したいことや表し方などについて考え、経験したことや想像したこと、材料などを基に、発想し構想するとともに、自分たちの作品や美術作品などに親しみ自分の見方や感じ方を深めることができるようにする。(思)
- ・主体的に美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を高め、心豊かな生活を営む態度を養う。(学)

キ 保健体育

- ・適切な運動の経験や健康・安全についての理解を通して健康の保持増進と体力向上を図り、友達と協力し明るく豊かに運動する態度を育てる。(知)(思)(学)

ク 職業・家庭

- ・生活や職業に関する関心を高め、将来の家庭生活や職業生活に係る基礎的な知識や技能を身に付けるようにする。(知)
- ・将来の家庭生活や職業生活に必要な事柄を学んでいくなかで、実践を評価・改善し、自分の考えを表現するなどして、課題を解決しようとする態度を養う。(思)
- ・より良い家庭生活や職業生活の実践に向けて、生活を工夫しようとする態度を養う。(学)

コ 外国語

- ・外国語を交えた体験的な活動を通して、身近な生活で見聞きする外国語に興味や関心をもち、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しむようにする。(知)
- ・身近で簡単な事柄について、外国語に触れ、自分の気持ちを伝え合う力の素地を養う。(思)
- ・外国語を通して、外国の文化などに触れながら、言語への感心を高め、進んでコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。(学)

② 道徳科

- ・学校の教育活動全般を通して、規則正しい生活を心がけ、主体的に考えて判断し、行動しようとする態度を育てる。
- ・学校や学年・学級の活動全般を通して、友達を大切にし、協力し合って活動する態度を育てる。
- ・学校の教育活動全般における身近な体験を通して、社会のルールやマナーを学び、自然を大切にすることを育てる。

③ 総合的な学習の時間

- ・生徒の興味・関心に基づく体験的な活動を通して自ら課題を見つけ、考え、解決できる主体的な態度を育てる。(思)(学)
- ・各教科、領域、各教科等を合わせた指導の内容を関連付け、総合的に生かす力を養う。(知)(思)(学)

④ 特別活動

- ・学校や学年・学級、その他の多様な集団や他者と係わる活動を通して、活動に参加する積極的な態度や、豊かな人間性や社会性を育てる。(学)
- ・学校や学年・学級における生活を、より良くするために、その課題をみつけ、解決するために話し合い、進んで協力する態度を育てる。(思)(学)
- ・学校の教育活動全般を通して、健康の保持増進を図り、運動に親しむ態度の育成や、災害等から身を守る安全な行動や規律ある集団行動の体得を目指す。(知)(学)

⑤ 自立活動

- ・個々の生徒が自立を目指し、障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識、技能、態度及び習慣を養い、もって心身の調和的発達を基盤を養う。
- ・生徒の身体の動きや保有する感覚、意思の表出の状態に応じて、適切な補助具や補助的手段を工夫し、有効な活用を図る。

⑥ 各教科等を合わせた指導

ア 日常生活の指導

(教育課程ⅡC)

- ・日常生活の諸活動における充実や基本的習慣の確立を図り、社会生活への参加のために必要な技能や態度を身につける。

(教育課程ⅡD、Ⅲ)

- ・日常生活の諸活動に必要な身近処理能力を身につけ、諸活動の充実や基本的習慣の確立を図る。

イ 生活単元学習

(教育課程ⅡC)

- ・生活上の目標を達成し、課題を解決するために、集団の一員として自覚し、目標と見通しをもって主体的に取りくむことができるようにする。

(教育課程ⅡD、Ⅲ)

- ・いろいろな事柄に興味・関心をもち、集団の一員として見通しをもって学習活動に取りくむことができるようにする。

ウ 作業学習

(教育課程ⅡD)

- ・作業活動を通して安全に気をつけ、協力して最後まで頑張る態度を養う。
- ・見通しを持って繰り返し行う課題学習により、達成感を味わい、情緒の安定を図る。

[訪問教育における教育課程]

① 教育方針

- ・生徒の実態に即した教育内容を精選し、指導の充実に努める。
- ・個別の教育支援計画、個別の指導計画を作成し、保護者等との連携を密にし、弾力的に運用する。

② 重点目標

- ・健康の保持増進。
- ・自立活動を主とした指導を行い、動作訓練・感覚訓練による運動機能の向上。
- ・五感への刺激を通じた自発性の向上。

(4) 交流及び共同学習の重点

近隣の学校や地域社会との交流活動を通して生徒の社会性や豊かな人間性を育てる。

(5) 生徒指導の重点

- ① 学校生活全般を通して、基本的な生活習慣の形成を図る。
- ② 段階的な指導により、自立した活動が可能になるように指導する。
- ③ 家庭や施設との連携を密にし、日常生活指導の効果が上がるようにする。

(6) キャリア教育の重点

生徒個々が自己の能力、適性を把握し、学習、作業、実習を通して生活経験の拡大及び働く意欲や自己肯定感を持ち、地域社会、関係機関、家庭と連携して自己の進路についての関心を養う。

(7) 生涯学習への意欲を高める指導の重点

地域にある施設の見学や体験、日常生活に根ざした課題解決学習や特別活動等を通して、物事に対する主体性及び社会性を育てる。

(8) ICT 機器利活用の重点

- ① 生徒の知的障害の状態や学習状況、経験等に応じて、教材・教具や補助用具などを工夫するとともに、コンピュータや情報通信ネットワーク等の ICT 機器を有効に活用し、指導の効果を高めるようにする。
- ② 必要に応じて校内情報化推進計画等を策定し、合理的配慮のための ICT 機器活用方針を示す。

(9) 安全教育の重点

- ① 生命尊重を基本において、自他の生命を守る能力を育てる。
- ② 安全に関するきまりや安全な行動の仕方を実践的に理解できるようにする。
- ③ 危険回避ができ、状況を正しく判断する能力を育てる。
- ④ 情緒の安定を図るとともに、自己統制力を育てる。
- ⑤ 個人又は集団の健康について理解を図る。
- ⑥ 健康の保持と増進に努める態度を育てる。
- ⑦ 体を清潔にする習慣を養うとともに、生徒個々の身体的・生理的発達を踏まえ、学校生活全般を通して、自己の性について認識を深め大切さを知る。

様式3 中学部

① 授業日数配当表

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1年	14	19	21	13	0	20	20	20	17	17	19	17	197
2年	16	19	21	13	0	20	20	20	17	17	19	17	199
3年	16	19	21	13	0	20	20	20	17	17	19	15	197
備考													

② 訪問教育授業日数配当表

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1年	8	11	12	5	0	11	12	12	10	10	11	10	112
2年	9	11	12	5	0	11	12	12	10	10	11	10	113
3年	9	11	12	5	0	11	12	12	10	10	11	9	112
備考	授業日数は週3日、週授業時数は6時間を標準とする。												

様式3 中学部

③ 授業時数配当表 I 課程（中学校の教育課程に自立活動を加えて編成）

訪問教育 I 課程（中学校の教育課程に自立活動を加えて弾力的に編成）

教科等		1年	2年	3年	備考	
各教科	国語	140	140	105		
	社会	105	105	140		
	数学	140	140	140		
	理科	105	105	140		
	音楽	45	35	35		
	美術	45	35	35		
	保健体育	105	105	105	保健を含む	
	技術・家庭	技術分野	35	35	17	
		家庭分野	35	35	18	
	外国語	140	140	140		
選択教科						
小計		895	875	875		
道徳科		35	35	35		
総合的な学習の時間		35	35	35		
特別活動		35	35	35		
自立活動		37	67	44		
計		142	172	149		
合計		1037	1047	1024		

様式6 中学部（Ⅱ課程A）

③ 授業時数配当表

Ⅱ課程（知的障害中学部の教育課程）

訪問教育Ⅱ課程（知的障害中学部の教育課程を弾力的に編成）

Ⅲ課程（知的障害中学部の教育課程で自立活動に重点を置いて編成）

訪問教育Ⅲ課程（知的障害中学部の教育課程で自立活動に重点を置いて弾力的に編成）

教科等		1年	2年	3年	備考	
各教科	国語	66	66	66		
	社会	66	66	66		
	数学	66	66	66		
	理科	66	66	66		
	音楽	66	66	66		
	美術	66	66	66		
	保健体育	99	99	99	保健を含む	
	職業・家庭	職業分野	132	132	132	
		家庭分野	99	99	99	
	外国語	66	66	66		
選択教科						
計		792	792	792		
道徳科		35	35	35		
総合的な学習の時間		70	70	70		
特別活動		35	35	35		
自立活動		105	115	92		
計		245	255	232		
合計		1037	1047	1024		

様式6 中学部（Ⅱ課程B）

③ 授業時数配当表

Ⅱ課程（知的障害中学部の教育課程）

訪問教育Ⅱ課程（知的障害中学部の教育課程を弾力的に編成）

Ⅲ課程（知的障害中学部の教育課程で自立活動に重点を置いて編成）

訪問教育Ⅲ課程（知的障害中学部の教育課程で自立活動に重点を置いて弾力的に編成）

教科等		1年	2年	3年	備考	
各教科	国語	66	66	66		
	社会	33	33	33		
	数学	66	66	66		
	理科	33	33	33		
	音楽	66	66	66		
	美術	66	66	66		
	保健体育	99	99	99	保健を含む	
	職業・家庭	職業分野	132	132	132	
		家庭分野	99	99	99	
	外国語	33	33	33		
選択教科						
計		693	693	693		
道徳科		35	35	35		
総合的な学習の時間		70	70	70		
特別活動		35	35	35		
自立活動		204	214	191		
計		344	354	331		
合計		1037	1047	1024		

様式6 中学部（Ⅱ課程C）

Ⅱ課程（知的障害中学部の教育課程） 訪問教育Ⅱ課程（知的障害中学部の教育課程を弾力的に編成）
 Ⅲ課程（知的障害中学部の教育課程で自立活動に重点を置いて編成）
 訪問教育Ⅲ課程（知的障害中学部の教育課程で自立活動に重点を置いて弾力的に編成）

④ 授業時数配当表【各教科等を合わせた指導を含む】
 日：日常生活の指導 生：生活単元学習 作：作業学習

		1年			2年			3年			備考	
		総 時数	教科 別の 指導	合わせた 指導	総 時数	教科 別の 指導	合わせた 指導	総 時数	教科 別の 指導	合わせた 指導		
各教科	国語	72	66	6	72	66	6	72	66	6	保健も含む	
	社会	33	0	33	33	0	33	33	0	33		
	数学	72	66	6	72	66	6	72	66	6		
	理科	33	0	33	33	0	33	33	0	33		
	音楽	73	66	7	73	66	7	73	66	7		
	美術	73	66	7	73	66	7	73	66	7		
	保健体育	106	99	7	106	99	7	106	99	7		
	職業・家庭	職業分野	132	132	0	132	132	0	132	132		0
		家庭分野	99	66	33	99	66	33	99	66		33
	外国語	33	0	33	33	0	33	33	0	33		
選択教科	0	0		0	0		0	0				
道徳科	35	35	0	35	35	0	35	35	0			
特別活動	35	35	0	35	35	0	35	35	0			
自立活動	171	171	0	181	181	0	158	158	0			
総合的な学習の時間		70		70			70					
合計	教科別の指導で行う時数		872			882			859			
	合わせた指導で行う時数			165			165			165		
	総時数		1037		1047		1024					

【指導形態】

日常生活の指導	66	66	66
生活単元学習	99	99	99
作業学習	0	0	0
合計	165	165	165

様式6 中学部（Ⅱ課程D）

Ⅱ課程（知的障害中学部の教育課程） 訪問教育Ⅱ課程（知的障害中学部の教育課程を弾力的に編成）
 Ⅲ課程（知的障害中学部の教育課程で自立活動に重点を置いて編成）
 訪問教育Ⅲ課程（知的障害中学部の教育課程で自立活動に重点を置いて弾力的に編成）

④ 授業時数配当表【各教科等を合わせた指導を含む】
 日：日常生活の指導 生：生活単元学習 作：作業学習

		1年			2年			3年			備考	
		総 時数	教科 別の 指導	合わせた 指導	総 時数	教科 別の 指導	合わせた 指導	総 時数	教科 別の 指導	合わせた 指導		
各教科	国語	45	0	45	45	0	45	45	0	45	保健も含む	
	社会	45	0	45	45	0	45	45	0	45		
	数学	45	0	45	45	0	45	45	0	45		
	理科	45	0	45	45	0	45	45	0	45		
	音楽	82	66	16	82	66	16	82	66	16		
	美術	82	66	16	82	66	16	82	66	16		
	保健体育	115	99	16	115	99	16	115	99	16		
	職業・家庭	職業分野	50	0	50	50	0	50	50	0		50
		家庭分野	50	0	50	50	0	50	50	0		50
	外国語	35	0	35	35	0	35	35	0	35		
	選択教科	0	0		0	0		0	0			
道徳科	35	35	0	35	35	0	35	35	0			
特別活動	35	35	0	35	35	0	35	35	0			
自立活動	303	303	0	313	313	0	290	290	0			
総合的な学習の時間		70		70		70		70				
合計	教科別の指導で行う時数		674			684		661				
	合わせた指導で行う時数			363		363		363				
	総時数		1037		1047		1024					

【指導形態】			
日常生活の指導		132	
生活単元学習		99	
作業学習		132	
合計		363	

様式6 中学部（Ⅲ課程）

Ⅱ課程（知的障害中学部の教育課程） 訪問教育Ⅱ課程（知的障害中学部の教育課程を弾力的に編成）
 Ⅲ課程（知的障害中学部の教育課程で自立活動に重点を置いて編成）
 訪問教育Ⅲ課程（知的障害中学部の教育課程で自立活動に重点を置いて弾力的に編成）

④ 授業時数配当表【各教科等を合わせた指導を含む】

日：日常生活の指導 生：生活単元学習 作：作業学習

		1年			2年			3年			備考				
		総 時数	教科 別の 指導	合わせた 指導	総 時数	教科 別の 指導	合わせた 指導	総 時数	教科 別の 指導	合わせた 指導					
各教科	国語	35	0	35	日 15 生 20 作 0	35	0	35	日 15 生 20 作 0	35	0	35	日 15 生 20 作 0	保健も含む	
	社会	35	0	35	日 15 生 20 作 0	35	0	35	日 15 生 20 作 0	35	0	35	日 15 生 20 作 0		
	数学	35	0	35	日 15 生 20 作 0	35	0	35	日 15 生 20 作 0	35	0	35	日 15 生 20 作 0		
	理科	35	0	35	日 15 生 20 作 0	35	0	35	日 15 生 20 作 0	35	0	35	日 15 生 20 作 0		
	音楽	94	66	28	日 18 生 10 作 0	94	66	28	日 18 生 10 作 0	94	66	28	日 18 生 10 作 0		
	美術	94	66	28	日 18 生 10 作 0	94	66	28	日 18 生 10 作 0	94	66	28	日 18 生 10 作 0		
	保健体育	128	99	29	日 12 生 17 作 0	128	99	29	日 12 生 17 作 0	128	99	29	日 12 生 17 作 0		
	職業・家庭	職業分野	17	0	17	日 12 生 5 作 0	17	0	17	日 12 生 5 作 0	17	0	17		日 12 生 5 作 0
		家庭分野	17	0	17	日 12 生 5 作 0	17	0	17	日 12 生 5 作 0	17	0	17		日 12 生 5 作 0
	外国語	35	0	35	日 18 生 17 作 0	35	0	35	日 18 生 17 作 0	35	0	35	日 18 生 17 作 0		
	選択教科	0	0			0	0			0	0				
	0	0			0	0			0	0					
道徳科	36	0	36	日 15 生 21 作 0	36	0	36	日 15 生 21 作 0	36	0	36	日 15 生 21 作 0			
特別活動	35	35	0	日 0 生 0 作 0	35	35	0	日 0 生 0 作 0	35	35	0	日 0 生 0 作 0			
自立活動	371	371	0	日 0 生 0 作 0	381	381	0	日 0 生 0 作 0	358	358	0	日 0 生 0 作 0			
総合的な学習の時間		70				70				70					
合計	教科別の指導で行う時数		707			717			694						
	合わせた指導で行う時数			330			330			330					
	総時数		1037			1047			1024						

【指導形態】

日常生活の指導	165	165	165
生活単元学習	165	165	165
作業学習	0	0	0
合計	330	330	330

4 高等部

(1) 高等部の教育目標

- ① 健康で明るく素直で、体調管理ができる生徒
(職業生活に必要な体力をつけ、健康と衛生を自己管理する習慣や健全な態度を育てる。)
- ② 自分のことは自分で責任をもってできる生徒
(職業生活・社会生活に必要な基礎的知識と技能、および生活習慣の形成を図る。)
- ③ 自分の立場や相手の気持ちを考えながら、仲間と協力し、役割を果たそうとする生徒
(望ましい人間関係の確立を図り、適切な関わり方と協調性、情操豊かな心を養う。)
- ④ 勤労意欲を持ち、将来の夢に向かって頑張る生徒
(職業生活に必要な能力と態度を養い、勤労の意欲を高める。)
- ⑤ 自分で考え、責任を持って行動し、社会参加を目指す生徒
(集団活動に積極的に参加し、社会に適応する能力を育てる。)

(2) 教育課程編成の方針

- ① 学校・高等部の教育目標を達成するために、生徒の実態に即して指導内容を精選し、具体的に組織だて、適切な指導形態を十分検討し、共通理解のもとに教育課程を編成する。
- ② 卒業後の社会参加がスムーズにできるよう、個別の教育支援計画・個別移行支援計画及び個別の指導計画を作成し、生徒一人一人のニーズに応じた支援・指導を進めるとともに、キャリア教育を通して、勤労観・職業観を身につけ、主体的に進路を選択・決定する力を培えるよう編成する。

(3) 各教科等の指導の重点（基本方針等）

※育成すべき資質・能力の3つの柱に関連するものを以下のように表記する。
(知) …生きて働く「知識及び技能」、(思) …未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」
(学) …学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」

普通科

—教育課程Ⅰ【視覚障害教育・聴覚障害教育・肢体不自由教育・病弱教育】(準ずる教育・下学年)

① 各教科

ア 国語

- ・国語を正しく理解し、社会生活において適切に活用する能力を育てる。(知)
- ・社会生活に必要な思考力や想像力を養い、円滑な対人関係を形成するために必要な伝え合う力を高める。(思)
- ・生涯にわたる社会生活に必要な言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。(学)

イ 地理歴史

- ・現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。(知)
- ・地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。(思)
- ・地理や歴史に関する諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。(学)

ウ 公 民

- ・選択・判断の手掛かりとなる概念や理論及び倫理，政治，経済などに関わる現代の諸課題について理解するとともに，諸資料から様々な情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。(知)
- ・現代の諸課題について，事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，解決に向けて公正に判断したりする力や，合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。(思)
- ・よりよい社会の実現を視野に，現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される，人間としての在り方生き方についての自覚や，国民主権を担う公民として，自国を愛し，その平和と繁栄を図ることや，各国が相互に主権を尊重し，各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。(学)

エ 数 学

- ・数学的活動を通して，数学における基本的な概念や原理・法則の体系的理解や数量や図形などに関する基礎的な概念や原理・法則の理解を深め，事象を数学化したり，数学的に解釈・表現したりするための知識・技能を身につける。(知)
- ・事象を数学的に考察し表現する力や既習の内容を基にして問題を解決し，思考の過程を振り返ってその本質や他の事象との関係を認識したり，統合的・発展的に考えたりする力を養う。(思)
- ・数学的な見方や考え方のよさ，数学の用語や記号のよさ，数学的な処理のよさ，数学の実用性などを認識し，事象の考察や問題の解決に数学を積極的に活用して，数学的論拠に基づいて判断する態度を育てる。(学)

オ 理 科

- ・自然の事物・現象についての理解を深め，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。(知)
- ・観察，実験などを行い，科学的に探究する力を養う。(思)
- ・自然の事物・現象に進んで関わり，科学的に探究しようとする態度を養う。(学)

カ 芸 術

- ・芸術の幅広い活動を通して，生涯にわたり芸術を愛好する心情を育てるとともに，感性を高め，芸術の諸能力を伸ばし，芸術文化についての理解を深め，豊かな情操を養う。

<音 楽>

- ・音楽の幅広い活動を通して，生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに，感性を高め，創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし，音楽文化についての理解を深める。(知)
- ・音楽表現を創意工夫することや，音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。(思)
- ・主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み，音楽活動の楽しさを体験することを通して，音楽への興味・関心を深め，生活を明るく楽しいものにする態度と習慣を育てる。(学)

<美 術>

- ・美術の幅広い創造活動を通して，造形的な視点について理解を深めるとともに，意図に応じて表現方法を創意工夫し，創造的に表すことができるようにする。(知)
- ・造形的なよさや美しさ，表現の意図と創意工夫，美術の働きなどについて考え，主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり，価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。(思)
- ・主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み，生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに，感性を高め，美術文化に親しみ，心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。(学)

キ 保健体育

- ・各種の運動の特性に応じた技能及び個人生活における健康・安全について理解するとともに，基本的な技能を身につけるようにする。(知)

- ・運動や健康についての自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。(思)
- ・生涯にわたって運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。(学)

ク 家 庭

- ・人の一生と家族・家庭，子どもや高齢者とのかかわりと福祉，消費生活，衣食住などに関する知識と技術を総合的に習得し，それらに係る技能を体験的に身に付けるようにする。(知)
- ・家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに，生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を養い，生涯を見通して課題を解決する力を養う。(思)
- ・様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，地域社会に参画するとともに，生活文化を継承し，自分や家庭，地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。(学)

ケ 外 国 語

- ・外国語の音声や語彙，表現，文法，言語の働きなどの理解を深めるとともに，実際のコミュニケーションの場面で活用できるようにする。(知)
- ・日常的な話題について，外国語を聞いたり読んだりして，その内容を理解できるようにする。また，得られた情報から，自分自身の考えを表現できるようにする。(思)
- ・外国の文化に対する理解を深め，主体的，自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。(学)

コ 情 報

- ・情報及び情報技術を活用するための知識と技能を習得する。(知)
- ・問題の発見・解決に向けて情報技術を適切かつ効果的に活用する力を身につける。(思)
- ・情報及び情報技術が果たしている役割や影響を理解し，情報化の進展に主体的に対応できる能力と態度を育てる。(学)

サ 職 業

- ・働く喜びを感じ，意欲的に取り組む姿勢を育て，社会生活に必要な知識・技能・態度を養う。(知)
- ・卒業後の社会参加がスムーズにできるよう，勤労観・職業観を身につけ，主体的に進路を選択・決定する力を養う。(思)
- ・自らの障害特性が及ぼす影響を受容し，克服していく姿勢を養う。(学)

② 特別活動

- ・様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し，行動の仕方を身に付けるようにする。(知)
- ・集団や自己の生活，人間関係の課題を見だし，解決するために話し合い，合意形成を図ったり，意思決定したりすることができるようにする。(思)
- ・自主的，実践的な集団活動を通して身につけたことを生かして，主体的に集団や社会に参画し，生活及び人間関係をよりよく形成するとともに，人間としての在り方生き方についての自覚を深め，自己実現を図ろうとする態度を養う。(学)

③ 自立活動

- ・個々の生徒が，自立を目指し，障害に基づく種々の困難を主体的に改善・克服するために必要な基本的な態度及び習慣を養う。また，それぞれが興味関心にあった活動を見つけ，余暇時間を有効に活用できるようにする。

④ 総合的な探究の時間

- ・探究の課程において，課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け，課題に関わる概念を形成し，探究の意義や価値を理解できるようにする。(知)
- ・実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし，自分で課題を立て，情報を集め，整理・分析して，まとめ・表現することができるようにする。(思)
- ・探究に主体的・協働的に取り組むとともに，互いのよさを生かしながら，新たな価値を創造し，よりよい社会を実現しようとする態度を養う。(学)

普通科 産業コース

一教育課程Ⅱ【知的障害教育】

① 各教科

ア 国 語

- ・国語を正しく理解し、適切に表現する能力を育てる。(知)
- ・職業生活，社会生活に必要な思考力や想像力を養い，伝え合う力を高める。(思)
- ・職業生活，社会生活に必要な言語感覚を磨き，言語文化に対する関心を深め，国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。(学)

イ 社 会

- ・社会的事象について，様々な資料や具体的な活動を通して，社会生活との関連を踏まえて理解するとともに，情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるようにする。(知)
- ・社会的事象の特色や相互の関連，意味を多角的に考える力，自分の生活と結び付けて考える力，社会への関わり方を選択・判断する力，考えたことや選択・判断したことを適切に表現する力を養う。(思)
- ・社会に主体的に関わろうとする態度や，よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに，多角的な思考や理解を通して，地域社会と我が国の国土や歴史・伝統に対する誇りと愛情，地域社会の一員としての自覚や，我が国の将来を担う国民としての自覚，平和を願う日本人として世界の国々の人々と共に生きる大切さについての自覚を養う。(学)

ウ 数 学

- ・職業生活・社会生活を営む上で必要な数量や図形などについての基礎的な概念や性質などを理解するとともに，数学的に表現・処理したりする技能を身につけるようにする。(知)
- ・日常の事象を数理的に捉え見通しをもつ力，基礎的・基本的な数量や図形などの性質を見いだし統合的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・的確に表現する力を養う。(思)
- ・数学的活動の楽しさや数学のよさを知り，数学的に表現・処理したことを振り返り，検討してよりよいものを求めて考える態度，数学を生活に活用しようとする態度を養う。(学)

エ 理 科

- ・自然の事物・現象についての基本的な理解を図り，観察，実験などに関する初歩的な技能を身に付けるようにする。(知)
- ・観察，実験などを行い，解決の方法を考える力とよりよい妥当な考えを選ぶ力を養う。(思)
- ・自然を愛する心情を養うとともに，学んだことを主体的に生活に生かそうとする態度を養う。(学)

オ 音 楽

- ・曲想と音楽の構成などの関わりについて理解するとともに，工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱，器楽，創作，身体表現の技能を身に付けるようにする。(知)
- ・音楽表現を工夫することや，音楽のよさや美しさを自分なりに見いだしながら音楽を味わって聴くことができるようにする。(思)
- ・主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み，音楽活動の楽しさを体験することを通して，音楽文化に親しみ，音楽経験を生かして生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。(学)

カ 美 術

- ・造形的な視点について理解するとともに，意図に応じて表現方法を工夫して表すことができるようにする。(知)
- ・配色や技法の特徴を活かし効果的，計画的，適切に表現できるようにする。(思)
- ・作品の完成を目指し最後まで取り組むとともに，自他の表現を尊重し，味わうことができる。(学)

キ 保健体育

- ・各種の運動の特性に応じた技能等並びに個人生活及び社会生活における健康・安全についての理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付けるようにする。(知)
- ・各種の運動や健康・安全について自他や社会の課題を発見し、その解決に向けて仲間と思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。(思)
- ・生涯にわたって継続して運動に親しむことや、健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。(学)

ク 職業

- ・職業に関する事柄について理解を深めるとともに、将来の職業生活に対応できる技能を身に付けるようにする。(知)
- ・将来の職業生活を見据え、必要な事柄を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、表現する力を養う。(思)
- ・よりよい将来の職業生活の実現や地域社会への貢献に向けて、生活を改善しようとする実践的な態度を養う。(学)

ケ 家庭

- ・家族・家庭の機能について理解し、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境等についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。(知)
- ・防犯、契約、消費者保護の仕組みに関する内容など、基本的な対応の仕方についても学び、自立して行動できることを目指す。(思)
- ・家族や地域の人々の関りを通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を養う。(学)

コ 外国語

- ・外国語の音声や語彙、文法などを身につけ、実際のコミュニケーションの場面で活用できるようにする。(知)
- ・外国語を聞いたり読んだりして、その内容を理解できるようにする。また、得られた情報から、自分自身の考えを表現できるようにする。(思)
- ・外国の文化に対する理解を深め、積極的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。(学)

サ 情報

- ・生活に必要な情報を適切に活用する基礎的な知識及び技能を習得する。(知)
- ・問題の発見・解決に向けて情報技術を適切かつ効果的に活用する力を身につける。(思)
- ・産業現場で用いられる情報機器が果たしている役割や影響を理解し、情報化の進展に主体的に対応できる態度を育てる。(学)

シ 生活総合(学校設定教科)

- ・卒業後の社会生活において、主体的に役割を果たすための知識及び技能を養う。(知)
- ・生活上の課題について相互に意見を交換したり、協働で取り組んだりする力を養う。(思)
- ・将来、よりよい生活を送るために学んだことを生かす態度、自主的に学ぶ態度を養う。(学)

② 道徳科(3年生は道徳)

- ・学校生活全般を通し、健全な社会生活を営む上で必要な道徳心と規範意識を高め、自己指導力を身につけ、善悪を判断し、責任をもって自主的・自立的に行動できるようにする。
- ・目標を持ち、達成に向けてねばり強く努力する態度を育む。
- ・自己の特長を知り、自己理解を深めるとともに、改め自己の向上を図ろうとする素直で誠実な態度を育む。

③ 特別活動

- ・望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図る。(知)
- ・集団や社会の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育てる。(思)
- ・人間としての在り方生き方についての自覚を深め、自己を生かす能力を養う。(学)

④ 自立活動

- ・個々の生徒が自立を目指し、障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識、技能、態度及び習慣を養う。また、それぞれが興味関心にあった活動を見つけ、余暇時間を有効に活用できるようにする。

⑤ 総合的な探究の時間

- ・各教科および領域・各教科等を合わせた指導で身につけた知識や技能等を相互に関連づけ、実社会や実生活と自己との関わりから自分の課題を見だし、自己の在り方生き方を考えながらよりよい社会を実現しよとする態度を養う。(知)(思)(学)

(指導の形態として)

⑥ 各教科等を合わせた指導

ア キャリアガイダンス

- ・働くことの意義を理解し、自ら主体的に判断してキャリアを設計していくための基礎的な知識と態度を身につける。
- ・企業就労現場で求められる態度やマナーを理解し身につけるとともに、他者と協調して働くために必要な知識、技能、態度を身につける。
- ・自己理解を深め、企業就労や社会生活を送る上での障害による種々の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識、技能、態度及び習慣を養う。
- ・企業就労をする上で求められる生活習慣と健康管理の知識と技能を身につけると同時に、体力の向上を図る。

普通科 普通コース

一教育課程Ⅱ【知的障害教育・知的代替】・教育課程Ⅲ【自立活動を主とした教育課程】

① 各教科

ア 国 語

- ・国語を正しく理解し、適切に表現する能力を育てる。(知)
- ・生徒一人一人の発達段階・生活経験を考慮しつつ、社会生活に必要な思考力や想像力を養い、伝え合う力を高める。(思)
- ・生活に必要な言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。(学)

イ 社 会

- ・社会的事象について、様々な資料や具体的な活動を通して、社会生活との関連を踏まえて理解するとともに、情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるようにする。(知)
- ・社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考える力、自分の生活と結び付けて考える力、社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことや選択・判断したことを表現する力を養う。(思)
- ・社会に主体的に関わろうとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、地域社会と我が国の国土や歴史・伝統に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚や、我が国の将来を担う国民としての自覚、平和を願う日本人として世界の国々の人々と共に生きることの大切さについての自覚を養う。(学)

ウ 数 学

- ・数量や図形などについての基礎的な概念や性質などを理解し、事象を数理的に処理する技能を身に付けるようにする。(知)
- ・日常の事象を数理的に捉え見通しをもつ力、基礎的な数量や図形の性質などに気づき、統合的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔に表現する力を養う。(思)
- ・数学的な活動の楽しさや数学のよさに気づき、学習を振り返ってよりよく問題を解決しようとする態度、数学で学んだことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。(学)

エ 理 科

- ・身の回りで起こる自然の事物・現象について基本的な理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を体験する。(知)
- ・物事を科学的に考え、話し合う力を養う。(思)
- ・自然を愛する心情を養うとともに、学んだことを主体的に生活に生かそうとする態度を養う。(学)

オ 音 楽

- ・幅広い音楽活動を通して生涯にわたって音楽に親しむために必要な歌唱、器楽、創作、身体表現の技能を身に付けるようにする。(知)
- ・音楽表現のよさや美しさを感じ取り、自ら表現する能力を高める。(思)
- ・主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、情緒の安定を図り、豊かな情操を育てる。(学)

カ 美 術

- ・様々な素材や道具の使い方を知り、楽しく表現する力を育てる。(知)
- ・配色や技法の特徴を知り、表現に活かすことができるようにする。(思)
- ・作品の完成を目指し最後まで粘り強く取り組むとともに、友だちの作品に関心をよせ味わうことができるようにする。(学)

キ 保健体育

- ・各種の運動の特性に応じた技能及び個人生活並びに社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付けるようにする。(知)
- ・各種の運動や健康・安全についての自他や社会の課題を発見し、その解決に向けて仲間と思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。(思)
- ・生涯にわたって継続して運動に親しむことや、健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。(学)

ク 職 業

- ・職業に関する事柄について理解を深めるとともに、社会生活に必要な知識、技能、態度を養う。(知)
- ・将来の職業生活を見据え、必要な事柄を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、表現する力を養う。(思)
- ・よりよい将来の社会生活の実現や地域社会への貢献に向けて、生活を改善しようとする実践的な態度を養う。(学)

ケ 家 庭

- ・明るく豊かな家庭生活を営む上で必要な知識や技能を身につけ、実践的な態度を育てる。(知)
- ・防犯、契約、消費者保護の仕組みに関する内容など、基本的な対応の仕方を身に付ける。(思)
- ・家族や地域の人々の関りを通して、よりよい生活を目指し、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を養う。(学)

コ 外 国 語

- ・外国語の音声や表現を身につけ、実際のコミュニケーションの場面で活用できるようにする。(知)
- ・外国語を聞いたり読んだりして、その内容を理解できるようにする。また、簡単な英語で自分自身自身の考えを表現できるようにする。(思)
- ・外国の文化に興味・関心を持ち、外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。(学)

サ 情 報

- ・生活に必要な情報を適切に活用する基礎的な知識及び技能を習得する。(知)
- ・問題の発見・解決に向けて情報技術を適切かつ効果的に活用する力を身につける。(思)
- ・産業現場で用いられる情報機器が果たしている役割や影響を理解し、情報化の進展に主体的に対応できる態度を育てる。(学)

シ ライフキャリア（学校設定教科）

- ・卒業後の生活を豊かにするために、理科、外国語、情報等の基礎的な知識及び技能を身につける。（知）
- ・理科、外国語、情報等の学習を通して身につけた知識や技能を、用途に応じて活用できる力を養う。（思）
- ・理科、外国語、情報等に興味・関心を持ち、それらを活用して自らの課題を解決しようとする態度を養う。（学）

② 道徳科（3年生は道徳）

- ・学校生活全般を通し、健全な社会生活を営む上で必要な道徳心と規範意識を高め、自己指導力を身につけ、善悪を判断し、責任をもって自主的・自立的に行動できるようにする。
- ・目標を持ち、達成に向けてねばり強く努力する態度を育む。
- ・自己の特長を知り、自己理解を深めるとともに、改め自己の向上を図ろうとする素直で誠実な態度を育む。

③ 特別活動

- ・望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図る。（知）
- ・集団や社会の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育てる。（思）
- ・HR活動、学校行事、生徒会活動等の実践を通して、自発性と協調性を持ち、豊かな人間性を育てる。（学）

④ 自立活動

- ・個々の生徒が、自立を目指し、障害に基づく種々の困難を主体的に改善・克服するために必要な基本的な態度及び習慣を養う。また、それぞれが興味関心にあった活動を見つけ、余暇時間を有効に活用できるようにする。

⑤ 総合的な探究の時間

- ・各教科および領域・各教科等を合わせた指導で身につけた知識や技能等を相互に関連づけ、実社会や実生活と自己との関わりから自分の課題を見だし、自己の在り方生き方を考えながらよりよい社会を実現しようとする態度を養う。（知）（思）（学）

（指導の形態として）

⑥ 各教科等を合わせた指導

ア 日常生活の指導

- ・基本的な生活習慣の形成を図り、自立を目指し積極的に社会参加する生活力を育てるとともに、日常生活に必要な技能や態度を身につける。
- ・日常生活に必要な身近な処理能力を身につけ、基本的な生活習慣の定着を図る。

イ 生活単元学習

- ・生活上の目標を達成するために、行事等の活動を通して、生徒個々の課題解決に取り組む。
- ・自立を目指し積極的に社会参加する生活力を育てるとともに、自主性や適応性を高める。
- ・いろいろな事柄への興味関心を深め、生活経験を広げ生活上の望ましい習慣や態度を養う。

ウ 作業学習

- ・作業学習を通して、個々の生徒が豊かな社会生活を送れるように、体力の向上を図り、長時間継続して働く力を育む。
- ・勤労意欲の高揚と勤労生活への適応を図り、協調性を育て、基本的な技術を身につけ生活する力を高める。

—訪問教育における教育課程—【訪問教育：学齢児及び過年度卒】

★訪問教育は、障害が重度・重複していて通学困難な生徒に対して、教員が家庭、児童福祉施設、医療機関等を訪問して指導する。

★訪問教育は、生徒の実態や障害の特性に応じて各教科等の内容を検討し、個々に合わせた指導が進められるようにする。

①教育方針

- ・生徒の実態に即して教育内容を精選し、指導の充実に努める。
- ・個別の教育支援計画を作成し、保護者等との連携を密にし、弾力的に運用する。

②重点目標

- ・健康の保持増進
- ・運動機能の向上を図る
- ・五感への刺激を通じた自発性の向上

③指導体制

- ・自立活動を主とした指導を行い、実態に応じて学習活動を行う。
- ・健康や個々の実態に十分留意し、状況に応じて柔軟にスクーリングを実施する。
- ・スクーリングは主に学部行事等や他の学習グループの授業への参加とする。

(4)交流及び共同学習の重点

県内外及び近隣の諸学校との交流活動や、地域社会の諸団体等との交流を通して、豊かな人間性を形成し、社会参加する態度を養う。

(5)生徒指導の重点

- ①基本的生活習慣の形成と確立を図り、積極的、自主的な行動ができるようにする。
- ②集団の規律やマナーを守る態度を養う。
- ③社会人としてふさわしい生活習慣を身につける。
- ④自立し社会参加するために、地域の交通手段を活用する知識や態度・技能を身につける。
- ⑤生活指導を要する生徒について、個別かつ総合的な助言や指導を行ない、家庭や施設との連携を密にし、指導の充実に努める。

(6)キャリア教育の重点

生徒の個々の実態を把握した上で、就業体験や学級での指導をはじめ教育活動全体を通して、将来可能な限り自立した社会参加するのに必要な知識、技能、態度を身につけさせる。家庭や施設・関係機関及び地域社会と連携を取り、個々の生徒の希望や能力、適性に合った進路が選択できるように情報提供し、社会へ意欲的に参加する態度を養い、適応力を向上させる。

(7)生涯学習への意欲を高める指導の重点

多様な社会体験や、日常生活に根ざした課題解決学習を通して、主体性を持って物事に取り組みやり遂げる力、コミュニケーション能力や社会性を育む。

(8)安全教育の重点

- ①生命尊重の基本において、自他の生命を守る能力を育てる。
 - ②安全に関するきまりや、安全な行動の仕方を実践的に理解し、身につける。
 - ③危険の予測と場に応じた適切な判断力を育てる。
 - ④情緒の安定を図るとともに、自己統制力を育てる。
 - ⑤個人又は集団の健康について理解を図る。
 - ⑥健康の大切さを知らせ、健康の保持と増進に努める態度を育てる。
- ※性に関する指導は、生徒個々の特性や実態をふまえ、生理的側面、心理的側面、社会文化的側面から、指導を行い、自他の性について認識を深め、大切さを理解させる

様式4 高等部

① 授業日数配当表

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1年	14	19	21	13	0	20	20	20	17	17	19	14	194
2年	16	19	21	13	0	20	20	20	17	17	19	14	196
3年	16	19	21	13	0	20	20	20	17	17	19	10	192
備考													

② 訪問教育授業日数配当表

授業日数(※生徒の健康状態を考慮して授業を行う)

訪問教育Ⅰ課程

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1年	13	14	17	10	0	15	17	15	14	13	15	12	155
2年	13	14	17	10	0	15	17	15	14	13	15	12	155
3年	13	14	17	10	0	15	17	15	14	13	15	6	149
備考	週4日(1日2時間)*訪問日以外のスクーリングは含まず。 授業日数は週4日、週授業時数8時間を標準とする。												

訪問教育Ⅱ課程

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1年	10	11	13	8	0	11	13	11	11	10	11	8	117
2年	10	11	13	8	0	11	13	11	11	10	11	8	117
3年	11	11	13	8	0	11	13	11	11	10	11	5	114
備考	週3日(1日2時間)を訪問予定日とする。*訪問日以外のスクーリングは含まず。 授業日数は週3日、週授業時数6時間を標準とする。												

訪問教育Ⅲ課程

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1年	7	7	8	5	0	9	9	7	8	7	7	6	80
2年	7	7	8	5	0	9	9	7	8	7	7	6	80
3年	7	7	8	5	0	9	9	7	8	7	7	3	77
備考	週2日を訪問教育日とする。*訪問日以外のスクーリングは含まず。 授業日数は週2日、週授業時数4時間を標準とする。												

様式4 高等部

③ 教育課程表（令和4年度入学者 高等部普通科）

I 課程（高等学校の教育課程に自立活動を加えて編成）

(I-A)

各教科・科目等	科目	標準 単位 数	1年	2年		3年		合計		備考
				進学	就職	進学	就職	進学	就職	
国語	現代の国語	2	3					3	3	
	言語文化	2	2					2	2	
	国語表現	4		2	2	2	2	4	4	
	古典研究	4		2	2	2	2	4	4	
地理 歴史	地理総合	2		4	2			4	2	
	歴史総合	2				4	2	4	2	
公民	公共	2	3					3	3	
	倫理	2			2	2	2	2	4	*3年就職コースは2年次に履修し なかったものを選択する
	政治・経済	2								
数学	数学Ⅰ	3	3	2	2			5	5	
	数学Ⅱ	4				4	4	4	4	
	数学A	2		2	2			2	2	
	数学B	2								
理科	科学と人間生活	2	2					2	2	
	物理基礎	2		2	2		2	4	4	*進学コースは2年次に2科目選 択する *3年就職コースは2年次に履修 しなかったものを選択する *3年進学コースは2年次に履修 した基礎科目から1科目を選択す る
	化学基礎	2		2	2		2			
	生物基礎	2								
	物理	4				4		4	0	
	化学	4					4			
生物	4									
保健 体育	体育	7~8	2	2	2	3	3	7	7	
	保健	2	1	1	1			2	2	
芸術	音楽Ⅰ	2	2			2	2	4	4	1年次に履修しなかったものを3年 次に履修する
	美術Ⅰ	2								
外国語	英語コミュニケーション	3	3					3	3	
	コミュニケーション英語Ⅱ	4		2	2	2	2	4	4	
	倫理・表現Ⅰ	2		2	2		2	2	4	
家庭	家庭総合	4	2	2	2			4	4	
情報	情報Ⅰ	2	2		2			2	4	
	情報Ⅱ	2					2		2	
各教科・科目 小計			25	25	25	25	25	75	75	
特別活動	HR活動		1	1	1	1	1	3	3	
自立活動			4	4	4	4	4	12	12	
総合的な探究の時間			49	49		43				総合的な学習の時間は、年間を通 じてまとめ取りをする
合 計			1083(30)	1076(30)	1076(30)	1061(30)	1061(30)	(90)	(90)	

様式4 高等部

③ 教育課程表（令和4年度入学者 高等部普通科）
I 課程（高等学校の教育課程に自立活動を加えて編成）

(I-B)

教科等		科目名	標準 単位 数	1年	2年	3年	合計	備考
各 学 科 に 共 通 す る 各 教 科 ・ 科 目	国語	現代の国語	2	2			2	
		言語文化	2		2		2	
		国語表現	4			4	4	
	地理歴史	地理総合	2	2			2	
		歴史総合	2		2		2	
							0	
	公民	公共	2			2	2	
							0	
							0	
	数学	数学I	3	3	3	3	9	
							0	
	理科	科学と人間生活	2		2		2	*物理基礎、化学基礎、生物基礎のいずれかを選択する
		物理基礎	2			} 2	2	
		化学基礎	2					
		生物基礎	2					
	保健体育	体育	7~8	2	2	3	7	
		保健	2	1	1		2	
	芸術	音楽I	2	} 2		} 2	4	*1年次に履修しなかったものを3年次に履修する
		美術I	2					
	外国語	英語コミュニケーション	3	1	1	1	3	
						0		
家庭	家庭総合	4	2	2		4		
情報	情報I	2	2	2		4		
学校設定教科	職業II	8	8	8	8	24		
						0		
共通教科・科目単位数計			48	25	25	25	75	
特別活動	ホームルーム活動	1	1	1	1	3		
自立活動			4	4	4	4	12	
総合的な探究の時間				49	49	43		総合的な学習の時間は、年間を通してまとめ取りをする
合計				1083(30)	1076(30)	1061(30)		

様式7 高等部普通科（ⅡS課程）

- ⑤ 授業時数配当表【各教科等を合わせた指導を含む】
 Ⅱ課程（知的障害高等部の教育課程） 訪問教育Ⅱ課程（知的障害高等部の教育課程を弾力的に編成）
 Ⅲ課程（知的障害高等部の教育課程で自立活動に重点を置いて編成）
 訪問教育Ⅲ課程（知的障害高等部の教育課程で自立活動に重点を置いて弾力的に編成）

日：日常生活の指導 生：生活単元学習 作：作業学習

教科等	1年					2年					3年					備考				
	総 時数	教科別 の指導	合わせた 指導			総 時数	教科別 の指導	合わせた 指導			総 時数	教科別 の指導	合わせた 指導							
各 学 科 に 共 通 す る 各 教 科	国語	75	70	5	キ	5	0	70	70	0	キ	0	0	70	70	0	キ	0	0	
	社会	40	35	5	キ	5	0	35	35	0	キ	0	0	35	35	0	キ	0	0	
	数学	75	70	5	キ	5	0	70	70	0	キ	0	0	70	70	0	キ	0	0	
	理科	40	35	5	キ	5	0	35	35	0	キ	0	0	35	35	0	キ	0	0	
	音楽	35	35	0	キ	0	0	35	35	0	キ	0	0	35	35	0	キ	0	0	
	美術	35	35	0	キ	0	0	35	35	0	キ	0	0	0	0	0	キ	0	0	
	保健体育	110	105	5	キ	5	0	108	105	3	キ	3	0	108	105	3	キ	3	0	体育理論・ 保健を含む
	職業	322	274	48	キ	48	0	341	327	14	キ	14	0	332	318	14	キ	14	0	
	家庭	75	70	5	キ	5	0	70	70	0	キ	0	0	70	70	0	キ	0	0	
	外国語	35	35	0	キ	0	0	35	35	0	キ	0	0	35	35	0	キ	0	0	
	情報	74	70	4	キ	4	0	37	35	2	キ	2	0	72	70	2	キ	2	0	
生活総合							70	70					70	70						
共通教科時数計						833						921							913	
道徳科	39	35	4	キ	4	0	30	0	30	キ	30	0	30	0	30	キ	30	0		
特別活動	ホームルーム活動	36	35	1	キ	1	0	36	35	1	キ	1	0	36	35	1	キ	1	0	
自立活動		43	35	8	キ	8	0	20	0	20	キ	20	0	20	0	20	キ	20	0	
総合的な探究の時間			49					49						43						
合計	教科別の指導で行う時数		988					1006						991						
	合わせた指導で行う時数				95				70						70					
	総時数		1083					1076						1061						

【指導形態】

キャリアガイダンス	95	70	70	
	0	0	0	
	0	0	0	
合計	95	70	70	

様式7 高等部普通科（ⅡA課程）

- ⑤ 授業時数配当表【各教科等を合わせた指導を含む】
 Ⅱ課程（知的障害高等部の教育課程） 訪問教育Ⅱ課程（知的障害高等部の教育課程を弾力的に編成）
 Ⅲ課程（知的障害高等部の教育課程で自立活動に重点を置いて編成）
 訪問教育Ⅲ課程（知的障害高等部の教育課程で自立活動に重点を置いて弾力的に編成）

日：日常生活の指導 生：生活単元学習 作：作業学習

教科等	1年			2年			3年			備考	
	総 時数	教科別 の指導	合わせた 指導	総 時数	教科別 の指導	合わせた 指導	総 時数	教科別 の指導	合わせた 指導		
国語	70	70	0	70	70	0	70	70	0	令和2年度 新入生から 実施	
社会	35	35	0	35	35	0	35	35	0		
数学	70	70	0	70	70	0	70	70	0		
理科	35	35	0	35	35	0	35	35	0		
音楽	70	70	0	70	70	0	70	70	0		
美術	35	35	0	35	35	0	35	35	0		
保健体育	100	100	0	100	100	0	100	100	0		体育理論・ 保健を含む
職業	277	277	0	276	276	0	272	272	0		
家庭	35	35	0	35	35	0	35	35	0		
外国語	35	35	0	35	35	0	35	35	0		
情報	35	35	0	35	35	0	35	35	0		
共通教科時数計			796	795			792				
道徳科	35	35	0	35	35	0	35	35	0		
特別活動	35	35	0	35	35	0	35	35	0		
自立活動	167	167	0	161	161	0	156	156	0		
総合的な探究の時間		49		49		43					
合計	教科別の指導で行う時数	1083		1076		1061					
	合わせた指導で行う時数	0			0			0			
	総時数	1083			1076			1061			

【指導形態】

	0	0	0
	0	0	0
	0	0	0
合計	0	0	0

様式7 高等部普通科（ⅡB課程）

- ⑤ 授業時数配当表【各教科等を合わせた指導を含む】
 Ⅱ課程（知的障害高等部の教育課程） 訪問教育Ⅱ課程（知的障害高等部の教育課程を弾力的に編成）
 Ⅲ課程（知的障害高等部の教育課程で自立活動に重点を置いて編成）
 訪問教育Ⅲ課程（知的障害高等部の教育課程で自立活動に重点を置いて弾力的に編成）

日：日常生活の指導 生：生活単元学習 作：作業学習

教科等	1年			2年			3年			備考						
	総 時数	教科別 の指導	合わせた 指導	総 時数	教科別 の指導	合わせた 指導	総 時数	教科別 の指導	合わせた 指導							
各 学 科 に 共 通 す る 各 教 科	国語	70	70	0	日	0	70	70	0	日	0	85	70	15	日	5
					生	0				生	0				生	5
					作	0				作	0				作	5
	社会	35	35	0	日	0	35	35	0	日	0	60	35	25	日	5
					生	0				生	0				生	5
					作	0				作	0				作	15
	数学	70	70	0	日	0	70	70	0	日	0	85	70	15	日	5
					生	0				生	0				生	5
					作	0				作	0				作	5
	理科	35	35	0	日	0	35	35	0	日	0	25	0	25	日	5
生					0	生				0	生				5	
作					0	作				0	作				15	
音楽	70	70	0	日	0	70	70	0	日	0	70	70	0	日	0	
				生	0				生	0				生	0	
				作	0				作	0				作	0	
美術	35	35	0	日	0	35	35	0	日	0	0	0	0	日	0	
				生	0				生	0				生	0	
				作	0				作	0				作	0	
保健体育	100	100	0	日	0	100	100	0	日	0	110	100	10	日	5	
				生	0				生	0				生	0	
				作	0				作	0				作	5	
職業	281	281	0	日	0	275	275	0	日	0	240	0	240	日	10	
				生	0				生	0				生	10	
				作	0				作	0				作	220	
家庭	35	35	0	日	0	35	35	0	日	0	95	70	25	日	5	
				生	0				生	0				生	10	
				作	0				作	0				作	10	
外国語	35	35	0	日	0	35	35	0	日	0	0	0	0	日	0	
				生	0				生	0				生	0	
				作	0				作	0				作	0	
情報	35	35	0	日	0	35	35	0	日	0	5	0	5	日	0	
				生	0				生	0				生	5	
				作	0				作	0				作	0	
共通教科時数計				800					794					415		
道徳科		35	35	0	日	0	35	35	0	日	0	35	0	35	日	10
					生	0				生	0			生	10	
					作	0				作	0			作	15	
特別活動	ホームルーム活動	35	35	0	日	0	35	35	0	日	0	35	35	0	日	0
					生	0				生	0				生	0
					作	0				作	0				作	0
自立活動		163	163	0	日	0	162	162	0	日	0	173	98	75	日	20
					生	0				生	0				生	15
					作	0				作	0				作	40
総合的な探究の時間		49			49			43								
合計	教科別の指導で行う時数		1083			1076			591							
	合わせた指導で行う時数		0			0			470							
	総時数		1083			1076			1061							

体育理論・保健を含む

【指導形態】

日常生活の指導	0	0	70
生活単元学習	0	0	70
作業学習	0	0	330
合計	0	0	470

様式7 高等部普通科（ⅡC課程）

- ⑤ 授業時数配当表【各教科等を合わせた指導を含む】
 Ⅱ課程（知的障害高等部の教育課程） 訪問教育Ⅱ課程（知的障害高等部の教育課程を弾力的に編成）
 Ⅲ課程（知的障害高等部の教育課程で自立活動に重点を置いて編成）
 訪問教育Ⅲ課程（知的障害高等部の教育課程で自立活動に重点を置いて弾力的に編成）

日：日常生活の指導 生：生活単元学習 作：作業学習

教科等	1年			2年			3年			備考			
	総 時数	教科別 の指導	合わせた 指導	総 時数	教科別 の指導	合わせた 指導	総 時数	教科別 の指導	合わせた 指導				
各 学 科 に 共 通 す る 各 教 科	国語	70	70	0	70	70	0	85	70	15	5	5	5
	社会	35	35	0	35	35	0	60	35	25	5	5	15
	数学	70	70	0	70	70	0	85	70	15	5	5	5
	理科	35	35	0	35	35	0	25	0	25	5	5	15
	音楽	70	70	0	70	70	0	70	70	0	0	0	0
	美術	35	35	0	35	35	0	0	0	0	0	0	0
	保健体育	100	100	0	100	100	0	110	100	10	5	0	5
	職業	206	206	0	196	196	0	175	0	175	10	10	155
	家庭	35	35	0	35	35	0	95	70	25	5	10	10
	外国語	35	35	0	35	35	0	0	0	0	0	0	0
情報	35	35	0	35	35	0	5	0	5	0	5	0	
共通教科時数計			726			716			415				
道徳科	35	35	0	35	35	0	35	0	35	10	10	15	
特別活動	ホームルーム活動	35	35	0	35	35	0	35	35	0	0	0	
自立活動		238	238	0	241	241	0	238	168	70	20	15	35
総合的な探究の時間		49			49			43					
合計	教科別の指導で行う時数	1083			1076			661					
	合わせた指導で行う時数	0			0			400					
	総時数	1083			1076			1061					

体育理論・保健を含む

【指導形態】

日常生活の指導	0	0	70
生活単元学習	0	0	70
作業学習	0	0	260
合計	0	0	400

様式7 高等部普通科（IID課程）

- ⑤ 授業時数配当表【各教科等を合わせた指導を含む】
 II課程（知的障害高等部の教育課程） 訪問教育II課程（知的障害高等部の教育課程を弾力的に編成）
 III課程（知的障害高等部の教育課程で自立活動に重点を置いて編成）
 訪問教育III課程（知的障害高等部の教育課程で自立活動に重点を置いて弾力的に編成）

日：日常生活の指導 生：生活単元学習 作：作業学習

教科等	1年			2年			3年			備考	
	総 時数	教科別 の指導	合わせた 指導	総 時数	教科別 の指導	合わせた 指導	総 時数	教科別 の指導	合わせた 指導		
各 学 科 に 共 通 す る 各 教 科	国語	55	0	55	55	0	55	54	54	体 育 理 論 ・ 保 健 を 含 む	
	社会	55	0	55	55	0	55	54	54		
	数学	55	0	55	55	0	55	54	54		
	理科	55	0	55	55	0	55	54	54		
	音楽	105	105	0	105	105	0	105	105		0
	美術	70	70	0	70	70	0	70	70		0
	保健体育	140	105	35	140	105	35	139	105		34
	職業	58	0	58	56	0	56	54	0		54
	家庭	50	0	50	49	0	49	47	0		47
	外国語	0	0	0	0	0	0	0	0		0
情報	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
共通教科時数計			280	280			280				
道徳科	35	0	35	35	0	35	35	0	35		
特別活動	35	35	0	35	35	0	35	35	0		
自立活動	321	281	40	317	281	36	317	280	37		
総合的な探究の時間		49		49		43					
合計	教科別の指導で行う時数	645		645		638					
	合わせた指導で行う時数	438		431		423					
	総時数	1083		1076		1061					

【指導形態】

日常生活の指導	200	195	185
生活単元学習	70	70	70
作業学習	168	166	168
合計	438	431	423

様式7 高等部普通科（Ⅲ課程）

- ⑤ 授業時数配当表【各教科等を合わせた指導を含む】
 Ⅱ課程（知的障害高等部の教育課程） 訪問教育Ⅱ課程（知的障害高等部の教育課程を弾力的に編成）
 Ⅲ課程（知的障害高等部の教育課程で自立活動に重点を置いて編成）
 訪問教育Ⅲ課程（知的障害高等部の教育課程で自立活動に重点を置いて弾力的に編成）

日：日常生活の指導 生：生活単元学習 作：作業学習

教科等	1年			2年			3年			備考	
	総 時数	教科別 の指導	合わせた 指導	総 時数	教科別 の指導	合わせた 指導	総 時数	教科別 の指導	合わせた 指導		
各 学 科 に 共 通 す る 各 教 科	国語	54	0	54	54	0	54	54	0	54	体 育 理 論 ・ 保 健 を 含 む
	社会	39	0	39	39	0	39	39	0	39	
	数学	54	0	54	54	0	54	54	0	54	
	理科	39	0	39	39	0	39	39	0	39	
	音楽	30	0	30	30	0	30	30	0	30	
	美術	30	0	30	30	0	30	30	0	30	
	保健体育	35	0	35	33	0	33	33	0	33	
	職業	40	0	40	39	0	39	35	0	35	
	家庭	37	0	37	37	0	37	39	0	39	
	外国語	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
情報	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
共通教科時数計			0	0			0				
道徳科	35	0	35	35	0	35	35	0	35		
特別活動	35	35	0	35	35	0	35	35	0		
自立活動	606	561	45	602	561	41	595	560	35		
総合的な探究の時間		49		49		43					
合計	教科別の指導で行う時数	645		645		638					
	合わせた指導で行う時数	438		431		423					
	総時数	1083		1076		1061					

【指導形態】

日常生活の指導	200	196	187
生活単元学習	70	70	70
作業学習	168	165	166
合計	438	431	423

5 各学部の週時程表

(1) 幼稚部 週時程表

時 間	月	火	水	木	金
8:50					
9:50					
11:30	給食				
12:30					
13:20	13:20下校				

※校時や休み時間の設定はなく、活動の目安

(2) 小学部 週時程表

①1年生(週25時間)

時 間	月	火	水	木	金
8:50～9:35(45)	1				
9:45～10:30(45)	2				
10:40～11:25(45)	3				
11:35～12:20(45)	4				
12:20～13:05(45)	給食				
13:05～13:20(15)	昼休み				
13:20～14:05(45)	5				
下校時間	14:15下校				

②2年生(週26時間)

時 間	月	火	水	木	金
8:50～9:35(45)	1				
9:45～10:30(45)	2				
10:40～11:25(45)	3				
11:35～12:20(45)	4				
12:20～13:05(45)	給食				
13:05～13:20(15)	昼休み				
13:20～14:05(45)	5				
14:15～15:00(45)	6	14:15下校			
					15:15下校

③3年生(週28時間)

時 間	月	火	水	木	金
8:50～9:35(45)	1				
9:45～10:30(45)	2				
10:40～11:25(45)	3				
11:35～12:20(45)	4				
12:20～13:05(45)	給食				
13:05～13:20(15)	昼休み				
13:20～14:05(45)	5				
14:15～15:00(45)	6		14:15下校	14:15下校	
		15:15下校		15:15下校	15:15下校

④ 小学部4, 5, 6年(週29時間)

時 間		月	火	水	木	金
8:50~9:35(45)	1					
9:45~10:30(45)	2					
10:40~11:25(45)	3					
11:35~12:20(45)	4					
12:20~13:05(45)		給 食				
13:05~13:20(15)		昼休み				
13:20~14:05(45)	5					
14:15~15:00(45)	6				14:15下校	
				15:15下校		15:15下校

(3) 中学部 週時程表 (週29時間)

時 間		月	火	水	木	金
8:45~8:50(5)		SHR	SHR	SHR	SHR	SHR
8:50~9:40(50)	1					
9:45~10:35(50)	2					
10:40~11:30(50)	3					
11:35~12:25(50)	4					
12:25~13:00(35)		給 食				
13:00~13:15(15)		昼休み				
木曜13:00~13:05(5)						
13:15~14:05(50)	5					
木曜13:05~13:55(50)						
14:10~15:00(50)	6				14:15下校	
				15:15下校		15:15下校

(4) 高等部 週時程表 (週30時間)

時 間		月	火	水	木	金
8:40~8:50(10)		SHR	SHR	SHR	SHR	SHR
8:50~9:40(50)	1					
9:45~10:35(50)	2					
10:40~11:30(50)	3					
11:35~12:25(50)	4					
12:25~13:00(35)		給 食				
13:00~13:15(15)		昼休み				
13:15~14:05(50)	5					
14:10~15:00(50)	6					
				15:15下校		

VI 市町村別幼児児童生徒数

1 市町村(本人住民基本台帳)別幼児児童生徒数 (様式2)

教育部門	市町村	幼稚部				小学部						中学部				高等部				合計	
		3歳児	4歳児	5歳児	計	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	計	1学年	2学年	3学年	計	1学年	2学年	3学年		計
視覚障害	〇〇市				0							0				0				0	0
	〇〇町				0							0				0				0	0
	〇〇村				0							0				0				0	0
					0							0				0				0	0
					0							0				0				0	0
					0							0				0				0	0
					0							0				0				0	0
					0							0				0				0	0
					0							0				0				0	0
		計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
聴覚障害	〇〇市				0							0				0				0	0
	〇〇町				0							0				0				0	0
	〇〇村				0							0				0				0	0
					0							0				0				0	0
					0							0				0				0	0
					0							0				0				0	0
					0							0				0				0	0
					0							0				0				0	0
					0							0				0				0	0
		計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
知的障害	国頭町				0							0				0		2		2	2
	大宜味村				0							0				0		1		1	1
	東村				0							0	1			1				0	1
	今帰仁村			1	1	2			2		2	6	1		2	3	4	2		6	16
	本部町				0			1			1	1	1		2	1	1	4		6	9
	名護市		1	3	4	5	3	9	5	8	4	34	7	5	8	20	11	15	13	39	97
	宜野座村				0	1			1		1	3	2		2	3	1	2		6	11
	金武町				0	1	2			1		4	1	1	1	3	2	5	3	10	17
	恩納村				0	1						1		1	3	4	2	1	1	4	9
	伊江村				0							0				0	1			1	1
	その他				0							0	2			2			1	1	3
		計	0	1	4	5	10	5	10	8	9	7	49	15	8	14	37	24	27	25	76
肢体不自由	名護市				0				1			1				0			2	2	3
	金武町				0	1						1				0		1		1	2
					0							0				0				0	0
					0							0				0				0	0
					0							0				0				0	0
					0							0				0				0	0
					0							0				0				0	0
					0							0				0				0	0
					0							0				0				0	0
		計	0	0	0	0	1	0	0	1	0	2	0	0	0	0	0	1	2	3	5
病弱	名護市				0							0				0	1		1	2	2
					0							0				0				0	0
					0							0				0				0	0
					0							0				0				0	0
					0							0				0				0	0
					0							0				0				0	0
					0							0				0				0	0
					0							0				0				0	0
					0							0				0				0	0
		計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	2	2
合計		0	1	4	5	10	5	10	8	9	7	51	15	8	14	37	25	26	24	81	174

2 市町村(保護者等住民基本台帳)別幼児児童生徒数(様式2)

教育部門	市町村	幼稚部				小学部						中学部				高等部				合計	
		3歳児	4歳児	5歳児	計	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	計	1学年	2学年	3学年	計	1学年	2学年	3学年		計
視覚障害	〇〇市				0							0				0				0	0
	〇〇町				0							0				0				0	0
	〇〇村				0							0				0				0	0
					0							0				0				0	0
					0							0				0				0	0
					0							0				0				0	0
					0							0				0				0	0
					0							0				0				0	0
					0							0				0				0	0
		計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
聴覚障害	〇〇市				0							0				0				0	0
	〇〇町				0							0				0				0	0
	〇〇村				0							0				0				0	0
					0							0				0				0	0
					0							0				0				0	0
					0							0				0				0	0
					0							0				0				0	0
					0							0				0				0	0
					0							0				0				0	0
		計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
知的障害	本部町				0							0				0		1	1	2	2
	嘉手納町				0							0				0		1		1	1
	伊平屋町															0			1	1	1
	八重山				0							0				0			1	1	1
	沖縄市				0							0			1	1				0	1
	読谷村				0							0			1	1				0	1
	うるま市				0					1	1	1				0				0	1
	その他				0			1				1	2			2				0	3
					0							0				0				0	0
					0							0				0				0	0
	計	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	2	2	0	2	4	0	2	3	5	11
肢体不自由	名護市				0							0				0			1	1	1
					0							0				0				0	0
					0							0				0				0	0
					0							0				0				0	0
					0							0				0				0	0
					0							0				0				0	0
					0							0				0				0	0
					0							0				0				0	0
					0							0				0				0	0
		計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1
病弱	〇〇市				0							0				0				0	0
	〇〇町				0							0				0				0	0
	〇〇村				0							0				0				0	0
					0							0				0				0	0
					0							0				0				0	0
					0							0				0				0	0
					0							0				0				0	0
					0							0				0				0	0
					0							0				0				0	0
		計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	2	0	0	0	4	0	2	4	6	12

令和4年度 学校保健計画

学校名 県立名護特別支援学校

月	4	5	6	7. 8	9	10	11	12	1	2	3
月の重点	自分の体を知ろう 生活リズムを整えよう	自分の体を知ろう 梅雨時の健康に気をつけよう	歯を大切にしよう	夏を元気に過ごそう 病気や歯の治療をしよう	生活リズムを整えよう けがを予防しよう	目を大切にしよう けがを予防しよう	かぜに負けない 強い体をつくろう 歯を大切にしよう	かぜ・インフルエンザを予防しよう 体について学ぼう	かぜ・インフルエンザを予防しよう 姿勢に気をつけよう	かぜ・インフルエンザを予防しよう 生活習慣病の予防	耳を大切にしよう 健康に過ごせたかふりかえてみよう
学校保健関係行事	定期健康診断 尿糈虫検査①② 身体測定	定期健康診断 尿糈虫検査③ 心電図検査 胸部 X 線検査 内科検診 歯科検診(幼小中) 視力聴力(幼小高) 耳鼻科検診 救急法講習会	視力聴力(中) 歯科検診(高) 歯と口の健康週間 体重測定(対象者)	職員健診 体重測定(対象者) ◎鼻の日	身体測定 校内陸上競技大会 前検診(中高) ◎救急の日	体重測定(対象者) 宿泊前検診(小) 喫煙飲酒薬物乱用 防止月間 ◎目の愛護デー	特体連・修学旅行 前検診(中高) ◎いい歯の日	体重測定(対象者) 性に関する指導週間(★) ◎世界エイズデー	身体測定 持久走・駅伝大会 前検診	体重測定(対象者)	◎耳の日
保健管理	対人管理 保健調査 心臓病調査 結核検診事前調査 服薬状況の確認 健康診断計画実施 感染症対策 健康観察強化	健康診断計画実施 プールの入水時の 要管理者名簿作成 プール入水時健康 チェック 遠足時の健康管理	健康診断計画実施 プール入水時の健 康チェック 実習時の健康管理	健康診断事後措置 疾病治療勧告 プール入水時の健 康チェック 夏休みの心得 夏休みの体重管理	夏休み中の健康・ 治療状況確認 校内陸上競技大会 に向けた健康管理	宿泊学習前健康調 査及び診断書の提 出(小)	宿泊学習時の健康 管理(小) 特体連事前健康調 査 修学旅行前健康調 査及び診断書の提 出(中・高)	修学旅行時の健康 管理(中・高) 冬休みの心得 冬休みの体重管理	持久走・駅伝大会 前健康調査および 大会中の健康管理	諸表簿の整理	保健活動のまとめ と反省 健康診断器具の点 検・修理 薬品点検 預かり薬の返却
	対物管理 全体清掃 日常の水質検査 学習環境の整備 机・いすの整備 清掃用具の整備 感染症対策 (換気等)	全体清掃 日常の水質検査 水質及び環境衛生 検査(水泳プール)	全体清掃 日常の水質検査 学校薬剤師による 水質検査(飲料水 ・プール水)	全体清掃 日常の水質検査 ダニ・アレルゲン 検査 室内環境検査	全体清掃 日常の水質検査 学習環境の整備 薬品の管理 照度および照明環 境検査	全体清掃 日常の水質検査	全体清掃 日常の水質検査 換気検査	全体清掃 日常の水質検査 給食室の定期点検	全体清掃 日常の水質検査 換気検査	全体清掃 日常の水質検査	全体清掃 日常の水質検査
保健教育	保健 ・性に関する指導(★)、薬物・タバコ・飲酒防止(★)、歯と口の健康、生活習慣などの健康について、家庭科など各教科・総合学習及び生活単元学習、日常生活指導を通じて計画的に行う。 (教諭と養護教諭が連携・協力して実施する)										
	教科等 ・学年、学級の全体計画に加えて、幼児児童生徒一人一人に応じた個別の指導計画を作成する。										
育 特別活動	HR活動 健康診断の目的と その受け方 規則正しい生活習 慣について(食事 ・睡眠・運動等) 感染症予防(手洗 い・マスク・換気 等) / 健康観察	健康診断の目的と その受け方 健康診断の結果に 関心を持ち自分の 健康状態を知る 心身の清潔 食中毒予防	歯みがきの大切さ 健康診断の結果に 関心を持ち自分の 健康状態を知る	バランスの良い 食生活 熱中症対策 夏休みの健康生活 健康診断の結果に 関心を持ち自分の 健康状態を知る	登下校中や学校 生活の安全 規則正しい生活習 慣について 校内陸上競技大会 時の健康管理	正しい姿勢を保つ ことと目の健康 宿泊学習前の健康 管理(小) 目の病気の予防	歯と口の健康 宿泊学習中の健康 管理(小) 修学旅行前の健康 管理(中・高) 特体連前・中の健 康管理	修学旅行時の健康 管理 冬休み中の健康管 理 性に関する指導	かぜ罹患時、予後 の過ごし方 持久走前・中の健 康管理	駅伝大会前健康管 理(中・高)	1年間の健康生活 の反省 耳の健康について
	個別 日常 指導	歯みがき指導 手洗い指導	歯みがき指導 手洗い指導	歯みがき指導 体重測定(対象者) 手洗い指導	歯みがき指導 体重測定(対象者) 手洗い指導	歯みがき指導 手洗い指導	歯みがき指導 体重測定(対象者) 手洗い指導	歯みがき指導 体重測定(対象者) 手洗い指導	歯みがき指導 体重測定(対象者) 手洗い指導	歯みがき指導 手洗い指導	歯みがき指導 体重測定(対象者) 手洗い指導
組織活動	保健安全部会	保健安全部会	保健安全部会	保健安全部会 学校保健安全委員会	保健安全部会	保健安全部会	保健安全部会	保健安全部会 学校保健安全委員会	保健安全部会	保健安全部会	保健安全部会 学校保健安全委員会

※「生命(いのち)の安全教育」を実施する教科等には「★」を付ける。

様式2 (特別支援学校用)

令和4年度 学校安全計画 (特別支援学校)

学校名 沖縄県立名護特別支援学校

項目	月	4	5	6	7・8	9	10	11	12	1	2	3	
月の重点		楽しい学校生活を送ろう 登下校の安全に気をつけよう	交通安全のきまりを守ろう 梅雨時の安全に気をつけよう	プールで安全に楽しく泳ごう 怪我に気をつけよう	夏休みを安全に過ごそう	登下校の安全に気をつけよう 不審者から身の守り方を知ろう	熱中症と怪我を予防しよう	災害時は安全に早く避難しよう	冬休みの安全に気をつけよう	登下校の安全に気をつけよう	寒い時の安全に気をつけよう	一年の生活を振り返ってみよう 春休みの安全に気をつけよう	
学校行事		始業式・入学式 家庭訪問	遠足(中) 交通安全週間 交通安全教室(幼小中) プール開き 前期現場実習(高) 救急法講習会(職員)	前期現場実習(高) 交通安全教室(高)	終業式 消火設備講習(職員)	始業式 総合避難訓練(不審者) 防災センター見学(中)	施設見学(中) 後期現場実習(高) 校内実習(中)	総合避難訓練②(地震・津波) 特体連体育大会 宿泊学習(小) 修学旅行(中)	修学旅行(中) 修学旅行(高) 終業式	始業式 持久走大会(中高) 学校給食週間	特体連駅伝大会 総合避難訓練③(火災) 持久走大会(幼小)	入学選抜検査 卒業式 修了式	
安全 全 教 育	教科	・学校生活における安全教育(交通安全・防災訓練・不審者侵入対策等)については、行事や体育科、職業科など各教科・総合学習及び生活単元学習、日常生活の指導を通じて計画的に行う。											
	学級活動	・年間を通して特別活動等で安全に対する意識向上を図る。校外学習や現場実習等の事前学習で安全に関するきまりやマナーを確認し、安全に活動できるようにする。											
	通学指導	学校生活の安全 ・廊下の歩き方 ・調理器具や作業用機械などの安全な使用方法 ・車に注意する ・不審者に気をつける	交通安全 ・信号の見方、渡り方、自転車 の乗り方 ・仮説信号の活用 現場実習時の安全の心得	怪我の予防と手当の仕方	夏休みの生活と安全の心得 ・夏休みの過ごし方 ・交通安全 ・不審者対応 ・海や川の安全	登下校の安全 ・交通安全 ・災害時の体験学習(防災センター) 避難訓練(不審者) ・避難の仕方 ・身の守り方	怪我、熱中症の予防と手当の仕方 校内実習時の安全の心得 現場実習時の安全の心得	避難訓練の事前、事後学習 ・避難方法 修学旅行時の安全の心得 特体連体育大会の安全の心得	修学旅行時の安全の心得 冬休みの生活と安全の心得	登下校の安全 持久走大会時の安全の心得	特体連駅伝大会時の安全の心得 火災から身を守る	一年間の安全生活の反省	
	幼稚部												
	小学部												
中学部													
高等部													
安全 管 理	対人管理	学校生活	通学方法の把握 健康状態の把握 防災避難体制の把握 校内救急体制の把握 緊急捜索体制の把握	水泳要注意者リストの作成 プール入水時の健康チェック 校内トランシーバの活用 校内トランシーバの操作確認 防災バックの準備 遠足時の安全	プール入水時の健康チェック 済カードの活用 校内トランシーバの活用 避難場所の確認	プール入水時の健康チェック 夏休み期間中の安全	健康状態の把握 通学路と通学方法の安全 校内トランシーバの活用	健康観察及び水分補給の実施 現場実習通勤方法の確認	特体連体育大会の健康と安全 修学旅行時の安全 防災避難体制の確認 済カードの活用 校内トランシーバの活用	修学旅行時の安全 冬休み期間中の安全	健康状態の把握 持久走大会時の健康観察 通学路と通学方法の安全確認	駅伝大会時の安全 防災避難体制の確認 済カードの活用 校内トランシーバの活用 持久走大会時の健康観察	安全活動のまとめ 反省と次年度の計画
	対物管理	学校環境	全体清掃 水質検査(飲料水) 学習環境の整備 机・椅子の整備	全体清掃 水質検査(飲料水)	全体清掃 薬剤師による水質検査(飲料水)	全体清掃 水質検査(飲料水) 防火施設の点検整備	全体清掃 水質検査(飲料水) 学習環境の整備 薬品の管理	全体清掃 水質検査(飲料水)	全体清掃 水質検査(飲料水)	全体清掃 水質検査(飲料水) 教室の換気 学習環境の整備	全体清掃 水質検査(飲料水)	全体清掃 水質検査(飲料水) 照度検査	全体清掃 水質検査(飲料水)
安全確保に関する点検		安全点検	安全点検	安全点検	安全点検	安全点検	安全点検	安全点検	安全点検	安全点検	安全点検	安全点検	安全点検
PTA等組織活動		保健安全部会	保健安全部会	保健安全部会	保健安全部会 第1回学校保健安全委員会 PTA美化作業	保健安全部会	保健安全部会	保健安全部会	保健安全部会	保健安全部会 第2回学校保健安全委員会	保健安全部会 PTA美化作業	保健安全部会	保健安全部会 第3回学校保健安全委員会

2 校務分掌内容表

◎主任 ○世話係

部	係名	校務分掌の内容	担当者名	委員会など
教務部	教頭	・校務分掌全般の調整	教頭:	
	教務	<ul style="list-style-type: none"> ・各学部及び各分掌部との連絡調整 ・各学部の時間割り編成、臨時時間割の編成 ・年間、月、週行事及び日々の日程調整 ・週番割り振り ・家庭訪問実施計画 ・新入生オリエンテーションの企画 ・卒業、修了認定に関する資料作成 ・幼児児童生徒名簿作成 ・重度重複障害児の名簿作成に関すること ・学部教育計画(教育課程、年間計画、他)個別の指導計画、時間割りなど ・対外的調査物等の取り扱い ・スクールバス利用計画作成 ・教育実習、介護等体験に関すること ・学校支援ボランティアに関すること ・学校概要説明会(コーディネーターと一緒に) 	幼小:学主事(沖特研) 中:学部主事◎ 中:(沖特音研) 高等部主事 高:(沖特音研)	学校評議員会 企画運営委員会 学校評価委員会 就学支援委員会 職業自立委員会 人権教育委員会 衛生委員会 保健安全委員会 教育課程委員会 分掌検討委員会 校内研委員会 情報化委員会 各行事委員会 入試、入舎委員会 徴収金委員会 医ケア委員会 等
	庶務教科書	<ul style="list-style-type: none"> ・教科用図書関係(無償給与事務処理、保管、配布) ・受給児童生徒名簿、納入指示書、一般図書(絵本) ・給与集計票、採択事務、受領、配本、教科書展示開催 ・指導要録、出席簿等の記入に関すること全般、整理保管、廃棄 ・転学時の教科書給与証明書の発行 ・教授用消耗品の発注・配布→予算の配分と執行状況管理) ・教務の補佐 ・転出入学の事務に関すること ・休学・停学の文書に関すること(高) ・卒業証書→ホルダー、月桃紙は儀式が購入。証書印刷(小・中)高等部は情報係が対応 ・机、椅子等の購入計画(中高) ・教材備品購入計画及び收受、各備品管理者への配布→備品購入は、各部所。(中高) ・備品関係表簿、書類の点検保管→職員机等、学部の備品のみ。教科は各教科で。(中高) 	小: 小: 中: 中: 高:○ 高: 舎: 舎: 舎:	
	教育課程	<ul style="list-style-type: none"> ・教育課程の編成と実施計画に関すること ・通知表に関すること ・年間指導計画の編成計画及び作成 ・教育課程委員会の企画運営に関すること ・学部合同連絡会の企画運営 ・新学習指導要領及び教育課程の調査研究に関すること ・類型に関すること(実態把握、行動観察など) 	幼: 小: 中: 中: 高:○ 高: 高: 高:【産業コース担当】	教育課程委員会
	入学選抜	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚部、高等部の入学検査の計画、運営 ・入学選抜委員会への参加及び入学選抜委員会で協議した事項への取り組み ・志願前相談に関する計画・運営(文書)発送 	幼: 高:○ 高:	入試、入舎委員会
	儀式的行事	<ul style="list-style-type: none"> ・始業式、就任式、終業式、入学式、卒業式、修了式、離任式の企画及び推進 ・要覧等の作成 	小:(会計) 中: 高:○ 高:	
研修部	校内研修	<ul style="list-style-type: none"> ・校内研修(指定研究)計画の作成 ・校内研修(指定研究)組織の編成(個人、学部、学年等、舎毎に編成) ・校内研修および拡大公開研修の計画および実施(←一つ目の文章に統合し、本文章は削除) ・研修案内の周知と取りまとめ ・研究(指定研究)集録の編集および作成 ・研究発表会の企画、運営 ・研修推進委員会への参加及び研修推進委員会で協議した事項の取り組み ・R5年度沖特研事務局の準備等 	小: 小:(沖特研) 中:◎ 中: 高: 高: 舎: 舎: 舎:	校内研委員会
	初任研	<ul style="list-style-type: none"> ・研修計画の立案、推進(R4は初任研なし) ・年間指導計画立案の援助(R4は初任研なし) 		
支援部	校内支援	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育コーディネーターは、校内支援、地域支援とも関わる 1 校内支援、(責任者は就学指導委員会を兼任) (学校・家庭・地域支援) ・学部等校内における教育相談及び支援会議(ケース会議)の運営(部主事と連携) ・アセスメント(実態把握)に必要な検査等の実施計画、推進 ・特別支援教育の研修や資料の提供(研修係と連携) ・個別的教育支援計画、推進(教育課程、進路との連携) ・外部専門家(スクールカウンセラー等)への連絡・面談調整 ・障害のある幼児児童生徒への指導・支援(①体験入学②転入学前体験) 	小:◎ 幼: 小: 中: 中: 高: 高: 舎: 舎: 舎:	就学支援委員会
	地域支援	<ul style="list-style-type: none"> ・校内支援における関係機関(医療、教育、福祉等)との連携 2 地域支援(地域のセンター的役割) ・小中学校等の教員への支援(教育相談、巡回指導等) ・特別支援教育に関する相談、夏季講座、教材教具の提供 ・障害のある幼児児童生徒への指導・支援(体験入学、学校見学) ・福祉、医療、労働などの関係機関との連絡調整 		
進路指導部	進路指導	<ul style="list-style-type: none"> ・進路指導計画の作成・実施(小・中・高) ・進路情報の発刊(小・中・高) ・進路相談の計画実施 ・職員施設見学 ・職場開拓、定着指導 ・ハローワーク、就労生活支援センター、相談支援事業所、各市町村等との連携 ・進路関係の統計調査 ・沖特進研理事会(年5回) ・就労支援ネットワーク協議会参加(年3回) ・沖縄県中小企業家同友会(年2回) ・キャリアパスポート ・キャリア教育全体計画、キャリア教育プログラム 	小: 中: 高: 高:◎ 高: 高: 高:	職業自立委員会 就学支援委員会

X 寄 宿 舎 運 営

1 令和3年度寄宿舍 学部・学年・男女別児童生徒数

令和4年4月26日現在

学 部	小 学 部							中 学 部				高 等 部				
	学 年	1	2	3	4	5	6	計	1	2	3	計	1	2	3	計
男 子	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	2	5	5	4	2	11
女 子	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	1	3	4	8
計	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	3	7	6	7	6	19

2 市町村別在舎児童生徒数

令和4年4月26日現在

出身地	国頭	大宜味	東	本部	伊江	名護	宜野座	伊平屋	今帰仁	恩納	金武	総 計
男 子	0	0	1	1	0	4	0	0	3	6	1	16
女 子	0	0	0	1	1	4	0	0	1	0	3	10
計	0	0	1	2	1	8	0	0	4	6	4	26

3 職 員

舎 監 教諭 50人 寄宿舍指導員 14人

4 寄宿舍の教育

(1) 目 標

本校教育目標に基づき、集団生活を通して特に以下の目標が達成できるように努める。

- 1 元気で明るい子
- 2 身边を清潔にし、健康安全に留意できる子
- 3 自分のことは自分でする子
- 4 自主的で根気のある子
- 5 自分を大切にし、他人を大切にする子

(2) 指導方針

- 1 自分のことは自分でできるようにする
- 2 偏食をなくし、健康の維持と増進に努める
- 3 元氣よく挨拶ができるようにする
- 4 身体と身の回りを常に清潔にできるようにする
- 5 根気よく物事に取り組めるようにする
- 6 善悪の判断ができるようにする
- 7 目標をもって、自己の向上が図れるようにする
- 8 決まりを守り、他人に迷惑をかけないようにする
- 9 仲良く生活ができ、協力し合えるようにする

(3)運営方針

- 1 児童生徒の実態を把握し、常に教育的配慮を持って接し、健康安全管理に万全を期す
- 2 舎生の指導、支援にあたっては、寄宿舎指導員、保護者、学級担任が連携を密にして行う

※ 毎週金曜日、祝祭日の前日は帰省日とする。ただし、行事、通学事情または特別な事情がある場合は、教育的配慮をもって対処する

※ 長期休業中の期間は、閉舎とする

※ 入舎は通学事情または教育的配慮によって入舎選考委員会で検討し、校長が決定する

※ 入舎期間は、原則1年間（4月から3月）とする

※ 入舎する児童生徒は、A I G総合補償制度への加入を推奨とし、加入せず、施設破損等があった場合は全額自己負担とする

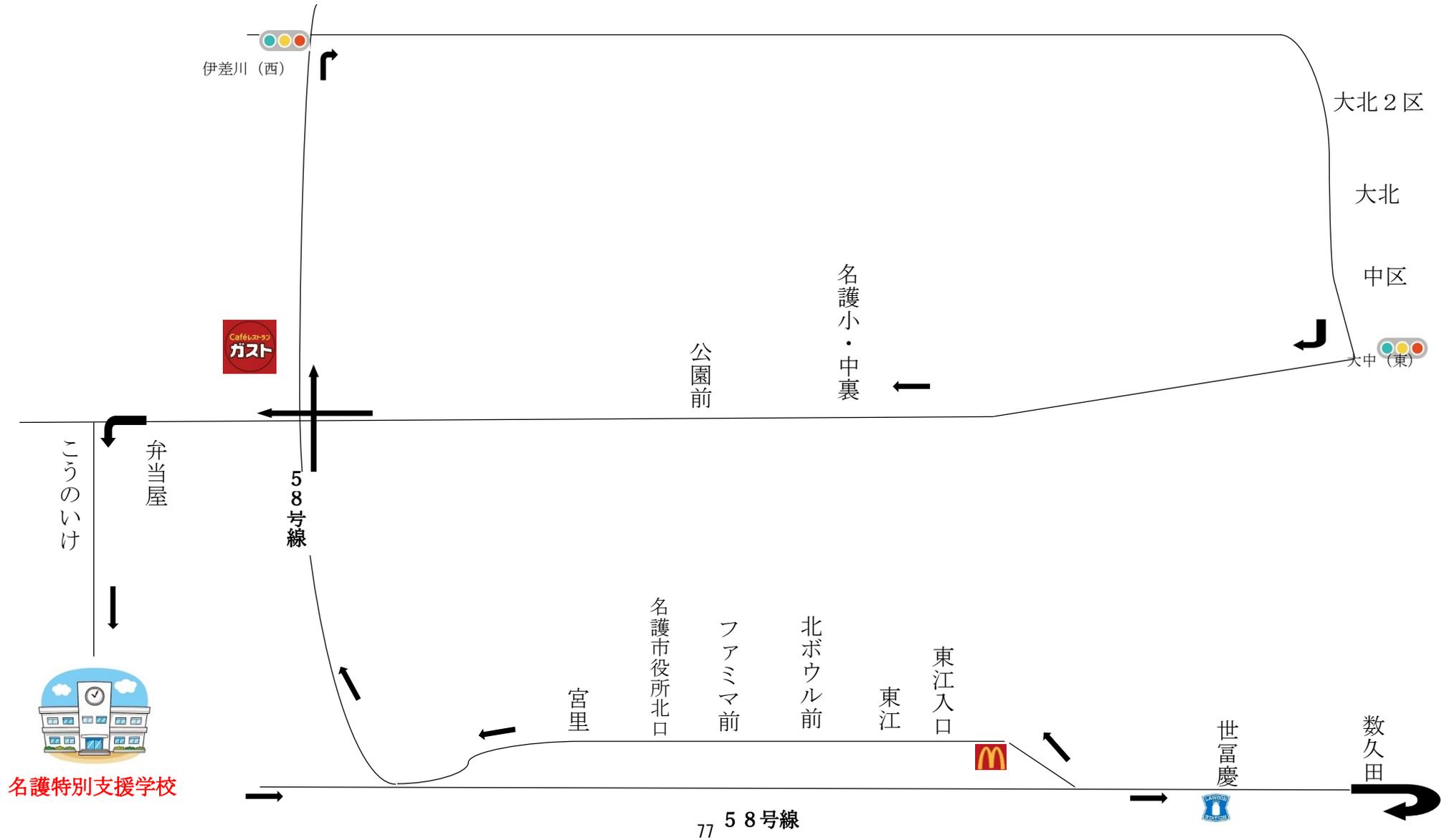
5. 日課表

時刻	日 課	年 間 の 主 な 行 事			
		月	行 事 名	月	行 事 名
午前 6:30	起床、洗面、部屋の整理整頓	4	<ul style="list-style-type: none"> ・入舎式 ・生活、清掃学習会 ・寄宿舎親睦会 ・各オリエンテーション (日課・食事・余暇) ・歯磨き学習会 ・保護者面談 	11	<ul style="list-style-type: none"> ・全体レク ・お楽しみ会リハーサル ・保護者参観 (ふれあい夕食) ・入舎説明会(在校生)
7:10	朝食準備、朝食				
8:00	食事の片づけ、歯みがき				
8:15	登校準備				
8:25	朝のミーティング	5	<ul style="list-style-type: none"> ・手洗い学習会 ・係希望調査 ・前期実習激励会 	12	<ul style="list-style-type: none"> ・お楽しみ会 ・スマホ学習会 ・PPデー
8:40	登校				
午後 14:00	小、中学部(木のみ)児童生徒帰舎 ・生活指導(トイレ、翌日の準備) ・遊び、散歩、入浴	6	<ul style="list-style-type: none"> ・からだところの学習会 ・地震・津波避難訓練 ・舎友会役員選挙 ・係発足式 ・1学期誕生会 	1	<ul style="list-style-type: none"> ・食事オリエンテーション ・健康学習会 ・火災避難訓練 ・チャレンジ週間 ・舎友会総会
15:15	小、中、高等部生帰舎 ・明日の準備 ・入浴準備、入浴、洗濯				
17:10	夕食準備、夕食	7	<ul style="list-style-type: none"> ・からだところの学習会 ・舎友会役員任命式 ・全体レク ・PPデー ・荷物搬出 	2	<ul style="list-style-type: none"> ・からだところの学習会 ・3学期誕生会 ・高3学習会 ・PPデー ・お別れ食事会 &高3生を送る会
18:00	食事の片付け、歯みがき				
18:20	清掃、余暇活動	9	<ul style="list-style-type: none"> ・からだところの学習会 ・食事オリエンテーション ・不審者対策避難訓練 ・歯磨き学習会 ・舎友会集会 ・体験入舎説明会・面接 	3	<ul style="list-style-type: none"> ・PPデー
20:15	夜のミーティング				
20:30	就寝準備				
21:00	消灯(小、中学部)	10	<ul style="list-style-type: none"> ・からだところの学習会 ・チャレンジ週間 ・2学期誕生会 ・後期実習激励会 ・体験入舎 	※学校行事等の関係で日程が変更になる場合があります。	
21:30	消灯(高等部)				

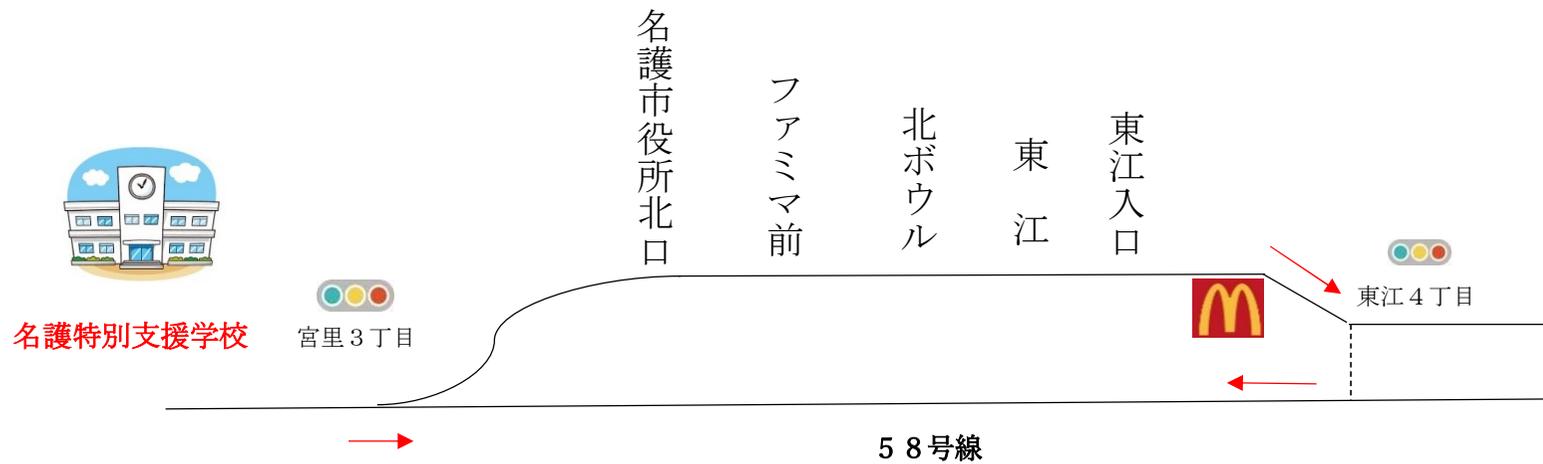
令和4年度 スクールバス運行路線図

名護コース：登校

所要時間 約1時間 (20km)



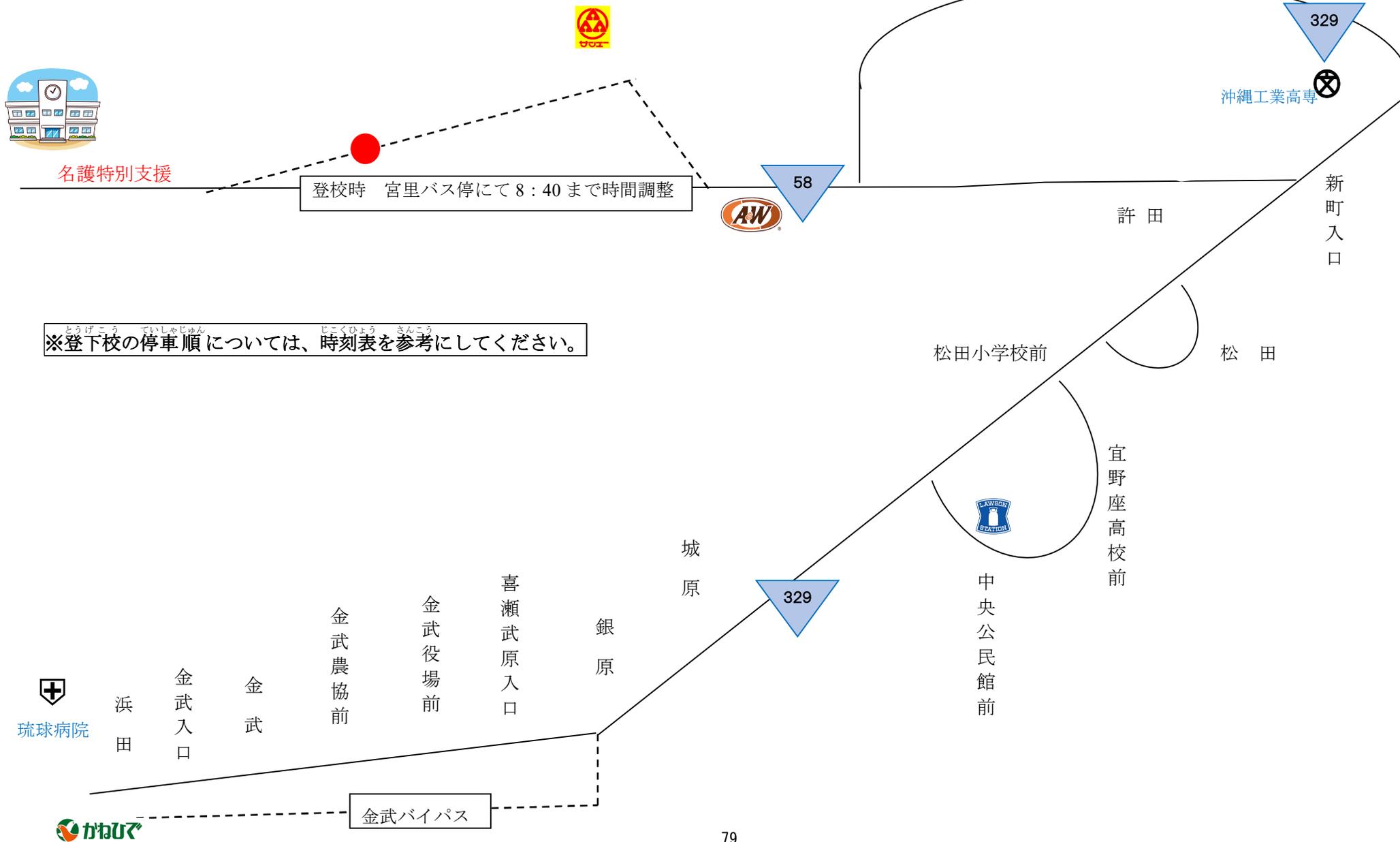
名護コース：下校
所要時間 約30分 (約8km)



登校

金武コース

所要時間 約1時間45分(約62km)



下校

金武コース

名護Cあり

所要時間 約1時間45分(約62km)



名護特別支援

※登下校の停車順については、時刻表を参考にしてください。

琉球病院

浜田

金武入口

金武

金武役場前

喜瀬武原入口

銀原

329

中央公民館前

宜野座小学校前

松田小学校前

松田

世富慶

二見入口

329

沖縄工業高専



金武バイパス

下校

金武コース

名護Cなし

所要時間 約1時間45分(約62km)



名護特別支援

宮里
名護市役所北口
ファミマ前
北ポウル



東江

東江入口



世
富
慶

二見入口

329

沖縄工業高専

※登下校の停車順については、時刻表を参考にしてください。

松田小学校前

松 田



中央公民館前

宜野座小学校前

329

銀
原

喜瀬武原入口

金武役場前

金
武

金武入口

浜
田



琉球病院

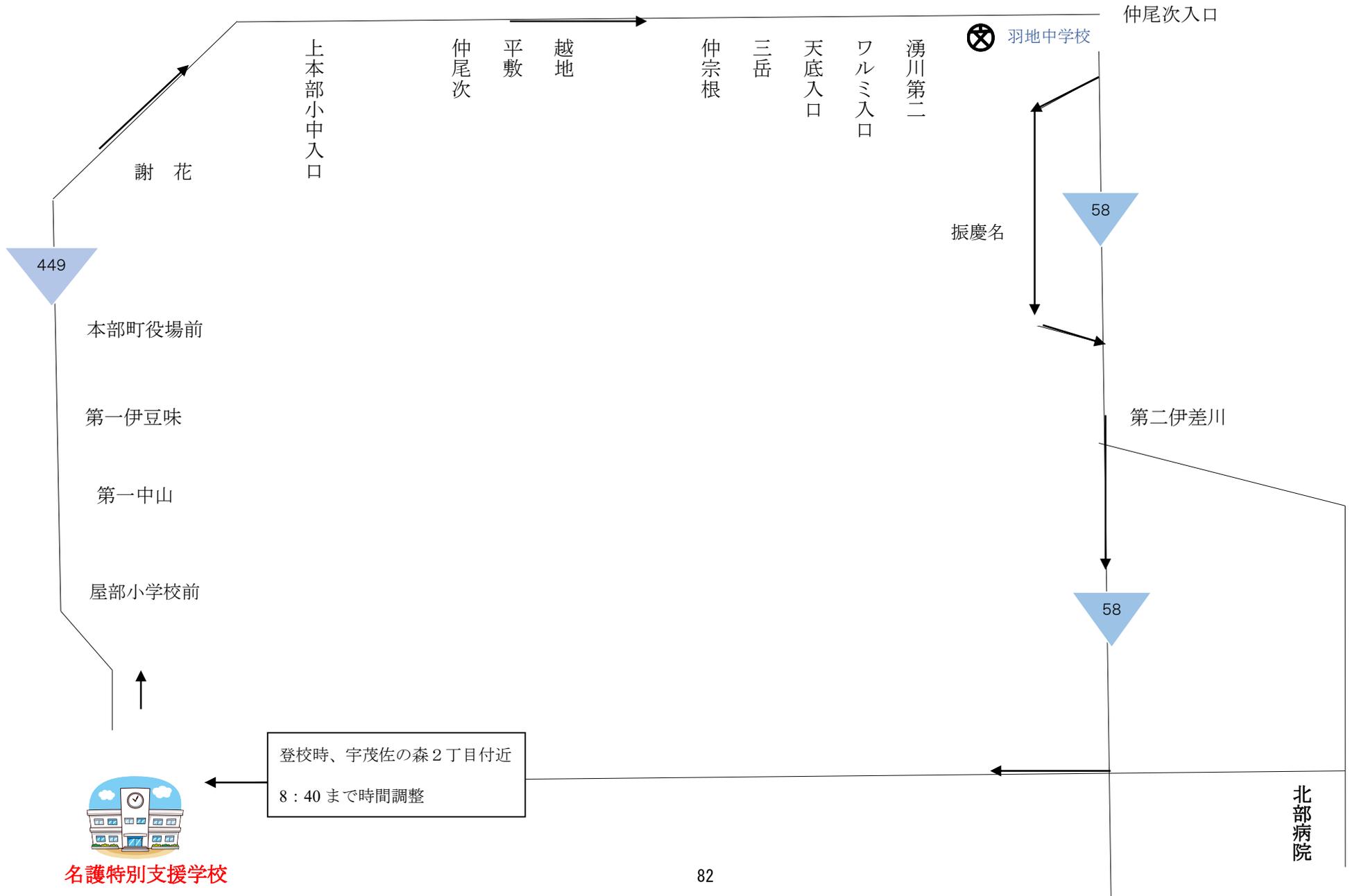
金武バイパス



名護Cあり

本部コース 登校・下校

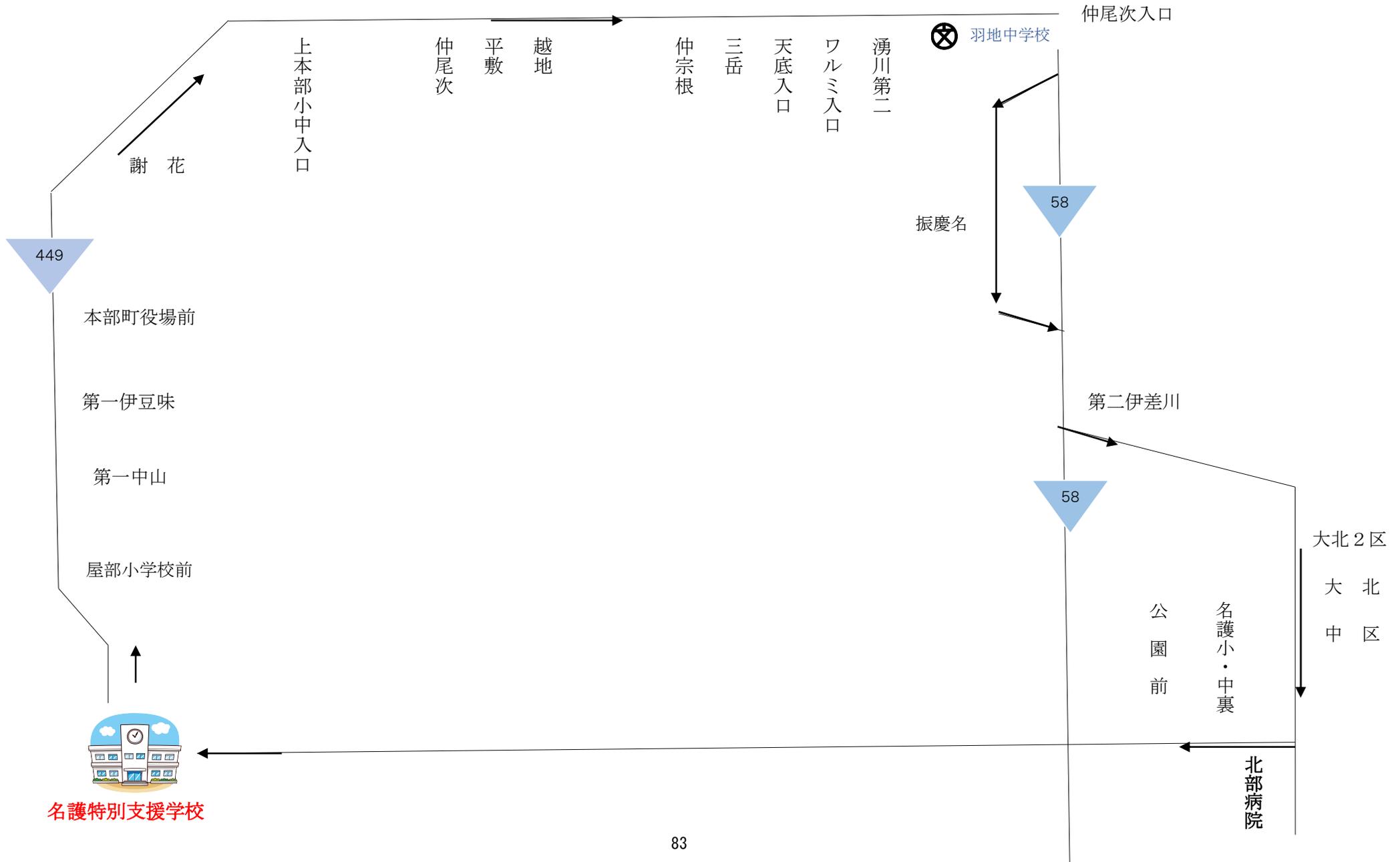
所要時間 約1時間45分 (約50Km)



名護Cなし

本部コース 下校

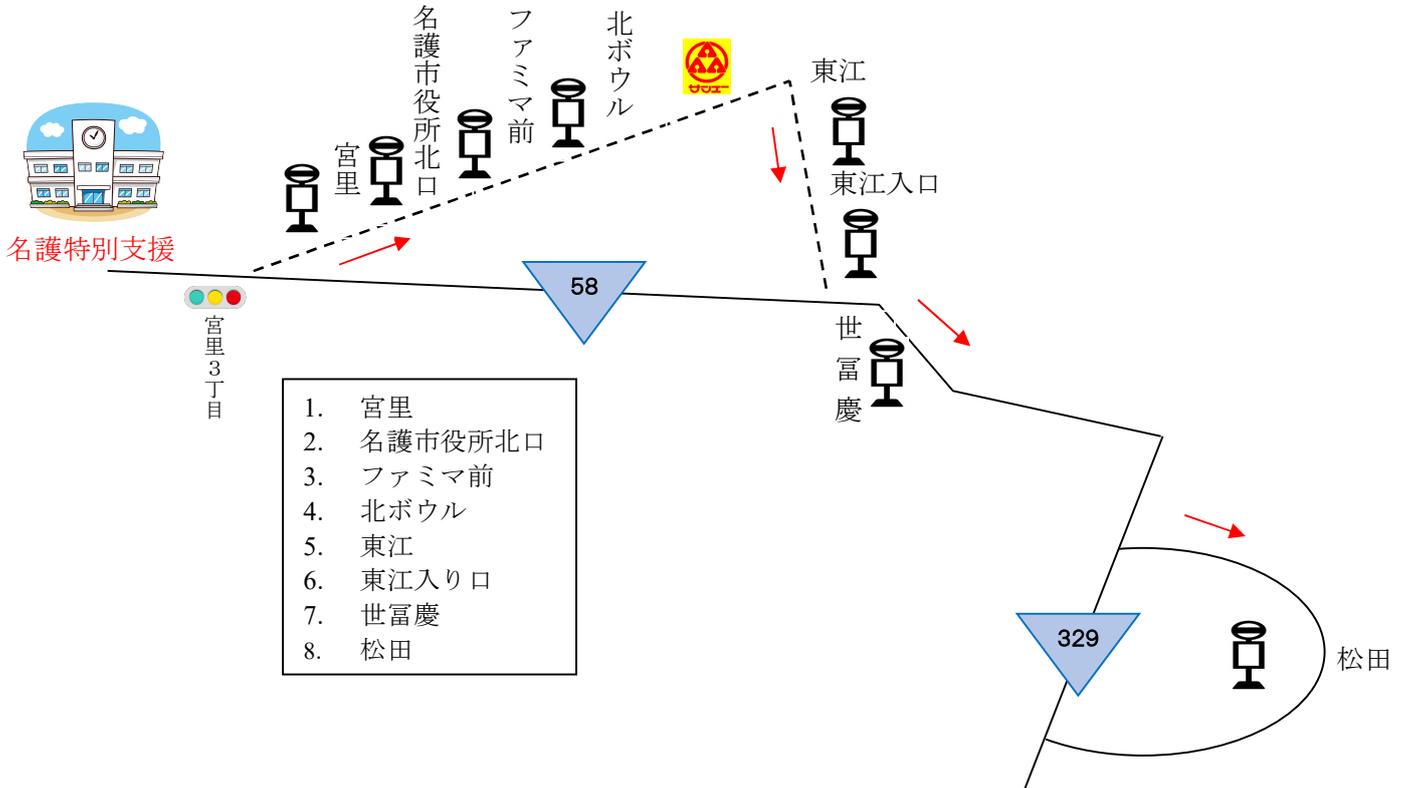
所要時間 約1時間45分 (約50Km)



令和4年度（中送り）スクールバス運行路線図

金武コース（中送り） 14：15下校

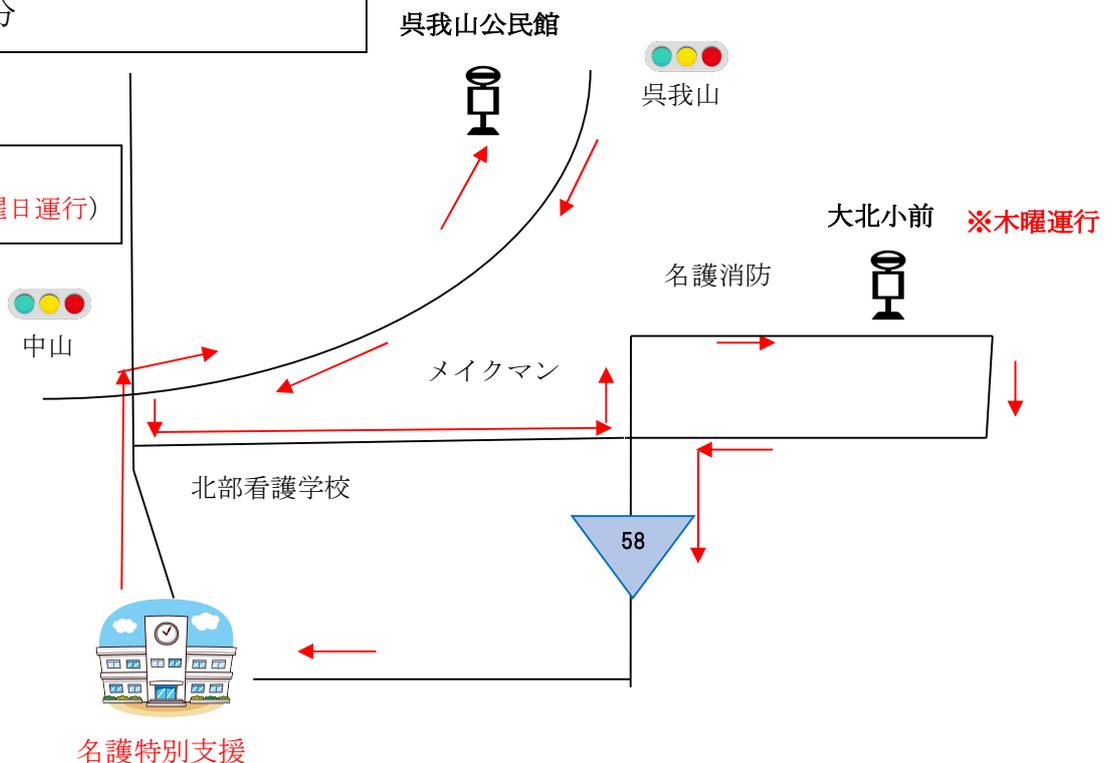
所要時間 約55分



本部コース（中送り） 14：15下校

所要時間 約50分

1. 呉我山
2. 大北小学校（木曜日運行）



○スクールバスの民間委託について

委託開始年月日:令和4年3月22日

(入札更新年月日:令和6年3月)

○R4年度スクールバス各学部ごとの利用児童生徒数(下校含む)

本部コース定員数(42席)

小学部	10名
中学部	6名
高等部	11名
計	27名

金武コース定員数(45席)

小学部	8名
中学部	10名
高等部	23名
計	41名

名護コース定員数(45席)

小学部	8名
中学部	8名
高等部	10名
計	26名

学部別児童・生徒数

小学部	26名
中学部	24名
高等部	44名
計	94名

Ⅻ 年間行事計画

沖縄県立名護特別支援学校

日	曜	4月	5月	6月	日		
1	金	学年始休業日～6日 部主事等連絡会14:00(管理者、部主事、業務主任、養護教諭、コーディネーター) 新規採用者辞令交付式			水	小学部緊急時シミュレーション②	1
2	土		第2回衛生委員会(9:00)、 小学部緊急時シミュレーション① 各種委員会		木	歯磨きチェック日(舎) 中学部緊急時シミュレーション② 視力・聴力(中)、教育情報化推進講座①	2
3	日		◇憲法記念日		金	学部会 第2回定例協議会(校長)、教育情報化推進講座②	3
4	月	全体職朝(辞令発令:本務)9:00 スクールバス安全祈願(職朝後) 臨任辞令交付(祈願後) 学部会10:30	◇みどりの日		土		4
5	火	第1回職員会議9:00 新職員オリエンテーション11:00 校務分掌部会14:00 臨時的任用教員等研修会13:30～ 医療的看護師養護教諭研修会① ・小6中1引き継ぎ(必要な生徒分)15:00～ ・中3高1引き継ぎ(必要な生徒分)16:00～	◇こどもの日		日		5
6	水	新職員舎監オリエンテーション(舎)9:00 支援システム変更について10:00 教科会11:00/学年会 校内医ケア検討委員会①(学校医出席)14:00 研究指定校等連絡協議会	学部会 春の遠足(中)		月	第3回衛生委員会(9:00) 教科会 前期実習事後学習 歯と口の健康週間(～10日) かみかみ週間(～10日)、体と心の学習会①(舎)	6
7	木	就任式/1学期始業式(13:20下校) 入学式会場設営、学部会			火	校務分掌会 体重測定(小) 前期実習報告会	7
8	金	第1回県立学校校長会、研修会			水	高等部緊急時シミュレーション② 体重測定(高2)	8
9	土	第1回定例研究協議会(校長)	I 課程中間調査 ～13日(金)(高) 耳鼻科検診(全学部)、心電図検査(高2・3) 交通安全週間～20日(金)、手洗い学習会(舎) 中学部緊急時シミュレーション① 教科会、中堅研修①		木	安全点検日/環境美化の日 体重測定(中) 屋部小学校交流会(幼小) 地震津波避難訓練事前学習(舎) 技能検定運営会議①	9
10	日	人権の日	視力・聴力(幼小) 人権の日 校務分掌会		金	研修日、地震津波避難訓練職員シミュレーション(舎) 人権の日 生徒向けサイバー犯罪被害防止講話(高等部)	10
11	月	入学式(13:20下校)※新入生(11:35下校、給食なし) 入舎式(舎)、日課オ(入浴・排泄)(舎) 学校取扱金検討委員会(世話:高) 尿・ぎょう虫検査①(～12日)	内科検診(高) 高等部緊急時シミュレーション① (高3)マナー講座2～4校時		土		11
12	火	学部オリエンテーション(高) 校務分掌部会、食事オ(舎)	心電図(幼小・中・高1)・胸部X線(高1)・尿・ぎょう虫③ 安全点検日/環境美化の日 沖特進研①就労支援担当者連絡会議①		日		12
13	水	第1回県立学校校長会(新任) 評価システム評価者研修会 沖知P連理事会10:00～11:30(島尻) 情報システム入力業務説明会	前期実習保護者説明会・実習先事前挨拶 研修日 学舎連絡会(小中高1)(舎) 第1回県立教頭研修会 評価システム評価者研修会		月	地震津波避難訓練(舎)、舎友会役員立候補受付・係発足(舎)、第1回入試検討委員会(高)、九知P連協議会(予定)	13
14	木	企画運営委員会、安全点検日/環境美化の日 新入生歓迎会(中) 事務長研修会(新任)			火	学年会 体重測定(高1) こども集会(小) 九知P連協議会(予定)、部主事研修会	14
15	金	学部会 「少年を守る日」	PTA総会(13:20下校) 日曜授業参観日(月曜日課) ちゆらマナー週間(～5/20)		水	歯科検診(高)、沖特P協定期総会(鏡が丘) 企画運営会議 身体測定(中) 不審者避難訓練事前学習(舎)	15
16	土	「おきなわ地域教育の日」	振替休日		木	一日総合学習(高) 三育中交流会(中) 不審者避難訓練職員シミュレーション(舎) 全特長会(東京)～17日(金)	16
17	日	「家庭の日・ファミリー読書」	学年会 こども集会(小) プール清掃～27日(水)、係希望調査(舎)		金	校外学習(幼・1・2年) 個別の生活指導計画読み合わせ(舎) 学部会、ICT活用講座①、「少年を守る日」	17
18	月	第1回衛生委員会(9:00)、寄宿舎親睦会(舎) 教科会、支援システム講座(新任対象)	前期実習激励会(舎) 視力・聴力(高) 学部会		土	PTAスポーツレク親睦会(予定) 「おきなわ地域教育の日」	18
19	火	学年会 給食スタート(幼、小1)	企画運営会議 第1回PTA評議委員会		日	「家庭の日・ファミリー読書」	19
20	水	げんきつき集会(創立記念) 新入生歓迎会(高) 第2回職員会議 教職員システム評価者研修会(センター)	交通安全指導(幼小中) 小中高14:15下校(研修日) 「少年を守る日」、事務長研修会、評価システム研修会		月	各種委員会 1学期誕生会(舎)	20
21	木	校内支援会議① 身体測定(中) 余暇の過ごし方オ(舎) 第5回PTA評議委員会			土	「おきなわ地域教育の日」	21
22	金	身体測定(幼小) 寄宿舎保護者面談(舎) 研修日、ネットワーク管理運営講座 給食研究会第1回役員会			日	第4回職員会議 個別の生活指導計画読み合わせ(舎) 体重測定(高3)教科書展示会(7/12まで)	22
23	土		各種委員会 学舎連絡会(高2,3)(舎) 前期就業体験実習(高)(～6/3)		木	◇慰霊の日	23
24	日		救急法講習会(職員対象)		金	授業参観日 校内支援会議③	24
25	月	授業参観日 尿・ぎょう虫検査②(～26日) 家庭訪問①(高3通常授業15:15下校)(13:20下校) 歯磨き学習会(舎)	授業参観日 内科検診(幼小中) 第3回職員会議 沖知P連定期総会(10:00～、島尻特支)		土	PTAスポーツレク親睦会(予備日)(予定)	25
26	火	家庭訪問②(高3三者面談①)(13:20下校) スマホ学習会(舎)	歯科検診(幼小中) 第2回衛生委員会(9:00)、校内支援会議② PTA進路研修会、2年研①		日		26
27	水	身体測定(高) 家庭訪問③(高3三者面談②)(13:20下校) 地域教育相談員研修会①	学校概要説明会(学校関係者向け)(教務、支援部) プール安全祈願・開き 校外学習(小4、5年)、草刈り(舎)		月	三者面談①(13:20下校)(高は通常日課15:15下校) I 課程期末考査～7月1日まで(高) 健康生活展(～7/1) 保護者参観(週間)(舎)、舎友会役員選挙演説①(舎)	27
28	木	家庭訪問④(高3三者面談③)(13:20下校) 新しい友だちを迎える会(幼小)、草刈り(舎)			火	三者面談②(13:20下校) PPデー、舎友会役員選挙演説②(舎) 沖知P連第2回理事会(10:00～、島尻特支)	28
29	金	◇昭和の日			水	三者面談③(13:20下校) 舎友会役員選挙投票日(舎)	29
30	土		中学部 前期自力通学指導(～6/10金)		木	三者面談④(13:20下校) 沖特長会	30
31			学年会 地域教育相談員研修会② 給食研究会総会・第1回研修会		火		31
		新入生14日、在校生16日	19日			21日	
備考		第1・3火曜日：学年会 第1・3金曜日：学部会 第2金曜日：研修日	第2火曜日：校務分掌部会 第4火曜日：職員会議 毎月25日は授業参観日(原則)			第3木曜日：企画運営会議 第1or3月曜日：教科会 第4月曜日：各種委員会	

日	曜	7月	8月	9月	日
1	金	三者面談⑤(13:20下校) 第3回定例協議会(校長)	月 15年研① ワックスがけ(予備日) 県立学校事務研修会(図書館担当)	木 2学期始業式(13:20下校) 開会、食事オリ(舎) 研修日	1
2	土		火 夏季開放講座、教材教具展 3年研①、中堅研修⑥、15年研② ワックスがけ(予備日)	金 体験入舎説明会・面接(舎) 第2回副校長・教頭研修会	2
3	日		水 ワックスがけ(予備日) 3年研②、中堅研修⑦	土 教員候補選考2次試験①	3
4	月	第4回衛生委員会(9:00) 学年会 体重測定(小) 体と心の学習会②(舎)	木 WAX(舎)、中堅研修⑧ 就労支援ネットワーク会議①	日 教員候補選考2次試験②	4
5	火	校務分掌会(学期反省) 小学部体験入学①	金 中学部職員防災センター見学 WAX(舎) 全知会(WEB)	月 第6回衛生委員会(9:00) 教科会 身体測定(幼小) 教育実習(高)~9/16 部屋係会係会週間(舎)	5
6	水	小学部体験入学② 体重測定(高1) 桜野特別支援学校交流会(高2) 第1回学校保健安全委員会	土 沖特P交流スポーツ大会(予定)	火 校務分掌会 DV予防啓発講座(高等部)	6
7	木	小学部体験入学③、体重測定(中) 校外学習(中1)※要調整、舎友会役員任命式(舎)、歯磨き チェック日(舎)、第2回PTA評議員会 沖特進研②就労支援担当者連絡会議②	日 リフレッシュウィーク(7~13日)	水 校内陸上競技大会前検診(中・高抽出) R5年度入学者選抜募集要項説明会(幼) 特支管理職研修会	7
8	金	学部会 校外学習(3・4・5・6年) 体重測定(高2)	月	木 安全点検日 環境美化の日 防災センター学習(中) 歯磨き学習会(染め出し) 第3回PTA評議員会、沖特長会 特別支援学校就業支援キャンペーン	8
9	土		火	金 学部会 人権の日 総合避難訓練①(不審者) 第2回県立学校校長会、研修会 (中)修学旅行保護者説明会	9
10	日	人権の日 教員候補選考1次試験	水 学校閉庁日(10~12日)	土 教員候補選考2次試験①(予備日)	10
11	月	教科会、全体レク(舎)	木 山の日	日 教員候補選考2次試験②(予備日)	11
12	火	産業コース説明会・授業見学会・コース説明会① こども集会(小)、PPデー(舎)	金	月 こども集会(小) 読書月間(~10月14日)、体と心の学習会③(舎)	12
13	水	第1回学校評議員会、入試別会議①(高) 地域教育相談員研修会③ 体重測定(高3)	土	火 学年会	13
14	木	安全点検日/環境美化の日 企画運営会議 産業コース説明会・授業見学会・コース説明 会② 校外学習(中3)	日	水 身体測定(高)、【仮】修学旅行(高)① スマホ学習会②(舎)、入試別会議②(高)	14
15	金	教務主任研 「少年を守る日」、研修日、高等部修学旅行保護者説明会	月 現業研修会	木 企画運営会議 身体測定(中) 不審者避難訓練事前学習(舎)、 【仮】修学旅行(高)②	15
16	土	「おきなわ地域教育の日」	火 5年研①	金 不審者避難訓練職員シミュレーション(舎) 「少年を守る日」、研修日、【仮】修学旅行(高)③ 沖知P連第3回理事会(10:00~、島尻特支)	16
17	日	「家庭の日・ファミリー読書」	水 5年研②、中堅研修⑨	土 「おきなわ地域教育の日」	17
18	月	海の日	木 5年研③、中堅研修⑩	日 「家庭の日・ファミリー読書」	18
19	火	認定講習(~8月26日) 職員研修(13:20下校)	金 5年研④、中堅研修⑪ 「少年を守る日」	月 敬老の日	19
20	水	1学期終業式(13:20下校) 授業参観日 第5回職員会議 校内支援会議④、荷物搬入(22日まで)(舎)	土 「おきなわ地域教育の日」	火 不審者避難訓練(舎)	20
21	木	夏季休業日~8/31 消火設備講習会(職員対象)	日 「家庭の日・ファミリー読書」	水 第7回職員会議 校外学習:海洋博(幼小) チャレンジ事前学習(舎) 校外学習(高2)	21
22	金	小学部職員事業所見学	月	木 学部会、章刈り(舎)、体験入舎選考委員会(舎) PTA進路見学会 人事異動調査書入力説明会	22
23	土	管理者候補選考1次試験	火 2年研②、寄宿舎指導員研修会	金 秋分の日	23
24	日		水 2年研③	土	24
25	月	中学部職員事業所見学 高等部生徒・保護者事業所見学 ワックスがけ(高)、中堅研修② 特別支援学校中学部総合文化祭(搬入)	木 第5回衛生委員会(9:00) 企画運営会議 技能検定運営会議②	日	25
26	火	特別支援学校中学部総合文化祭(~31日) ワックスがけ(中) 中堅研修③	金 研修日、草刈り(舎) キャリア教育、生徒指導、入試地区講座	月 授業参観日 教育実習(小)~10/7 各種委員会	26
27	水	ワックスがけ(幼小) 中堅研修④	土 全知P連協議大会(予定) 管理者候補選考2次試験	火	27
28	木	ワックスがけ(ランチルーム) 中堅研修⑤ 技能検定研修会	日 全知P連協議大会(予定)	水 卒業生講話 校内研究授業(小) 小1、2年、中高13:20下校	28
29	金	ワックスがけ(予備日) 職員検診(場所:本校)	月 校内教育支援委員会(重複認定)16:00、荷物搬入(9/1 まで)(舎)	木 校内支援会議⑤、舎友会集会(舎)	29
30	土		火 第6回職員会議9:00 学部会10:30 第1回PTA美化作業 就労支援担当者連絡会議③	金 第11回校内陸上競技大会(高等部) 地域教育相談員研修会④	30
31	日		水 学年会9:00		31
授業 日数		13日	0日	20日	
備考		全体朝会(げんきつき集会)月1回程度 第2木曜日:安全点検日	PTA美化作業(年2回) 第4木曜日:校内支援会議	環境美化の日(月1回程度) 夏休み期間中ワックスがけ(更衣室、廊下、準備室など)	

日	曜	2023年(令和5年) 1月	2月	3月	日
1	日	元日	水	水	1
2	月	年始休	木	木	2
3	火	年始休	金	金	3
4	水	仕事始め	土	土	4
5	木	学年会	日	日	5
6	金	3学期始業式(13:20下校) 学部会、研修日	月	月	6
7	土		火	火	7
8	日		水	水	8
9	月	◇成人の日	木	木	9
10	火	(舎)開舎、食事オリ(舎)、入舎面接(～20日)(舎) 校務分掌会 人権の日 第3回県立学校校長会、研修会	金	金	10
11	水	げんきつき集会 校内持久走・駅伝大会前検診(中抽出)、健康学習会(舎)	土	土	11
12	木	安全点検日/環境美化の日 身体測定(中) 歯磨きチェック日(舎) 第5回PTA評議員会 技能検定運営会議④ 第2回検定	日	日	12
13	金	第44回校内持久走大会(中) 研修日、ICT活用講座②	月	月	13
14	土		火	火	14
15	日	「家庭の日・ファミリー読書」	水	水	15
16	月	第10回衛生委員会(9:00) 学校取扱い検討委員会(世話:中) 身体測定(高) 学校給食週間(～20日)	木	木	16
17	火	身体測定(幼小) げんきつき集会 教科会	金	金	17
18	水	合同環境美化の日 PTA会員研修 給食試食会	土	土	18
19	木	企画運営会議 火災避難訓練事前学習(舎)	日	日	19
20	金	幼小中高13:20下校(指定研報告会) 生徒会選挙(高) 火災避難訓練職員シミュレーション(舎)	月	月	20
21	土	「おきなわ地域教育の日」	火	火	21
22	日		水	水	22
23	月	学年会 火災避難訓練(舎)、チャレンジルーム・週間(舎)	木	木	23
24	火	第11回職員会議	金	金	24
25	水	学習発表会リハーサル(幼小中) 特別支援学校技能検定② 校内支援会議③	土	土	25
26	木	1月28日の振替休日	日	日	26
27	金	第3回副校長・教頭研修会	月	月	27
28	土	出校日(木曜日課)小中14:15、高15:15下校	火	火	28
29	日	第36回学習発表会(幼小中12:00、高14:15下校) 授業参観日	水	水	29
30	月	1月29日の振替休日	木	木	30
31	火	特体連駅伝大会試走会(中)午前中 校務分掌会(次年度に向けて)、舎友会集会(舎)	金	金	31
備考		17日 全体朝会(げんきつき集会)月1回程度 第2木曜日:安全点検日	19日 PTA美化作業(年2回) 第4木曜日:校内支援会議	17日 環境美化の日(月1回程度)	

日	曜	10月	11月	12月	日
1	土		火 後期実習報告会 学年会 体重測定(小)	木 修学旅行(中)② 歯磨きチェック日(舎) 性に関する指導週間(～9日まで)	1
2	日		水 校外学習(幼・1・2年) 体重測定(高2) シェイクアウト訓練(沖縄県広域地震・津波避難訓練実施日)	金 修学旅行(中)③ 体重測定(小) 学部会(小高) 校外学習(小3・4年) 入学予定者発表(幼)	2
3	月	第7回衛生委員会(9:00) 教科会 2学期誕生日会(舎)、体重測定(小) チャレンジルーム・週間(7日迄)(舎) タバコ飲酒薬物乱用防止月間(～31日)	木 ◇文化の日	土	3
4	火	学年会 中学部体験入学①	金 第21回なごくとまつり 体重測定(高1) 特別支援学校技能検定① 漢字検定 学部会 志願前相談②(高)	日	4
5	水	中学部体験入学② 校外学習(高3) 体重測定(高1)	土 実習助手・寄宿舎指導員選考1次試験	月 第9回衛生委員会(9:00) 教科会 校外学習・観劇(小)	5
6	木	安全点検日/環境美化の日 歯磨きチェック日(舎) 施設見学(中学部) 沖特進研③就労支援担当者連絡会議④	日	火 校務分掌会(学期反省) こども集会(小) 体重測定(高1)	6
7	金	学部会 第11回校内陸上競技大会(中学部) 後期実習保護者説明会・事前挨拶、高等部修学旅行保護者説明会	月 第8回衛生委員会(9:00) 志願前相談③(高) 中学部 後期自力通学指導(～18金) 保護者参観(ふれあい夕食)(舎) いし歯の日取組週間(～11日)	水 【仮】修学旅行(高)① 名護高校交流会(高1) げんきっ子集会	7
8	土		火 校務分掌会 志願前相談④(高午前のみ) 大宮小交流会(幼小)	木 体重測定(中) 【仮】修学旅行(高)② 沖特長会 キャリア教育・就労支援発表会(沖特進研④)	8
9	日		水 特体連・修学旅行前検診(中・高対象者) 校内持久走・駅伝大会前検診(中・高抽出)	金 学部会(中) 【仮】修学旅行(高)③ 校外学習(幼・1・2・6年) 第5回定例協議会(校長)	9
10	月	人権の日 スポーツの日	木 九特研(沖縄大会)① 体重測定(中) 安全点検日/環境美化の日 人権の日 入学願書受付①(幼)、歯磨きチェックの日(舎)	土 人権の日	10
11	火	I 課程中間考査～14日(金)(高) 校務分掌会 ちゅうらマナー(～10/14) 体と心の学習会④(舎)	金 研修日 入学願書受付②(幼)、入舎説明会(在)(舎) 九特研(沖縄大会)②	日	11
12	水	入試特別会議③(高) 体重測定(高2) PPデー(舎)	土	月 お楽しみ会(舎)	12
13	木	読み聞かせ会(幼小中)、後期実習激励会(舎) 第4回PTA評議員会 体重測定(中)	日	火 学年会 体重測定(高2)	13
14	金	小中高14:15下校(職員研修日) 第4回定例協議会(校長) 校外学習(幼小・寄合原農場見学①) 体重測定(高3)	月 企画運営会議 全体レク②(舎)、入舎申込(～12/9)(舎) 総合避難訓練②(地震・津波)	水 第2回学校評議員会 第44回校内持久走大会(高) 入試説明会(高) 体重測定(高3)	14
15	土	「おきなわ地域教育の日」	火 1日総合学習(高) 学年会	木 校外学習(中1)※要調整、スマホ学習会(舎) 企画運営会議、特別支援教育研修会 安全点検日/環境美化の日、	15
16	日	「家庭の日・ファミリー読書」	水 げんきっ子集会、ふれあい給食 第2回入試検討委員会(高)	金 芸術鑑賞会 小中高14:15下校(職員研修日) 「少年を守る日」	16
17	月	かみかみ週間(～21日) 体験入舎(～28日)(舎) 後期就業体験実習(～10/28)	木 第9回職員会議 体重測定(高3) 宿泊学習(小5・6年)①	土 「おきなわ地域教育の日」 実習助手・寄宿舎指導員選考2次試験	17
18	火	学年会	金 キャリア教育講座(高) 学部会(中・高) 宿泊学習(小5・6年)② 産業教育フェア(～19日)	日 「家庭の日・ファミリー読書」	18
19	水	小学部宿泊前検診(対象学年) 幼稚部入学選抜検討委員会	土 美ら島おきなわ文化祭 産業教育フェア 「おきなわ地域教育の日」	月 各種委員会 学部会	19
20	木	企画運営会議 校外学習(幼小・寄合原農場見学②) 志願前相談①(内部生) 空港見学(中3) 技能検定運営会議③	日 「家庭の日・ファミリー読書」	火 学年会 お楽しみ会(幼小) 第2回学校保健安全委員会・医療的ケア検討委員会②	20
21	金	校外学習(3・5年)、学舎連絡会(小中) 学部会、「少年を守る日」	月 三者面談①(13:20下校) I 課程期末考査～28日(月)(高)	水 PPデー(年末大掃除)(舎) 入試特別会議④(高)	21
22	土		火 三者面談②(13:20下校) 沖特P協議会(鏡が丘)	木 校内支援会議⑧ 校外学習(中3)	22
23	日		水 ◇勤労感謝の日	金 2学期終業式(13:20下校) 授業参観日 第10回職員会議、草刈り(舎)	23
24	月	各種委員会、学舎連絡会(高)、 校内実習(中～28日)	木 校内支援会議⑦ 入学選抜検査①(幼) 第34回特別支援学校体育大会(中・高)	土	24
25	火	授業参観日 校内実習(中) こども集会	金 授業参観日 三者面談③(13:20下校) 入学選抜検査②(幼)、草刈り(舎)	日	25
26	水	第8回職員会議 校内実習(中)	土	月	26
27	木	校内支援会議⑥ 校内実習(中) 特支教育課程説明会	日	火	27
28	金	なかよしの会交流(小) 個別の生活指導計画(中間確認)(舎) 校内実習(中)	月 げんきっ子集会(表彰) お楽しみ会リハ(舎)	水 御用納め	28
29	土		火 地域教育相談員研修会⑤ 学年会	木 年末休	29
30	日		水 修学旅行(中)①(～12月2日)	金 年末休	30
31	月	教科会 後期実習事後学習		土 年末休	31
授業 日誌		20日	20日	17日	
備考		第1・3火曜日：学年会 第1・3金曜日：学部会 第2金曜日：研修日	第2火曜日：校務分掌部会 第4水曜日：職員会議 毎月25日は授業参観日(原則)	第3木曜日：企画運営会議 第1or3月曜日：教科会 第4月曜日：各種委員会	

XIII 令和3年度 高等部第42期卒業生一覧

NO.	性	進路先
1	女	金秀商事(株) タウンプラザかねひで
2	男	ビースタイルチャレンジ
3	女	(有)伊江食品
4	男	前田産業ホテルズ ホテルゆがふいんおきなわ
5	女	障害福祉サービス事業所いしずえ
6	男	福祉サービス事業所のびる
7	女	就労支援事業所ゆいまーる
8	男	就労支援事業所リタリコワークス沖縄
9	女	家事手伝い(新聞販売)
10	男	就労移行支援事業所スマイルLea
11	女	就労移行支援事業所スマイルLea
12	男	就労移行支援事業所スマイルLea
13	女	ソーシャルサポートエスペレ
14	女	福祉サービス事業所のびる
15	女	就労支援事業所ゆいまーる
16	男	障害福祉サービス事業所いしずえ
17	男	就労支援事業所ゆいまーる
18	男	障害者支援施設かふう

内訳	一般就労	福祉就労				
		就労移行	就労継続A型	就労継続B型	生活介護	その他
男子9名	4	3	0	8	2	1
女子9名						
合計18名						